

# 米に関するマンスリーレポート (令和2年10月号)



「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは

⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあり得ます。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック！

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo\\_kaiset.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaiset.html)

# 目次 (令和2年10月号)

## 特集

- 1 令和2年産の水田における作付状況(令和2年9月18日現在・速報値)
- 2 酒造好適米の全体需給の推計

特集1  
特集2

## I 作柄概況

令和2年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況

作柄1

## II 米の民間在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500<sup>トン</sup>以上の出荷段階(全農、JA等の出荷業者)の在庫量と年間玄米仕入数量4,000<sup>トン</sup>以上の販売段階(米卸等の販売業者の在庫量)を対象に調査し、その合計(出荷段階+販売段階)の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

### 1 民間在庫の推移

農林水産省(政策統括官)HP <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.htm>

- (1) 全国段階の民間在庫の推移(うるち米)(速報)
- (2) 産地別民間在庫の状況(前年同期差)
- (3) 令和元・2年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)(速報)

在庫1  
在庫4  
在庫5  
Excel  
Excel  
Excel

## III 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の収穫が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間の玄米の仕入量が5,000トン以上の全国出荷団体等からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、契約数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを収穫前に契約し、あらかじめ販路を確保しているものといえ、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

### 1 事前契約の取組状況

農林水産省(政策統括官)HP <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.htm>

- (1) 近年の事前契約数量の推移(平成26年産～令和2年産)
  - (2) 令和2年産米の産地別事前契約の取組状況(令和2年8月末現在)(速報)
- ### 2 令和元年産米の産地別契約・販売状況
- (累計、うるち米、令和2年8月末現在)(速報)

契約1  
契約2  
契約3  
Excel  
Excel

## IV 米の価格情報

### 相対(あいたい)取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等間で、年間を通じて長期的な取引を行う「相対取引」が行われています。このため、農林水産省では、年間玄米仕入量5,000<sup>トン</sup>以上の全国出荷団体等と年間玄米直接販売数量5,000<sup>トン</sup>以上の卸売業者を対象に、指標となる各産地の作付上位2～3銘柄を調査対象産地品種銘柄(令和元産米:118産地品種銘柄)として、相対取引価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

### 1 相対取引価格・数量

農林水産省(政策統括官)HP <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.htm>

- (1) 年産別の相対取引価格
- (2) 相対取引価格・数量(令和元年産米、産地品種銘柄別、令和2年8月分)(速報)
- (3) 相対取引価格(月別・年産平均価格)(令和元・2年産米、産地品種銘柄別)(速報)

価格1  
価格2  
価格4  
価格6  
価格8  
Excel  
Excel  
Excel

### 2 スポット価格の状況(日本コメ市場株式会社)

日本コメ市場株式会社 HP <https://www.nihonkomeshiijo.co.jp/>

価格9

### 3 米の先物取引価格の推移

農林水産省(食料産業局)HP <https://www.maff.go.jp/j/shokusan/syoutori/index.html>

### 4 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和2年8月分)

米穀安定供給確保支援機構HP <https://www.komenet.jp/>

価格10

## V 消費の動向

- |  |     |
|--|-----|
| 1 米の消費動向(米穀機構による調査)  | 消費1 |
| 米穀安定供給確保支援機構HP <a href="https://www.komenet.jp/">https://www.komenet.jp/</a>                         |     |
| 2 購入数量・支出金額の推移(家計調査)   | 消費4 |
| 3 消費者物価指数の推移   | 消費6 |
| 4 小売物価統計の推移  | 消費7 |
| 総務省統計局HP <a href="https://www.stat.go.jp/data/index.html">https://www.stat.go.jp/data/index.html</a> |     |
| 5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向   | 消費8 |
| 6 小売価格の推移(POSデータ)  | 消費9 |

## VI 輸出入の動向

- |  |     |
|--|-----|
| 1 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別)   | 輸入1 |
| 2 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(令和2年度)  | 輸入2 |
| 3 SBS輸入米の見積合わせ結果(令和2年度)  | 輸入3 |
| 4 CPTTP・国別枠の見積合わせ結果(令和2年度)   | 輸入4 |
| 農林水産省(政策統括官)HP <a href="https://www.maff.go.jp/i/seisan/boueki/nyusatu/index.html">https://www.maff.go.jp/i/seisan/boueki/nyusatu/index.html</a> |     |
| 5 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について   | 輸出1 |
| (1) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移  | 輸出2 |
| (2) 2019年の主な増加要因   | 輸出3 |
| (3) 米菓の輸出数量及び金額の推移   | 輸出4 |
| (4) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移  | 輸出5 |
| (5) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移   | 輸出6 |
| 6 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について   | 輸出7 |

## VII 主食用米以外の情報

- |                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況             |     |
| (1) 加工用米の生産量                    | 加工1 |
| (2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移        | 加工1 |
| (3) 令和元年産 都道府県別の取組計画認定状況        | 加工2 |
| 2 米加工品の状況                       |     |
| (1) 主な米加工品の生産状況                 | 加工3 |
| (2) 30米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計) | 加工4 |
| (3) 加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移        | 加工5 |
| 3 酒造好適米の需給状況                    |     |
| (1) 日本酒の出荷状況                    | 酒造1 |
| (2) 日本酒原料米の使用状況                 | 酒造1 |
| (3) 酒造好適米の生産量                   | 酒造2 |
| (4) 酒造好適米の需要量                   | 酒造2 |

「米に関するマンスリーレポート」とは、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直しました。

また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載することにしました。さらに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご活用願います。

## 令和2年産の水田における作付状況 (令和2年9月18日現在・速報値)

令和2年産の水田における作付状況（令和2年9月18日現在・速報値）を取りまとめましたのでお知らせします。

- ・ 全国の主食用米の作付面積は、都道府県ごとの増減があるものの、前年実績（137.9万ha）から1.3万ha減少し、136.6万haとなりました。
- ・ また、戦略作物等については、米粉用米、新市場開拓用米及び備蓄米の作付面積が増加する一方、加工用米及び飼料用米が減少し、戦略作物等の合計の作付面積については、増加となりました。

### 【主食用米及び戦略作物等の作付状況】

(万ha)

	主食用米	備蓄米	戦略作物等							
			加工用米	新規需要米			麦	大豆	その他	
				飼料用米	WCS用稲 (稲発酵組 飼料用稲)	米粉用米				新市場 開拓用米 (輸出用米等)
H27年産	140.6	4.5	4.7	8.0	3.8	0.4	0.2	9.9	8.7	10.0
H28年産	138.1	4.0	5.1	9.1	4.1	0.3	0.1	9.9	8.9	10.2
H29年産	137.0	3.5	5.2	9.2	4.3	0.5	0.1	9.8	9.0	10.2
H30年産	138.6	2.2	5.1	8.0	4.3	0.5	0.4	9.7	8.8	10.2
R元年産	137.9	3.3	4.7	7.3	4.2	0.5	0.4	9.7	8.6	10.2
R2年産	136.6	3.7	4.5	7.1	4.3	0.6	0.6	9.8	8.5	10.2

注1：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。

注2：加工用米及び新規需要米（米粉用米、飼料用米、WCS用稲、新市場開拓用米）は取組計画の認定面積。

令和2年産については、取組計画の申請面積。

注3：その他は、飼料作物、そば、なたね等の面積。

注4：麦、大豆、その他（基幹作のみ）は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積。

※ 地域農業再生協議会別の作付状況については、以下のURLを御覧下さい。  
[http://www.maff.go.jp/j/press/seisaku\\_tokatu/s\\_taisaku/200930.html](http://www.maff.go.jp/j/press/seisaku_tokatu/s_taisaku/200930.html)

## 令和2年産の水田における都道府県別作付状況 (令和2年9月18日・速報値)

都道府県	主食用米			備蓄米	戦略作物										
	①	【参考】			加工用米	新規需要米					麦	大豆	飼料作物	そば	なたね
		前年産(元年産) ②	増減 ①-②			飼料用米	WCS (稲発酵粗飼料)	米粉用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	その他					
全国計	136.6万	137.9万	▲1.3万	36,503	45,173	70,841	42,793	6,369	6,109	93	98,118	85,121	72,698	28,922	852
北海道	95,300	97,000	▲1,700	389	5,858	1,865	574	51	635	-	33,665	18,464	25,638	9,391	639
青森	38,300	39,200	▲900	5,865	821	4,403	665	5	255	-	597	4,316	4,783	1,243	14
岩手	48,200	48,300	▲100	687	1,104	3,582	1,758	71	244	1	3,347	3,533	7,732	618	15
宮城	64,500	64,800	▲300	2,319	691	4,912	2,071	145	636	1	1,653	9,199	5,261	440	1
秋田	75,300	74,900	+400	3,689	7,852	1,574	1,113	454	289	2	173	7,958	2,121	3,079	14
山形	56,500	56,900	▲400	3,877	3,876	3,193	932	151	250	3	69	4,485	2,695	4,494	6
福島	59,200	60,400	▲1,200	5,568	424	4,933	953	5	41	2	300	678	1,662	1,775	56
茨城	65,500	66,400	▲900	258	1,351	7,876	534	37	621	-	4,317	430	492	350	4
栃木	54,900	54,900	+0	1,399	1,912	8,340	1,612	811	106	1	6,900	297	2,867	1,095	2
群馬	13,600	13,600	+0	246	1,309	959	514	325	14	0	1,960	89	178	28	1
埼玉	30,600	30,900	▲300	137	124	1,239	118	923	32	-	1,701	349	126	56	6
千葉	52,500	53,700	▲1,200	1,391	1,438	3,821	933	72	12	-	452	292	338	6	0
東京	124	129	▲5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2,990	3,040	▲50	-	-	10	-	-	-	-	4	6	6	0	-
新潟	106,700	106,800	▲100	4,731	5,056	1,876	370	1,695	1,134	0	171	3,754	303	799	2
富山	33,200	33,300	▲100	2,487	1,007	1,297	449	120	263	-	2,915	3,513	274	236	17
石川	22,600	22,700	▲100	1,288	404	548	92	125	297	-	904	847	34	159	0
福井	23,300	23,600	▲300	812	443	1,073	107	169	279	-	4,679	106	44	539	-
山梨	4,800	4,810	▲10	-	68	19	14	8	-	-	52	97	27	119	0
長野	30,700	30,900	▲200	224	663	228	204	22	114	-	2,343	552	524	2,309	0
岐阜	21,400	21,400	+0	69	962	2,271	205	31	73	-	3,334	360	604	253	-
静岡	15,400	15,600	▲200	4	138	1,033	240	1	1	-	230	38	49	28	-
愛知	26,400	26,600	▲200	326	601	1,298	169	87	26	0	5,243	119	129	4	8
三重	26,700	26,900	▲200	-	181	1,571	251	96	88	-	6,531	306	85	12	12
滋賀	29,700	30,200	▲500	296	783	1,096	251	28	195	0	7,457	419	156	96	18
京都	13,800	13,800	+0	-	492	95	117	7	21	-	235	231	58	109	-
大阪	4,700	4,850	▲150	-	0	7	-	5	-	-	3	6	1	0	-
兵庫	34,800	35,300	▲500	-	749	299	798	43	82	7	1,837	1,478	755	138	10
奈良	8,430	8,450	▲20	-	21	27	36	29	0	-	61	20	5	1	0
和歌山	6,250	6,360	▲110	-	-	2	2	1	-	-	3	14	4	2	-
鳥取	12,800	12,600	+200	79	17	517	323	1	5	0	31	570	781	304	1
島根	16,800	16,900	▲100	25	318	682	571	9	2	1	277	574	438	303	4
岡山	28,900	29,300	▲400	103	375	1,073	335	88	109	2	1,197	1,071	869	125	0
広島	22,000	22,200	▲200	4	364	293	549	124	60	0	280	260	935	259	-
山口	17,800	18,400	▲600	-	912	900	345	22	122	1	711	747	894	45	-
徳島	10,700	11,000	▲300	114	18	558	209	12	46	-	52	6	107	3	-
香川	11,600	12,000	▲400	-	39	127	131	7	6	-	1,077	48	103	12	2
愛媛	13,300	13,500	▲200	-	76	230	150	2	-	-	517	320	205	3	-
高知	11,200	11,300	▲100	2	68	859	239	15	-	-	5	59	117	1	-
福岡	34,400	34,500	▲100	23	212	1,886	1,517	281	9	-	1,180	7,898	429	50	1
佐賀	23,400	23,700	▲300	44	390	603	1,523	23	6	0	180	7,619	343	12	2
長崎	11,000	11,300	▲300	2	9	111	1,244	6	2	-	93	317	1,867	35	2
熊本	32,300	32,300	+0	22	748	1,135	7,852	222	17	40	737	2,011	2,181	193	9
大分	20,000	20,400	▲400	18	156	1,355	2,526	12	-	-	576	1,217	998	84	3
宮崎	14,300	14,600	▲300	3	1,642	412	6,656	17	16	29	13	204	3,305	37	0
鹿児島	17,800	18,300	▲500	-	1,480	653	3,540	10	1	2	57	247	2,157	75	2
沖縄	630	665	▲35	-	19	-	3	1	-	-	-	-	20	-	-

※1 主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米面積。

※2 加工用米及び新規需要米は取組計画の申請面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。

※3 麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

## 【酒造好適米の全体需給の推計】

農林水産省が本年7月に行った「酒造好適米等の需要量調査」の結果をまとめました。概要は次ページ以下でご紹介しています。より詳細な調査結果の内容は、下記URLよりご参照ください。

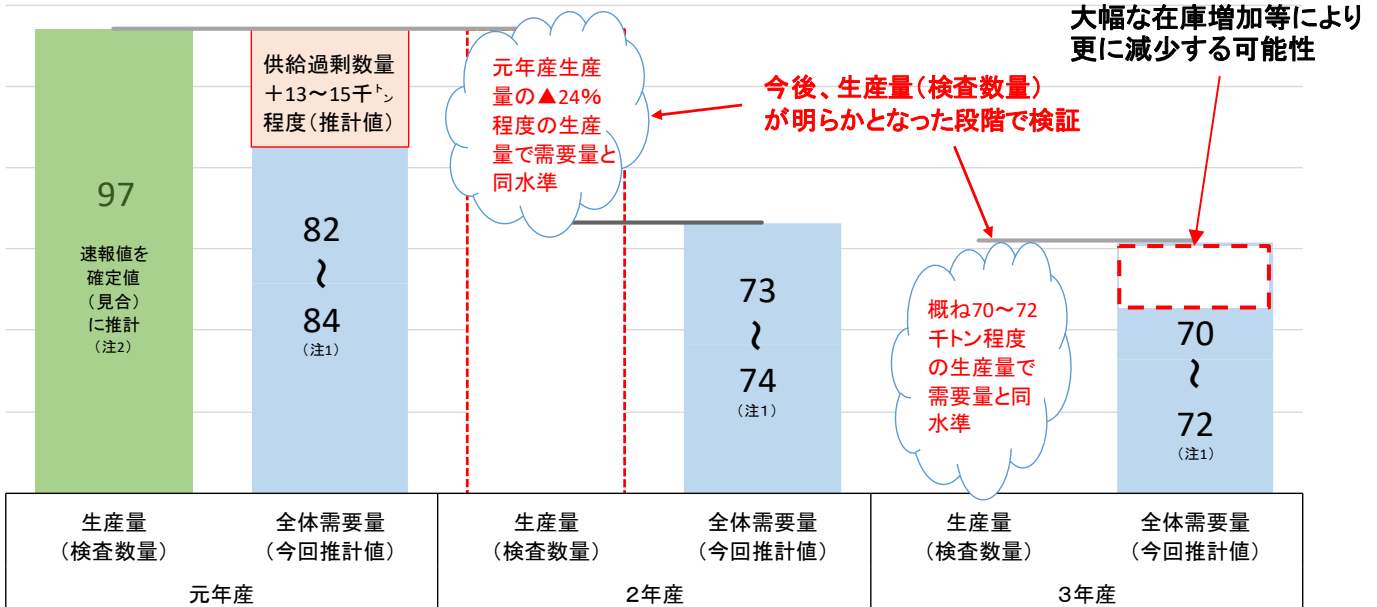
また、令和2年9月29日に「日本酒原料米の安定取引に向けた情報交換会」を開催したところであり、その概要については、同URLに追って掲載します。

[https://www.maff.go.jp/j/seisaku\\_tokatu/kikaku/sake.html](https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html)

- 令和元年産については、全体需要量（推計値）と生産量（検査数量）を比較すると、**+13~15千ト**程度供給過剰となっていると推計されます。
- 令和2年産については、**全体需要量が令和元年産の生産量の▲23千ト（▲24%）程度と大幅に減少**していることから、**大幅な供給過剰**となると見込まれます。
- 令和3年産については、**全体需要量と同水準の生産量**とするためには、**70~72千ト程度の生産量（令和元年産の生産量の▲26千ト（▲27%）程度）と大幅に生産抑制する必要**があります。また、令和2年産において大幅な在庫の増加が見込まれることを踏まえると、需給均衡には**さらに大幅な生産抑制が必要**と考えられます。
- 令和2年産の需給については、令和2年産酒造好適米の検査数量（生産量）が概ね明らかとなる**来年1月に検証し、2月号のマンスリーレポートでお知らせ**します。

### 酒造好適米(醸造用玄米)の全体需給の状況

(単位:千ト)



注1: 各年産の全体需要量(今回推計値)は、今回の需要量調査の数量ベース回収率が、平成30年産酒造好適米の全体需要量(87~89千ト)と今回調査の平成30年産の需要量(約70千ト)から約79~80%と推計されるため、各年産の今回調査結果の需要量を当該割合で除することにより算出。

注2: 生産量は、農産物検査数量(醸造用玄米)の値。ただし、令和元年産は、令和2年3月31日現在の速報値を直近3力年の3月31日現在の進捗率により確定値見合いに推計。

### 酒造好適米の需要に応じた生産に向けて

- 今後とも**日本酒の国内外での円滑な出荷・販売**のためには、原料となる酒造好適米についても**需給均衡を図り、産地と実需者間で安定取引を図っていくことが重要**です。
- 令和3年産の酒造好適米の作付けに当たっては、**産地品種銘柄毎の需要動向等に応じた生産・販売を行うほか**、よりの確な需要に応じた生産に資するためには、**は種前に生産者と需要者が契約を行うことや複数年契約の取組の拡大**を推進することが重要です。

## 令和2年度酒造好適米等の需要量調査結果の概要

- ・ 昨年に引き続き、酒造好適米の需要量を把握するため、日本酒の酒造メーカーを対象として本年7月に需要量調査を実施。

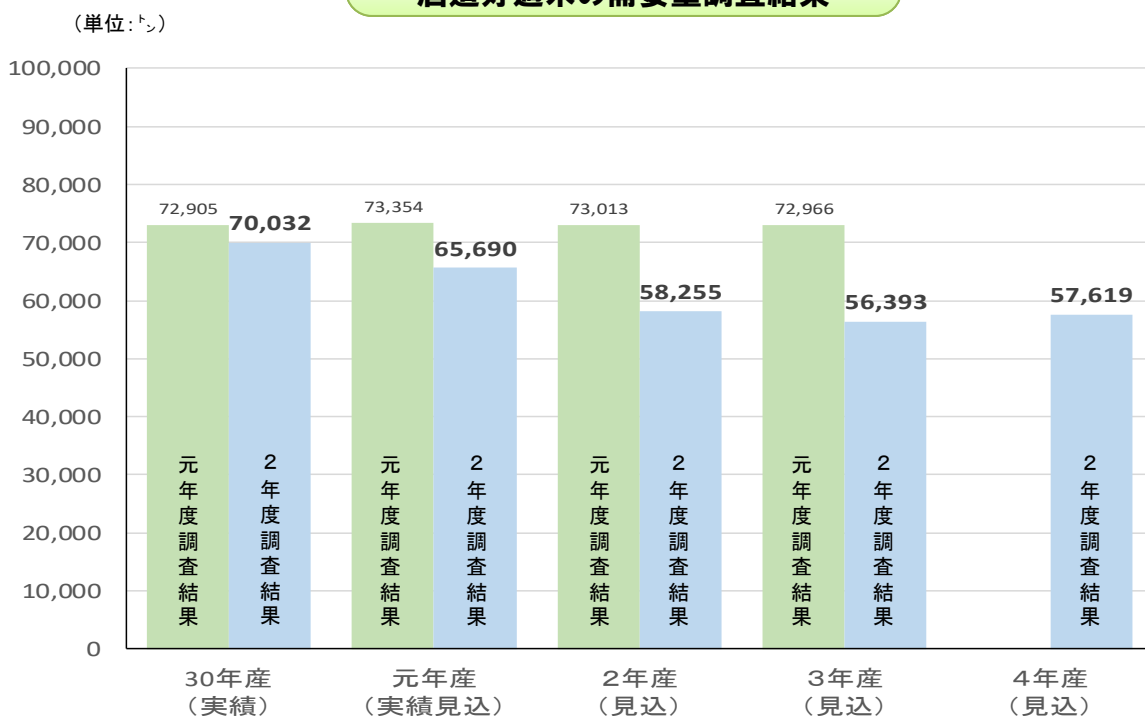
### 調査の概要

	令和元年度	令和2年度
調査期間	令和元年7月	令和2年7月
調査対象メーカー数	1,430社	1,421社
回答酒造メーカー数	763社	730社
回答率(数量ベース)	82~84%	79~80%

### 酒造好適米の需要量調査結果

- ・ 今年度の酒造好適米等の需要量調査で回答のあった酒造メーカーの令和3年産酒造好適米の需要見込みは、合計で56千トと平成30年産に比べて▲19%と大幅に減少するという結果になりました。
- ・ 昨年度の需要量調査においては、令和3年産米の需要量は、平成30年産に比べて±0%でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、業務用の日本酒を中心に国内出荷量が減少し、輸出も大幅に減少していることから、需要量が▲19%となったと考えられます。
- ・ また、令和元年産及び令和3年産の需要見込みについても、平成30年産を基準として昨年度の需要量調査からそれぞれ▲7%、▲17%分の需要量が減少しているため、在庫が大幅に増加すると見込まれます。

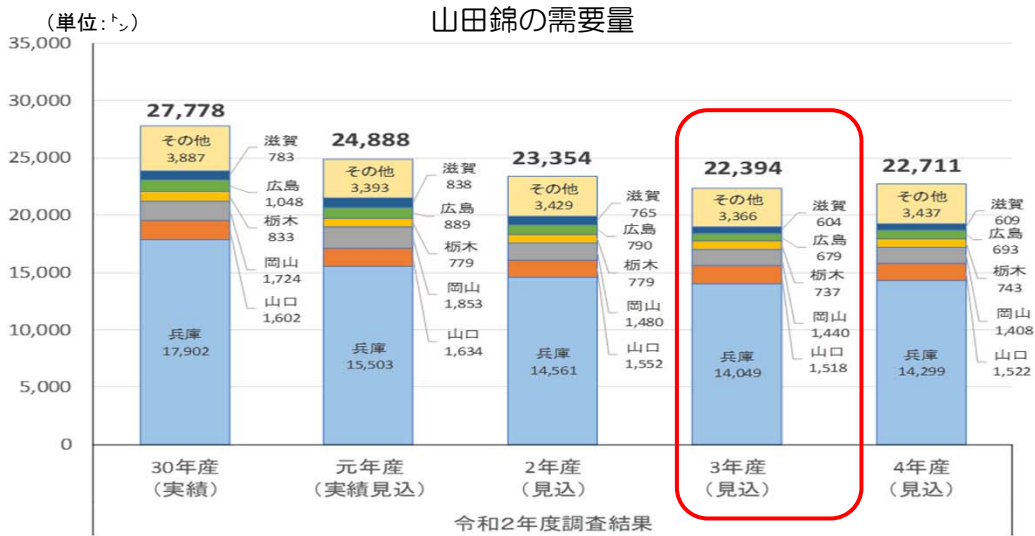
### 酒造好適米の需要量調査結果



## 主な酒造好適米の需要量(酒造メーカーからの回答分)

### 山田錦

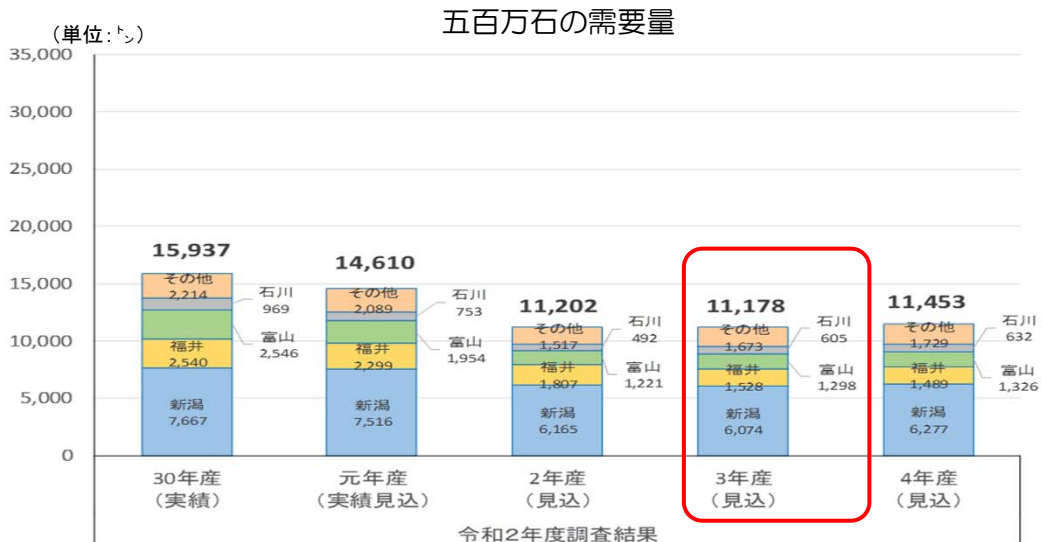
- 令和3年産の山田錦の需要量は、平成30年産に比べて▲19%と大幅に減少しています。
- 昨年度の需要量調査においては、令和3年産の山田錦の需要量は、平成30年産に比べて+1%でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により平成30年産を基準として▲20%分の需要が減少したと考えられます。
- 令和3年産の需要量については、令和元年産及び令和2年産において大幅な供給過剰が発生し、在庫が大幅に増加した場合、更に減少する可能性があります。



【参考】山田錦の生産量(検査数量)  
 38,431 (29年産)    33,916 (30年産)    34,631 (元年産(推計値))

### 五百万石

- 令和3年産の五百万石の需要量は、平成30年産に比べて▲30%と大幅に減少しています。
- 昨年度の需要量調査においては、令和3年産の五百万石の需要量は、平成30年産に比べて▲8%でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により平成30年産を基準として▲22%分の需要が減少したと考えられます。
- 令和3年産の需要量については、令和元年産及び令和2年産において大幅な供給過剰が発生し、在庫が大幅に増加した場合、更に減少する可能性があります。



【参考】五百万石の生産量(検査数量)  
 20,564 (29年産)    21,203 (30年産)    19,588 (元年産(推計値))



## 日本酒の国内出荷状況

- 日本酒の国内出荷量については、近年、減少傾向で推移しているところですが、平成30年以降は減少幅が大きくなり、これまで堅調に推移していた特定名称酒についても減少に転じたところです。
- また、令和2年については、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、業務用の日本酒を中心に国内出荷量が減少しており、特に酒造好適米を多く使用する特定名称酒が大幅に減少しています。

### 日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	
											(1~8月)	対前年同期比
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	566	555	540	533	495	467	236	87%
特定名称酒	291	221	174	164	167	173	178	179	171	165	78	82%
吟醸酒	34	30	20	21	24	25	24	24	23	22	10	82%
純米吟醸酒	25	26	24	29	32	37	42	45	45	45	23	83%
純米酒	62	54	57	58	59	62	65	67	64	62	31	85%
本醸造酒	169	111	73	56	52	49	46	43	38	35	15	74%
一般酒	842	650	485	416	399	382	362	353	324	302	158	90%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。

注1：清酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法等の違いによって吟醸酒、純米酒等8種類に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

注2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

## 日本酒の輸出状況

- 日本酒の国内出荷量が減少傾向にある中、輸出については、海外での日本食ブーム等を背景に増加傾向にありました。また、日本酒の全出荷量に占める輸出量の割合は約5%にまで増加してきました。
- 令和2年については、新型コロナウイルス感染症の世界的なまん延等の影響により、輸出数量が対前年同期比▲31%と大きく減少しています。

### 日本酒の輸出量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	
											(1~8月)	対前年同期比
日本酒輸出量	8	8	12	16	16	18	20	23	26	25	12	69%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	4	5	5	6	6	6	3	68%
中華人民共和国	0	0	0	1	1	2	2	3	4	5	2	69%
大韓民国	0	0	2	4	3	3	4	5	5	3	1	28%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	100%
香港	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	121%
その他	2	2	3	4	4	5	5	6	6	6	3	73%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

以上のほか、詳細な情報は、以下URLにより「日本酒をめぐる状況及び酒造好適米の需要量調査結果」を参照ください。

URL：[https://www.maff.go.jp/j/seisaku\\_tokatu/kikaku/sake.html](https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html)

# I 作柄概況

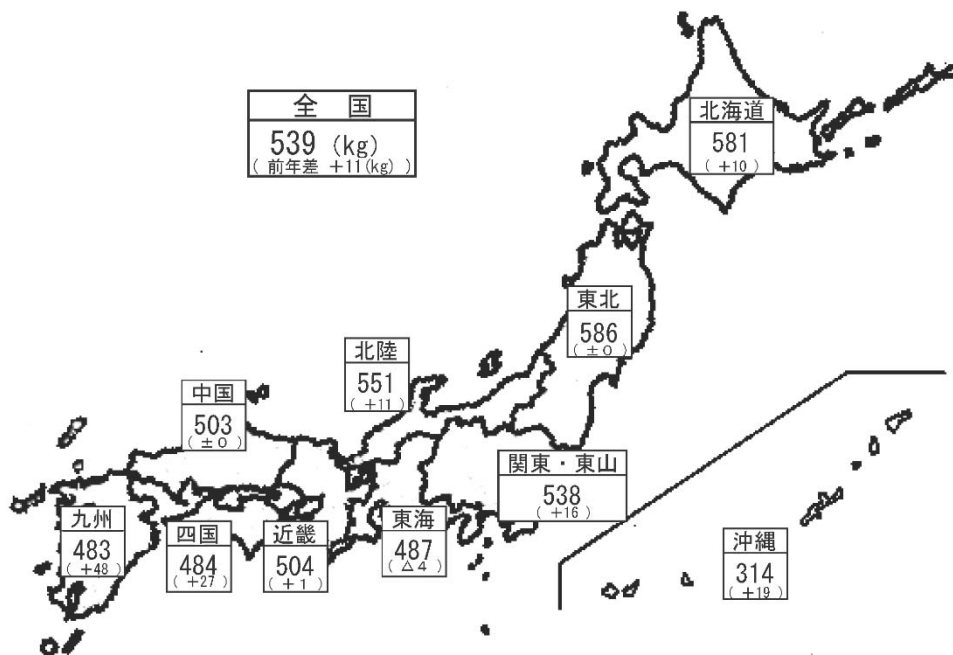
## 令和2年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況

— 主食用作付見込面積は136万6,000ha、10a当たり予想収量は539kgの見込み —

### 【調査結果の概要】

- 1 令和2年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は157万5,000haで、前年産に比べ9,000haの減少が見込まれる。うち主食用作付見込面積は136万6,000haで、前年産に比べ1万3,000haの減少が見込まれる。
- 2 9月15日現在における水稻の作柄は、7月の低温、日照不足等の影響がみられる地域がある一方で、北海道、東北及び北陸においては、全もみ数が平年以上に確保され、登熟も順調に推移していることから、全国の10a当たり予想収量は539kgとなった。また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は101が見込まれる。
- 3 主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は734万6,000tで、前年産に比べ8万5,000tの増加が見込まれる。

図1 全国農業地域別10a当たり予想収量(9月15日現在)



- 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月18日までの申請を反映したもの）を除いた面積（見込み）である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70 mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 本調査における作柄概況（9月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

○ 令和2年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況の本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。  
【 [https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kome/index.html#y3](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y3) 】

表 令和2年産水稻の作付面積及び9月15日現在の10a当たり予想収量(全国農業地域別)

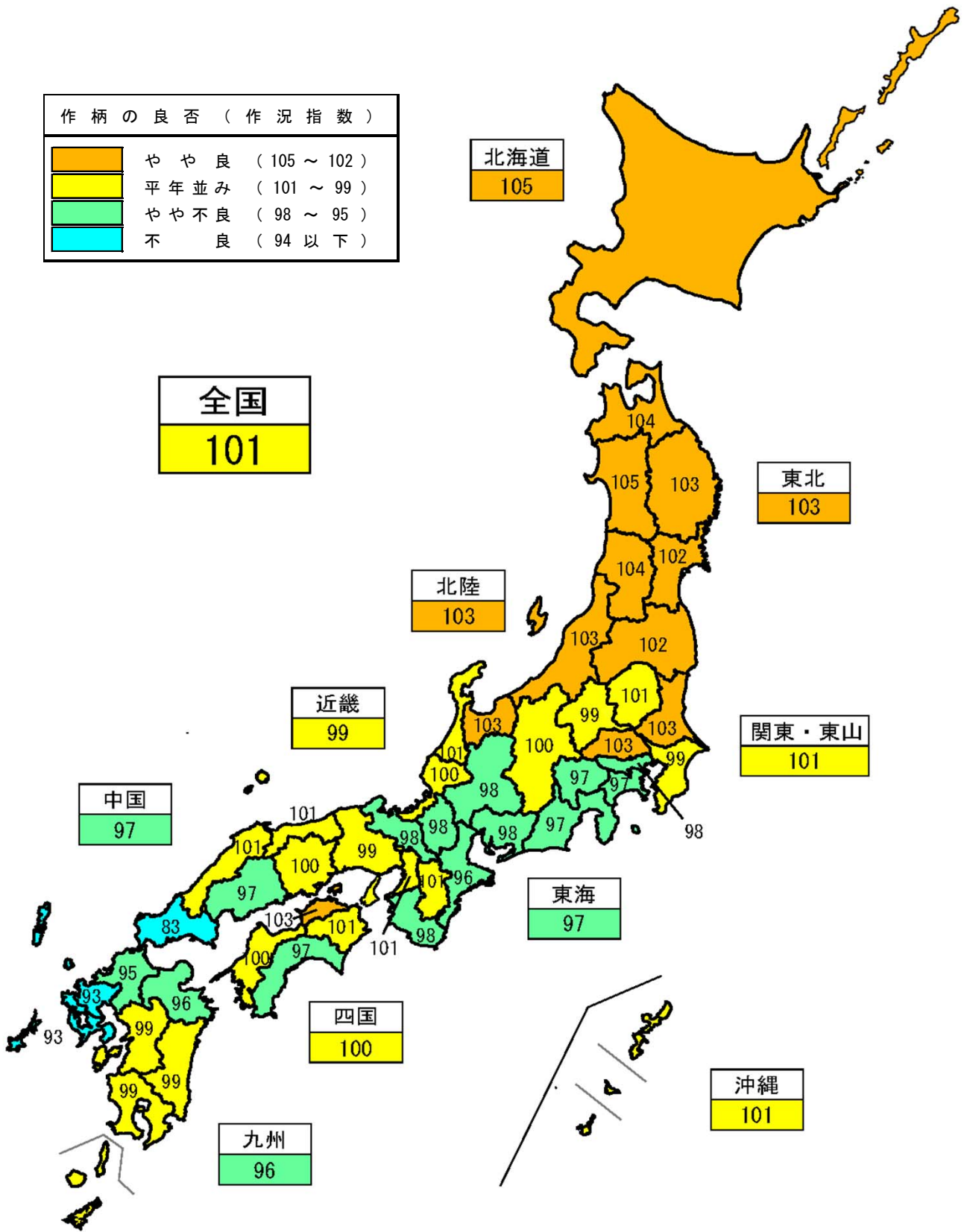
全国農業地域	作付面積（青刈り面積を含む。）			10 a 当たり予想収量		参 考	
	実 数	前年産との比較		実 数 ①	前年産との比較 対 差	主食用作付 見込面積 ②	予想収穫量 (主食用) ③=①×②
		対 差	対 比				
	ha	ha	%	kg	kg	ha	t
全 国	1,575,000	△ 9,000	99	539	11	1,366,000	7,346,000
北 海 道	104,700	△ 900	99	581	10	95,300	553,700
東 北	411,600	△ 900	100	586	0	342,100	2,001,000
北 陸	212,300	△ 500	100	551	11	185,900	1,023,000
関 東・東 山	296,100	△ 1,500	99	538	16	255,800	1,376,000
東 海	99,600	△ 700	99	487	△ 4	89,800	438,200
近 畿	104,100	△ 1,100	99	504	1	97,600	491,900
中 国	106,900	△ 1,100	99	503	0	98,200	494,500
四 国	49,900	△ 900	98	484	27	46,900	226,400
九 州	189,700	△ 1,400	99	483	48	153,200	739,200
沖 縄	653	△ 24	96	314	19	630	1,980

注:1 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 主食用作付見込面積及び予想収穫量(主食用)については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

3 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量(主食用)の算出は、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

図2 全国農業地域・都道府県別作況指数(9月15日現在)



注: 1 作況指数は、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。  
 2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出は、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

# 1 令和2年産水稻の作付面積、10a当たり予想収量及び作柄概況(9月15日現在)

全 国 都道府県	作付面積 (青刈り面積を含む。)			10 a 当たり 予想収量 ①	(参考) 農家等が使用している ふるい目幅で選別				
	実 数	前年産との比較			最 も 大 小 の 割 合 の 目 幅 ②	10 a 当たり 予想収量 ③	10 a 当たり 平年収量 ④	作 況 指 数 ⑤=③/④	
		対 差	対 比						
	ha	ha	%	kg		kg	kg		
全 国 (1)	1,575,000	△ 9,000	99	539	...	517	512	101	
北 海 道 (2)	104,700	△ 900	99	581	1.90	551	524	105	
青 森 (3)	50,300	△ 100	100	623	1.90	595	570	104	
岩 手 (4)	55,700	△ 200	100	558	1.90	528	514	103	
宮 城 (5)	75,300	0	100	552	1.90	527	515	102	
秋 田 (6)	90,300	△ 200	100	601	1.90	566	541	105	
山 形 (7)	68,800	△ 100	100	621	1.90	590	568	104	
福 島 (8)	71,200	△ 200	100	564	1.85	546	533	102	
茨 城 (9)	76,200	△ 400	99	532	1.85	520	505	103	
栃 木 (10)	69,100	△ 100	100	538	1.85	519	515	101	
群 馬 (11)	17,000	△ 100	99	495	1.80	479	482	99	
埼 玉 (12)	33,200	△ 200	99	502	1.80	490	477	103	
千 葉 (13)	60,200	△ 600	99	537	1.80	528	534	99	
東 京 (14)	124	△ 5	96	405	1.80	394	403	98	
神 奈 川 (15)	3,000	△ 50	98	477	1.80	464	477	97	
新 潟 (16)	121,800	△ 100	100	561	1.85	544	527	103	
富 山 (17)	38,900	0	100	554	1.90	535	519	103	
石 川 (18)	25,400	△ 200	99	530	1.85	516	509	101	
福 井 (19)	26,200	△ 200	99	519	1.90	486	486	100	
山 梨 (20)	4,910	0	100	532	1.80	517	532	97	
長 野 (21)	32,200	△ 200	99	617	1.85	596	598	100	
岐 阜 (22)	25,000	△ 100	100	477	1.80	467	476	98	
静 岡 (23)	16,800	△ 300	98	503	1.80	494	511	97	
愛 知 (24)	28,900	△ 100	100	495	1.85	479	491	98	
三 重 (25)	28,900	△ 300	99	479	1.85	459	479	96	
滋 賀 (26)	32,400	△ 500	98	509	1.90	474	483	98	
京 都 (27)	14,500	△ 100	99	503	1.85	486	494	98	
大 阪 (28)	4,710	△ 150	97	499	1.80	483	479	101	
兵 庫 (29)	37,600	△ 300	99	499	1.85	474	477	99	
奈 良 (30)	8,540	△ 20	100	520	1.80	507	500	101	
和 歌 山 (31)	6,250	△ 110	98	485	1.80	474	486	98	
鳥 取 (32)	13,700	△ 100	99	520	1.85	501	495	101	
島 根 (33)	18,400	△ 200	99	522	1.90	488	483	101	
岡 山 (34)	31,200	△ 300	99	526	1.85	501	501	100	
広 島 (35)	23,400	△ 200	99	510	1.85	492	508	97	
山 口 (36)	20,100	△ 400	98	427	1.85	401	481	83	
徳 島 (37)	11,700	△ 300	98	476	1.80	465	462	101	
早期栽培 (38)	4,680	△ 50	99	453	1.80	443	453	98	
普通栽培 (39)	7,050	△ 200	97	490	1.80	478	467	102	
香 川 (40)	11,900	△ 400	97	511	1.80	492	478	103	
愛 媛 (41)	13,800	△ 200	99	497	1.85	469	469	100	
高 知 (42)	12,400	△ 100	99	447	1.80	435	447	97	
早期栽培 (43)	7,180	△ 60	99	454	1.80	442	472	94	
普通栽培 (44)	5,250	△ 40	99	438	1.80	427	415	103	
福 岡 (45)	38,300	△ 200	99	471	1.85	436	459	95	
佐 賀 (46)	26,000	△ 100	100	484	1.85	455	488	93	
長 崎 (47)	12,400	△ 300	98	450	1.80	433	464	93	
熊 本 (48)	42,300	0	100	505	1.85	473	480	99	
大 分 (49)	24,100	△ 300	99	479	1.80	458	477	96	
宮 崎 (50)	23,100	△ 100	100	490	1.80	475	482	99	
早期栽培 (51)	8,540	△ 160	98	469	1.80	459	470	98	
普通栽培 (52)	14,600	△ 100	101	503	1.80	485	490	99	
鹿 児 島 (53)	23,500	△ 400	98	480	1.80	466	470	99	
早期栽培 (54)	6,590	△ 10	100	443	1.80	431	443	97	
普通栽培 (55)	16,900	△ 400	98	492	1.80	477	478	100	
沖 縄 (56)	653	△ 24	96	314	1.80	303	299	101	
第一期稲 (57)	479	△ 27	95	367	1.80	359	351	102	
第二期稲 (58)	174	3	102	...	1.80	...	146	...	

注: 1 ①10a当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。  
 2 ③10a当たり予想収量、④10a当たり平年収量及び⑤作況指数については、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。  
 3 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収量(主食用)の算出は、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

参 考		作柄概況 (平年比較)				
主食用作付見込面積	予想収穫量 (主食用)	穂数の多少	1 穂 当 た り も み 数 の 多 少	全 も み 数 の 多 少	登熟の良否	
⑥	⑦=①×⑥					
ha	t					
1,366,000	7,346,000	…	…	…	…	(1)
95,300	553,700	やや少ない	多い	やが多い	やや良	(2)
38,300	238,600	やが多い	平年並み	多い	やや不良	(3)
48,200	269,000	やが多い	平年並み	やが多い	やや不良	(4)
64,500	356,000	平年並み	やが多い	やが多い	平年並み	(5)
75,300	452,600	やが多い	平年並み	やが多い	平年並み	(6)
56,500	350,900	多い	平年並み	多い	平年並み	(7)
59,200	333,900	やが多い	やが多い	やが多い	平年並み	(8)
65,500	348,500	やや少ない	平年並み	平年並み	やや良	(9)
54,900	295,400	平年並み	やが多い	やが多い	平年並み	(10)
13,600	67,300	少ない	やが多い	やや少ない	平年並み	(11)
30,600	153,600	やや少ない	やが多い	やが多い	平年並み	(12)
52,500	281,900	平年並み	やが多い	やが多い	やや不良	(13)
124	502	やや少ない	やが多い	やや少ない	平年並み	(14)
2,990	14,300	少ない	やが多い	少ない	やや良	(15)
106,700	598,600	やや少ない	多い	やが多い	やや不良	(16)
33,200	183,900	やが多い	平年並み	やが多い	平年並み	(17)
22,600	119,800	平年並み	平年並み	平年並み	やや良	(18)
23,300	120,900	平年並み	やが多い	平年並み	平年並み	(19)
4,800	25,500	やや少ない	やが多い	やや少ない	平年並み	(20)
30,700	189,400	やや少ない	多い	平年並み	やや不良	(21)
21,400	102,100	やや少ない	やが多い	平年並み	平年並み	(22)
15,400	77,500	少ない	多い	やが多い	やや不良	(23)
26,400	130,700	少ない	やが多い	やや少ない	平年並み	(24)
26,700	127,900	少ない	やが多い	やや少ない	平年並み	(25)
29,700	151,200	少ない	やが多い	やや少ない	平年並み	(26)
13,800	69,400	やや少ない	やが多い	平年並み	やや不良	(27)
4,700	23,500	やや少ない	やが多い	平年並み	平年並み	(28)
34,800	173,700	少ない	やが多い	平年並み	平年並み	(29)
8,430	43,800	やや少ない	やが多い	平年並み	平年並み	(30)
6,250	30,300	少ない	やが多い	やや少ない	やや良	(31)
12,800	66,600	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	(32)
16,800	87,700	平年並み	やが多い	やが多い	やや不良	(33)
28,900	152,000	やや少ない	やが多い	平年並み	平年並み	(34)
22,000	112,200	やや少ない	やが多い	平年並み	やや不良	(35)
17,800	76,000	やや少ない	やが多い	平年並み	不良	(36)
10,700	50,900	…	…	…	…	(37)
…	…	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	(38)
…	…	平年並み	やが多い	やが多い	やや不良	(39)
11,600	59,300	少ない	多い	平年並み	やや良	(40)
13,300	66,100	平年並み	やが多い	やが多い	やや不良	(41)
11,200	50,100	…	…	…	…	(42)
…	…	やや少ない	やが多い	やが多い	不良	(43)
…	…	平年並み	やが多い	やが多い	平年並み	(44)
34,400	162,000	少ない	やが多い	やや少ない	平年並み	(45)
23,400	113,300	少ない	やが多い	少ない	平年並み	(46)
11,000	49,500	少ない	やが多い	少ない	やや不良	(47)
32,300	163,100	やや少ない	多い	やが多い	やや不良	(48)
20,000	95,800	少ない	やが多い	やや少ない	やや不良	(49)
14,300	70,100	…	…	…	…	(50)
…	…	やや少ない	やが多い	平年並み	やや不良	(51)
…	…	少ない	多い	やが多い	やや不良	(52)
17,800	85,400	…	…	…	…	(53)
…	…	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	(54)
…	…	少ない	多い	平年並み	平年並み	(55)
630	1,980	…	…	…	…	(56)
…	…	平年並み	平年並み	やが多い	やや良	(57)
…	…	…	…	…	…	(58)

- 4 主食用作付見込面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積(9月18日までの申請を反映したもの)を除いた面積(見込み)である。
- 5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県における早期・普通期別等の主食用作付見込面積は、作期別に備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。
- 6 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県における県平均の「穂数の多少」以降の指標は、調査を早期・普通期別等に行っており県平均を取りまとめていないため、「…」で示している。

## 2 令和2年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合(9月15日現在)

都道府県	出穂期								刈取済面積割合
	始期	最盛期	終期	最盛期の比較		対前年差	対前年差		
				対前年差	対前年差				
月 日	月 日	月 日	...	...	...	...	...	%	
全 国	...	...	...	...	...	...	...	27	
北 海 道	7. 25	7. 31	8. 7	1日早	2日遅			3	
青 森	8. 2	8. 5	8. 10	並み	1日遅			2	
岩 手	8. 2	8. 6	8. 10	1日遅	2日遅			3	
宮 城	8. 1	8. 6	8. 13	5日遅	4日遅			1	
秋 田	7. 30	8. 3	8. 9	1日早	1日遅			0	
山 形	8. 2	8. 6	8. 14	1日遅	2日遅			2	
福 島	8. 3	8. 9	8. 17	1日遅	並み			0	
茨 城	7. 22	8. 2	8. 14	4日遅	1日遅			62	
栃 木	7. 29	8. 4	8. 18	5日遅	2日遅			26	
群 馬	8. 6	8. 21	9. 1	2日遅	並み			3	
埼 玉	7. 26	8. 12	8. 30	2日遅	並み			31	
千 葉	7. 10	7. 21	8. 3	2日早	5日早			91	
東 京	8. 1	8. 14	8. 25	並み	1日早			2	
神 奈 川	8. 1	8. 11	8. 20	1日早	2日早			13	
新 潟	7. 25	8. 6	8. 15	1日遅	3日遅			40	
富 山	7. 12	8. 5	8. 15	4日遅	4日遅			49	
石 川	7. 17	7. 30	8. 6	1日遅	1日遅			71	
福 井	7. 15	8. 4	8. 15	4日遅	2日遅			77	
山 梨	8. 6	8. 11	9. 1	3日遅	1日遅			8	
長 野	8. 1	8. 9	8. 17	3日遅	1日遅			7	
岐 阜	7. 21	8. 21	9. 2	1日遅	並み			26	
静 岡	7. 20	8. 7	8. 28	並み	2日早			41	
愛 知	7. 26	8. 20	9. 6	2日遅	1日遅			29	
三 重	7. 14	7. 22	8. 9	1日早	5日早			87	
滋 賀	7. 27	8. 2	8. 18	2日遅	2日遅			49	
京 都	7. 23	8. 2	8. 16	並み	1日遅			42	
大 阪	8. 2	8. 22	8. 30	1日早	並み			8	
兵 庫	7. 30	8. 13	8. 30	2日遅	2日遅			35	
奈 良	7. 31	8. 23	8. 29	1日早	並み			16	
和 歌 山	7. 19	8. 6	8. 24	1日早	2日早			45	
鳥 取	7. 29	8. 9	8. 25	3日遅	1日遅			17	
島 根	7. 21	8. 3	8. 23	4日遅	2日遅			49	
岡 山	7. 31	8. 21	9. 5	1日遅	並み			22	
広 島	7. 24	8. 9	8. 26	2日遅	1日遅			37	
山 口	7. 30	8. 12	8. 27	3日遅	3日遅			45	
徳 島	7. 6	7. 13	7. 27	1日早	3日早			100	
香 川	7. 20	8. 20	8. 30	1日早	2日早			40	
愛 媛	7. 17	8. 13	9. 3	並み	1日早			44	
高 知	6. 23	7. 2	7. 19	並み	1日早			100	
福 岡	8. 2	8. 23	9. 3	並み	並み			22	
佐 賀	7. 24	8. 30	9. 12	2日遅	並み			8	
長 崎	7. 17	8. 26	9. 4	並み	1日早			13	
熊 本	7. 14	8. 22	9. 6	1日早	1日早			9	
大 分	7. 29	8. 24	9. 3	2日早	4日早			4	
宮 崎	6. 19	6. 24	6. 30	並み	並み			100	
鹿 児 島	8. 16	8. 23	9. 3	2日早	2日早			0	
沖 縄	6. 16	6. 26	7. 15	並み	並み			100	
沖 縄	8. 18	8. 24	9. 5	2日早	4日早			0	
沖 縄	4. 22	5. 21	6. 14	1日早	2日遅			100	

注: 出穂期の始期、最盛期、終期とは、出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。

## Ⅱ 米の民間在庫情報

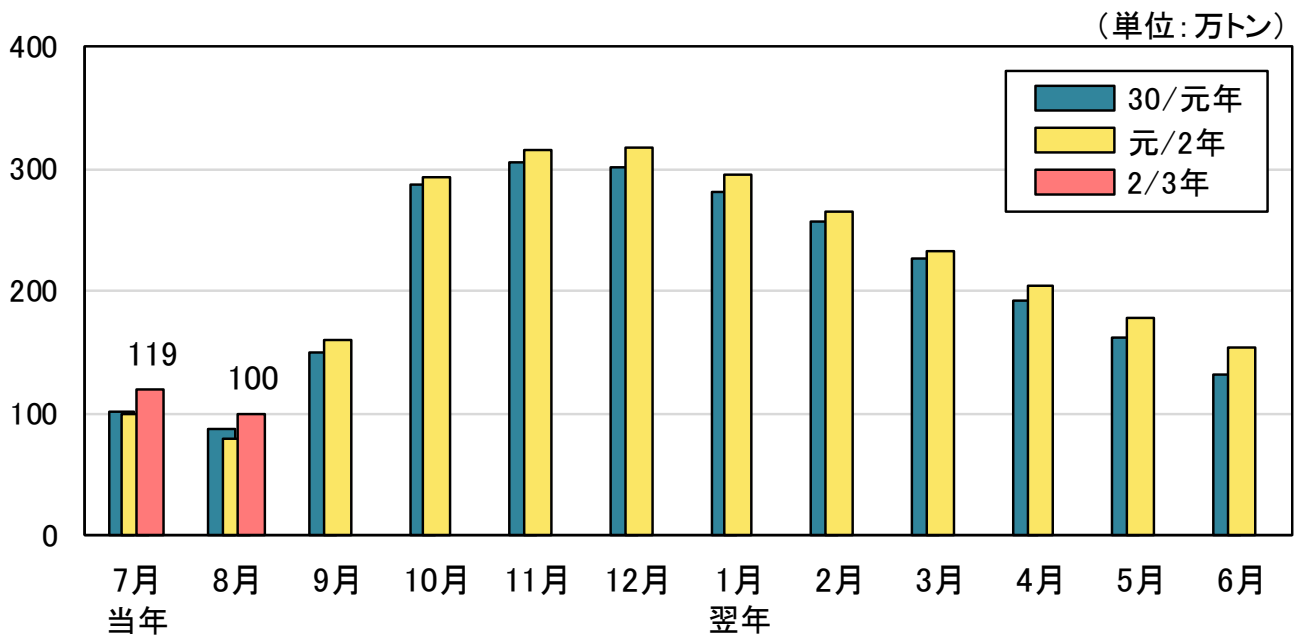
### 1 民間在庫の推移

#### (1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。  
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

- 令和2年8月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差+21万トンの100万トンとなっている。また、流通段階別で見ると出荷段階で対前年同月差+15万トン、販売段階で+7万トンとなっている。

※ 産地別の在庫量は、「在庫4」以降を参照。





# 【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

## 【出荷＋販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
26/27年	(注7) 119	103	198	344	368	365	343	314	280	243	208	168
対前年差	▲1	▲2	▲12	▲24	▲25	▲24	▲15	▲16	▲11	▲15	▲15	▲21
26年産米	0	14	131	285	316	323	306	283	255	220	188	155
1年古米(25年産)	106	78	55	45	37	28	23	19	15	13	11	9
27/28年	130	112	184	321	341	337	314	287	254	218	183	147
対前年差	+11	+9	▲13	▲23	▲27	▲28	▲29	▲26	▲26	▲26	▲24	▲21
27年産米	0	13	112	261	289	297	282	262	233	201	168	135
1年古米(26年産)	119	90	66	52	43	32	25	19	15	12	11	8
28/29年	(注7) 114	93	177	314	338	329	306	282	248	212	177	141
対前年差	▲16	▲19	▲7	▲7	▲3	▲8	▲8	▲6	▲6	▲5	▲7	▲7
28年産米	1	14	122	267	299	299	284	264	233	201	167	135
1年古米(27年産)	104	72	48	38	30	22	16	12	9	7	5	4
29/30年	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲18	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	▲6
29年産米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+14	+7	+6	+11	+16	+23
元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	100										
対前年差	+20	+21										
2年産米	0	11										
1年古米(元年産)	112	84										

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 期間については、2/3年であれば、令和2年7月～3年6月である。

5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

6 26年産米以降は、政府備蓄米を含まない（元年産は、2年1月末在庫公表時点においてそれ以前の月末在庫にも遡及して整理。）。25年産以前の年産は、政府による買入までの間の政府備蓄米を含む。

7 米穀機構の25年産買入数量（35万トン）は、26/27年7月以降の在庫に含まれていない。

## 【出荷段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
26/27年	93	78	165	293	316	313	295	270	234	199	170	139
対前年差	+2	+2	▲8	▲16	▲17	▲18	▲11	▲12	▲10	▲18	▲18	▲20
26年産米	0	12	119	261	289	293	280	257	225	192	165	134
1年古米(25年産)	89	64	44	29	22	16	13	10	7	5	4	4
27/28年	105	89	157	278	296	292	273	249	210	178	149	117
対前年差	+12	+11	▲8	▲15	▲20	▲21	▲22	▲22	▲24	▲21	▲22	▲21
27年産米	0	11	100	237	262	267	254	234	202	171	143	112
1年古米(26年産)	101	76	55	39	32	23	18	14	8	6	5	4
28/29年	89	70	145	261	284	276	260	236	201	170	142	112
対前年差	▲16	▲20	▲12	▲17	▲11	▲16	▲13	▲12	▲9	▲7	▲7	▲5
28年産米	1	11	108	239	268	265	252	230	197	167	139	111
1年古米(27年産)	84	56	35	19	14	9	6	5	3	2	2	1
29/30年	84	66	124	231	262	257	240	218	186	158	130	103
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲19	▲20	▲18	▲14	▲13	▲12	▲9
29年産米	0	11	89	211	247	248	233	213	183	155	128	102
1年古米(28年産)	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	1
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30年産米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1年古米(29年産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元年産米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
元/2年	84	69										
対前年差	+10	+15										
2年産米	0	8										
1年古米(元年産)	82	60										

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

## 【販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
26/27年	27	24	32	51	52	52	47	44	46	44	37	30
対前年差	▲3	▲3	▲4	▲8	▲8	▲6	▲4	▲4	▲1	+3	+3	▲1
26年産米	0	3	13	24	26	30	27	26	29	29	24	21
1年古米(25年産)	17	14	11	16	15	12	10	8	8	8	7	5
27/28年	25	23	27	43	45	45	41	39	44	40	35	30
対前年差	▲2	▲2	▲5	▲8	▲7	▲7	▲7	▲5	▲2	▲4	▲3	+0
27年産米	0	2	11	24	27	29	27	28	32	30	25	23
1年古米(26年産)	17	14	10	13	12	9	7	5	7	6	6	4
28/29年	25	24	32	53	53	53	46	45	47	42	35	29
対前年差	+1	+1	+5	+10	+8	+8	+5	+7	+3	+2	+0	▲2
28年産米	0	3	14	28	31	35	31	33	37	34	28	25
1年古米(27年産)	19	16	13	20	17	13	9	7	6	4	3	3
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	31
対前年差	▲2	▲1	▲1	▲0	+1	+1	+3	▲0	+1	+2	+2	+2
29年産米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	28
1年古米(28年産)	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	2
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	+0	+0	▲0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30年産米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1年古米(29年産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	▲0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元年産米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35	31										
対前年差	+9	+7										
2年産米	0	3										
1年古米(元年産)	+30	+24										

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

在庫3

## (2) 産地別民間在庫の状況（前年同月差）

単位：千玄米トン

	30年産			元年産				
	元年 6月	元年 7月 ①	元年 8月 ②	2年 6月	2年 7月 ③	対前年 同月差 ③-①	2年 8月 ④	対前年 同月差 ④-②
北海道	146.1	108.9	75.3	147.4	113.9	+ 5.0	84.6	+ 9.2
青森	76.4	59.5	43.1	93.7	76.0	+ 16.5	61.1	+ 18.0
岩手	59.8	43.8	29.3	86.5	67.9	+ 24.1	49.6	+ 20.3
宮城	87.1	69.2	54.3	112.3	89.2	+ 19.9	68.9	+ 14.5
秋田	95.8	66.1	41.2	115.9	83.6	+ 17.5	57.2	+ 15.9
山形	69.1	53.7	40.4	102.6	85.4	+ 31.7	69.0	+ 28.6
福島	100.1	79.0	56.0	124.3	103.6	+ 24.6	87.1	+ 31.1
茨城	43.1	29.8	33.6	50.3	36.0	+ 6.1	44.9	+ 11.3
栃木	82.2	65.5	47.0	79.0	65.3	▲ 0.2	52.5	+ 5.6
群馬	13.9	10.9	7.9	9.6	8.1	▲ 2.8	6.7	▲ 1.2
埼玉	12.8	10.3	7.8	13.4	10.4	+ 0.1	7.7	▲ 0.1
千葉	29.9	19.3	45.9	25.8	15.4	▲ 3.9	49.2	+ 3.3
東京	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	0.0	+ 0.0
神奈川	0.5	0.4	0.3	0.7	0.6	+ 0.2	0.5	+ 0.2
山梨	2.3	1.9	1.4	2.7	2.0	+ 0.2	1.4	+ 0.0
長野	24.5	22.4	16.6	39.6	29.6	+ 7.1	20.8	+ 4.2
静岡	3.5	2.0	3.8	5.5	3.5	+ 1.5	5.3	+ 1.5
新潟	84.9	58.9	35.1	121.5	84.7	+ 25.7	53.7	+ 18.6
富山	31.6	21.7	14.6	34.3	25.8	+ 4.2	19.9	+ 5.3
石川	23.2	17.1	13.5	22.9	16.6	▲ 0.5	11.6	▲ 1.9
福井	26.8	19.0	14.8	29.6	22.2	+ 3.3	18.1	+ 3.3
岐阜	10.6	8.7	8.2	16.6	14.3	+ 5.6	12.4	+ 4.2
愛知	14.2	10.8	8.6	15.7	12.3	+ 1.4	10.8	+ 2.1
三重	15.4	10.0	15.5	14.7	7.6	▲ 2.4	14.4	▲ 1.0
滋賀	26.2	19.1	14.8	25.6	19.1	▲ 0.0	16.3	+ 1.5
京都	4.6	3.6	2.4	5.5	4.5	+ 0.9	3.4	+ 1.0
大阪	0.5	0.4	0.3	0.7	0.5	+ 0.2	0.4	+ 0.1
兵庫	20.0	16.5	12.8	22.0	18.9	+ 2.5	15.3	+ 2.4
奈良	3.3	2.4	1.7	4.4	3.4	+ 0.9	2.5	+ 0.8
和歌山	0.6	0.5	0.3	0.8	0.6	+ 0.2	0.6	+ 0.2
鳥取	11.4	8.3	5.7	13.6	9.3	+ 1.1	6.1	+ 0.4
島根	12.8	8.9	6.7	10.1	6.7	▲ 2.2	4.5	▲ 2.2
岡山	24.4	19.6	14.0	28.0	23.1	+ 3.4	18.3	+ 4.3
広島	14.8	11.4	8.2	14.5	11.2	▲ 0.2	8.4	+ 0.2
山口	17.0	13.1	10.2	14.2	11.0	▲ 2.1	8.6	▲ 1.6
徳島	3.6	2.5	7.2	4.0	3.0	+ 0.5	10.8	+ 3.6
香川	9.4	7.5	6.1	8.5	6.6	▲ 0.8	5.7	▲ 0.4
愛媛	4.2	3.1	3.6	3.5	2.7	▲ 0.4	3.7	+ 0.1
高知	3.0	2.2	9.6	2.9	2.0	▲ 0.2	7.4	▲ 2.2
福岡	26.2	18.9	13.5	19.7	13.8	▲ 5.0	9.6	▲ 3.9
佐賀	16.7	12.2	9.8	13.0	10.6	▲ 1.6	9.7	▲ 0.1
長崎	4.5	3.3	2.6	3.2	2.4	▲ 0.8	2.3	▲ 0.3
熊本	27.5	21.5	18.1	19.8	14.1	▲ 7.4	11.4	▲ 6.7
大分	8.9	7.2	5.9	5.6	4.1	▲ 3.0	3.3	▲ 2.5
宮崎	3.6	6.0	7.4	3.2	3.6	▲ 2.4	6.7	▲ 0.8
鹿児島	8.8	7.9	10.2	8.3	6.9	▲ 1.0	8.5	▲ 1.7
沖縄	0.3	0.6	0.5	0.3	0.6	▲ 0.0	0.4	▲ 0.2
全国	1,310.0	990.0	790.0	1,540.0	1,190.0	+ 200.0	1,000.0	+ 210.0

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

### (3) 令和元・2年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

(北海道から秋田)							(山形から埼玉)									
							(単位:千玄米トン)									
		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月			2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
北海道	出荷+販売段階		113.9	84.6					山形	出荷+販売段階		85.4	69.0			
	2年産米									2年産米			0.0			
	1年古米(元年産)		109.0	80.6						1年古米(元年産)		83.3	67.2			
	出荷段階		86.4	60.6						出荷段階		72.7	56.6			
	2年産米									2年産米						
	1年古米(元年産)		85.0	59.5						1年古米(元年産)		72.0	56.0			
	販売段階		27.6	23.9						販売段階		12.7	12.4			
	2年産米									2年産米			0.0			
	1年古米(元年産)		24.0	21.1						1年古米(元年産)		11.2	11.2			
青森	出荷+販売段階		76.0	61.1					福島	出荷+販売段階		103.7	87.1			
	2年産米									2年産米			0.0			
	1年古米(元年産)		75.1	60.4						1年古米(元年産)		101.9	85.7			
	出荷段階		54.4	42.5						出荷段階		79.7	68.5			
	2年産米									2年産米			0.0			
	1年古米(元年産)		54.4	42.5						1年古米(元年産)		79.0	68.0			
	販売段階		21.5	18.5						販売段階		23.9	18.7			
	2年産米									2年産米			0.0			
	1年古米(元年産)		20.7	17.9						1年古米(元年産)		22.9	17.7			
岩手	出荷+販売段階		67.9	49.6					茨城	出荷+販売段階		36.0	44.9			
	2年産米									2年産米			19.2			
	1年古米(元年産)		66.3	48.3						1年古米(元年産)		34.9	24.8			
	出荷段階		49.2	37.5						出荷段階		19.4	24.6			
	2年産米									2年産米			12.1			
	1年古米(元年産)		48.6	36.9						1年古米(元年産)		19.2	12.4			
	販売段階		18.6	12.1						販売段階		16.6	20.3			
	2年産米									2年産米			7.1			
	1年古米(元年産)		17.7	11.4						1年古米(元年産)		15.6	12.4			
宮城	出荷+販売段階		89.2	68.9					栃木	出荷+販売段階		65.3	52.5			
	2年産米			0.0						2年産米			0.0			
	1年古米(元年産)		87.2	67.2						1年古米(元年産)		64.3	51.8			
	出荷段階		66.9	52.3						出荷段階		40.4	32.9			
	2年産米									2年産米			0.0			
	1年古米(元年産)		66.7	52.1						1年古米(元年産)		40.3	32.8			
	販売段階		22.3	16.6						販売段階		24.9	19.6			
	2年産米			0.0						2年産米						
	1年古米(元年産)		20.5	15.1						1年古米(元年産)		24.0	19.0			
秋田	出荷+販売段階		83.6	57.2					群馬	出荷+販売段階		8.1	6.7			
	2年産米									2年産米						
	1年古米(元年産)		83.2	56.9						1年古米(元年産)		8.0	6.6			
	出荷段階		63.0	42.0						出荷段階		5.9	5.0			
	2年産米									2年産米						
	1年古米(元年産)		62.9	41.9						1年古米(元年産)		5.9	5.0			
	販売段階		20.6	15.2						販売段階		2.2	1.7			
	2年産米									2年産米						
	1年古米(元年産)		20.3	15.0						1年古米(元年産)		2.1	1.7			
山形	出荷+販売段階		10.4	7.7					埼玉	出荷+販売段階		10.4	7.1			
	2年産米			0.6						2年産米			0.6			
	1年古米(元年産)		10.4	7.1						1年古米(元年産)		10.4	7.1			
	出荷段階		7.4	4.7						出荷段階		7.4	4.7			
	2年産米			0.3						2年産米			0.3			
	1年古米(元年産)		7.4	4.4						1年古米(元年産)		7.4	4.4			
	販売段階		3.0	3.0						販売段階		3.0	3.0			
	2年産米			0.3						2年産米			0.3			
	1年古米(元年産)		3.0	2.7						1年古米(元年産)		3.0	2.7			

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(千葉から静岡)

(新潟から愛知)

(単位:千玄トン)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉	出荷+販売段階	15.4	49.2				
	2年産米		40.0				
	1年古米(元年産)	15.2	9.1				
	出荷段階	4.0	38.2				
	2年産米		36.8				
	1年古米(元年産)	4.0	1.4				
	販売段階	11.4	11.0				
	2年産米		3.2				
			11.2	7.7			
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0				
	2年産米						
	1年古米(元年産)	0.0	0.0				
	出荷段階						
	2年産米						
	1年古米(元年産)						
	販売段階	0.0	0.0				
	2年産米						
			0.0	0.0			
神奈川	出荷+販売段階	0.6	0.5				
	2年産米						
	1年古米(元年産)	0.6	0.5				
	出荷段階	0.6	0.5				
	2年産米						
	1年古米(元年産)	0.6	0.5				
	販売段階	0.1	0.1				
	2年産米						
			0.1	0.1			
山梨	出荷+販売段階	2.0	1.4				
	2年産米		0.0				
	1年古米(元年産)	2.0	1.4				
	出荷段階	1.7	1.2				
	2年産米						
	1年古米(元年産)	1.7	1.2				
	販売段階	0.3	0.3				
	2年産米		0.0				
			0.3	0.3			
長野	出荷+販売段階	29.6	20.8				
	2年産米						
	1年古米(元年産)	29.0	20.4				
	出荷段階	20.6	15.3				
	2年産米						
	1年古米(元年産)	20.5	15.3				
	販売段階	9.0	5.5				
	2年産米						
			8.5	5.1			
静岡	出荷+販売段階	3.5	5.3				
	2年産米		3.0				
	1年古米(元年産)	3.5	2.3				
	出荷段階	1.2	2.1				
	2年産米		1.5				
	1年古米(元年産)	1.2	0.7				
	販売段階	2.4	3.2				
	2年産米		1.6				
			2.3	1.6			

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
新潟	出荷+販売段階	84.7	53.7				
	2年産米		0.3				
	1年古米(元年産)	83.9	52.8				
	出荷段階	62.3	36.4				
	2年産米		0.1				
	1年古米(元年産)	62.1	36.2				
	販売段階	22.4	17.2				
	2年産米		0.2				
			21.8	16.7			
富山	出荷+販売段階	25.8	19.9				
	2年産米		1.0				
	1年古米(元年産)	25.5	18.6				
	出荷段階	16.8	12.9				
	2年産米		0.8				
	1年古米(元年産)	16.8	12.1				
	販売段階	9.0	7.0				
	2年産米		0.3				
			8.7	6.5			
石川	出荷+販売段階	16.6	11.6				
	2年産米		1.2				
	1年古米(元年産)	16.1	10.2				
	出荷段階	10.0	6.8				
	2年産米		0.5				
	1年古米(元年産)	9.7	6.2				
	販売段階	6.6	4.8				
	2年産米		0.7				
			6.4	4.0			
福井	出荷+販売段階	22.2	18.1				
	2年産米		2.1				
	1年古米(元年産)	21.9	15.7				
	出荷段階	15.2	11.1				
	2年産米		1.0				
	1年古米(元年産)	15.1	10.1				
	販売段階	7.0	7.0				
	2年産米		1.1				
			6.8	5.6			
岐阜	出荷+販売段階	14.3	12.4				
	2年産米		0.9				
	1年古米(元年産)	13.3	10.7				
	出荷段階	8.5	5.3				
	2年産米		0.6				
	1年古米(元年産)	8.5	4.7				
	販売段階	5.8	7.1				
	2年産米		0.3				
			4.9	6.0			
愛知	出荷+販売段階	12.3	10.8				
	2年産米		1.8				
	1年古米(元年産)	12.0	8.9				
	出荷段階	9.7	8.3				
	2年産米		1.3				
	1年古米(元年産)	9.7	7.0				
	販売段階	2.6	2.5				
	2年産米		0.5				
			2.4	1.9			

※本表の注意点は「在庫5」の脚注を参照。

(三重から奈良)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
三重	出荷+販売段階	7.6	14.4					
	2年産米		9.7					
	1年古米(元年産)	6.7	3.8					
	出荷段階	5.6	11.0					
	2年産米		7.7					
	1年古米(元年産)	4.9	2.7					
	販売段階	2.0	3.4					
	2年産米		2.0					
	1年古米(元年産)	1.8	1.1					
	滋賀	出荷+販売段階	19.1	16.3				
		2年産米		2.4				
		1年古米(元年産)	17.4	12.5				
出荷段階		14.8	12.5					
2年産米			2.1					
1年古米(元年産)		13.4	9.2					
販売段階		4.3	3.9					
2年産米			0.3					
1年古米(元年産)		4.0	3.4					
京都		出荷+販売段階	4.5	3.4				
		2年産米						
		1年古米(元年産)	4.5	3.3				
	出荷段階	3.6	2.5					
	2年産米							
	1年古米(元年産)	3.6	2.5					
	販売段階	0.9	0.9					
	2年産米							
	1年古米(元年産)	0.9	0.9					
	大阪	出荷+販売段階	0.5	0.4				
		2年産米						
		1年古米(元年産)	0.5	0.4				
出荷段階		0.4	0.3					
2年産米								
1年古米(元年産)		0.4	0.3					
販売段階		0.1	0.1					
2年産米								
1年古米(元年産)		0.1	0.1					
兵庫		出荷+販売段階	18.9	15.3				
		2年産米		0.0				
		1年古米(元年産)	18.7	15.1				
	出荷段階	16.1	13.2					
	2年産米							
	1年古米(元年産)	16.1	13.2					
	販売段階	2.9	2.1					
	2年産米		0.0					
	1年古米(元年産)	2.7	1.9					
	奈良	出荷+販売段階	3.4	2.5				
		2年産米						
		1年古米(元年産)	3.2	2.4				
出荷段階		2.2	1.6					
2年産米								
1年古米(元年産)		2.2	1.6					
販売段階		1.2	0.8					
2年産米								
1年古米(元年産)		1.1	0.8					

(和歌山から山口)

(単位:千玄トン)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
和歌山	出荷+販売段階	0.6	0.6					
	2年産米		0.0					
	1年古米(元年産)	0.6	0.5					
	出荷段階		0.0					
	2年産米		0.0					
	1年古米(元年産)							
	販売段階	0.6	0.6					
	2年産米							
	1年古米(元年産)	0.6	0.5					
	鳥取	出荷+販売段階	9.3	6.1				
		2年産米						
		1年古米(元年産)	9.2	6.0				
出荷段階		6.6	4.4					
2年産米								
1年古米(元年産)		6.6	4.4					
販売段階		2.8	1.7					
2年産米								
1年古米(元年産)		2.6	1.6					
島根		出荷+販売段階	6.7	4.5				
		2年産米		0.3				
		1年古米(元年産)	6.5	4.0				
	出荷段階	4.9	3.0					
	2年産米		0.3					
	1年古米(元年産)	4.9	2.7					
	販売段階	1.8	1.5					
	2年産米		0.0					
	1年古米(元年産)	1.6	1.4					
	岡山	出荷+販売段階	23.1	18.3				
		2年産米		0.0				
		1年古米(元年産)	22.8	18.1				
出荷段階		17.6	13.5					
2年産米								
1年古米(元年産)		17.5	13.4					
販売段階		5.4	4.8					
2年産米			0.0					
1年古米(元年産)		5.3	4.7					
広島		出荷+販売段階	11.2	8.4				
		2年産米		0.1				
		1年古米(元年産)	10.6	7.8				
	出荷段階	7.3	4.9					
	2年産米		0.1					
	1年古米(元年産)	7.3	4.8					
	販売段階	3.9	3.5					
	2年産米		0.0					
	1年古米(元年産)	3.3	3.0					
	山口	出荷+販売段階	11.0	8.6				
		2年産米		0.3				
		1年古米(元年産)	10.9	8.2				
出荷段階		9.1	7.1					
2年産米			0.2					
1年古米(元年産)		9.1	6.9					
販売段階		1.9	1.5					
2年産米			0.1					
1年古米(元年産)		1.8	1.4					

※本表の注意点は「在庫5」の脚注を参照。

(徳島から佐賀)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
徳島	出荷+販売段階	3.0	10.8					
	2年産米		8.5					
	1年古米(元年産)	2.8	2.2					
	出荷段階	0.9	8.1					
	2年産米		7.3					
	1年古米(元年産)	0.9	0.7					
	販売段階	2.1	2.7					
	2年産米		1.1					
	1年古米(元年産)	1.8	1.4					
	香川	出荷+販売段階	6.6	5.7				
		2年産米		0.6				
		1年古米(元年産)	6.4	4.9				
出荷段階		5.7	4.5					
2年産米			0.5					
1年古米(元年産)		5.7	4.0					
販売段階		0.9	1.2					
2年産米			0.1					
1年古米(元年産)		0.7	0.9					
愛媛		出荷+販売段階	2.7	3.7				
		2年産米		1.6				
		1年古米(元年産)	2.5	1.8				
	出荷段階	2.1	3.3					
	2年産米		1.6					
	1年古米(元年産)	2.0	1.4					
	販売段階	0.5	0.4					
	2年産米		0.0					
	1年古米(元年産)	0.5	0.3					
	高知	出荷+販売段階	2.0	7.4				
		2年産米	0.1	5.8				
		1年古米(元年産)	1.6	1.2				
出荷段階		0.2	2.5					
2年産米		0.0	2.4					
1年古米(元年産)		0.1	0.1					
販売段階		1.9	4.9					
2年産米		0.0	3.4					
1年古米(元年産)		1.5	1.2					
福岡		出荷+販売段階	13.8	9.6				
		2年産米		0.6				
		1年古米(元年産)	13.4	8.7				
	出荷段階	10.7	7.0					
	2年産米		0.4					
	1年古米(元年産)	10.6	6.6					
	販売段階	3.1	2.6					
	2年産米		0.2					
	1年古米(元年産)	2.8	2.2					
	佐賀	出荷+販売段階	10.6	9.7				
		2年産米		1.1				
		1年古米(元年産)	10.5	8.5				
出荷段階		7.8	7.6					
2年産米			1.0					
1年古米(元年産)		7.8	6.5					
販売段階		2.8	2.1					
2年産米			0.1					
1年古米(元年産)		2.7	2.0					

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
長崎	出荷+販売段階	2.4	2.3					
	2年産米		0.5					
	1年古米(元年産)	2.3	1.7					
	出荷段階	2.1	2.0					
	2年産米		0.4					
	1年古米(元年産)	2.1	1.6					
	販売段階	0.3	0.3					
	2年産米		0.1					
	1年古米(元年産)	0.2	0.2					
	熊本	出荷+販売段階	14.1	11.4				
		2年産米		1.5				
		1年古米(元年産)	12.9	8.8				
出荷段階		9.0	6.6					
2年産米			0.6					
1年古米(元年産)		8.9	5.9					
販売段階		5.1	4.8					
2年産米			0.9					
1年古米(元年産)		4.0	2.9					
大分		出荷+販売段階	4.1	3.3				
		2年産米		0.4				
		1年古米(元年産)	4.0	2.8				
	出荷段階	2.6	2.0					
	2年産米		0.3					
	1年古米(元年産)	2.6	1.8					
	販売段階	1.5	1.3					
	2年産米		0.1					
	1年古米(元年産)	1.4	1.1					
	宮崎	出荷+販売段階	3.6	6.7				
		2年産米	1.6	5.3				
		1年古米(元年産)	1.9	1.3				
出荷段階		1.9	3.1					
2年産米		0.8	2.5					
1年古米(元年産)		1.1	0.6					
販売段階		1.7	3.6					
2年産米		0.9	2.8					
1年古米(元年産)		0.8	0.7					
鹿児島		出荷+販売段階	6.9	8.5				
		2年産米	0.4	3.1				
		1年古米(元年産)	5.8	4.9				
	出荷段階	5.0	4.9					
	2年産米	0.0	0.6					
	1年古米(元年産)	4.4	3.7					
	販売段階	1.9	3.6					
	2年産米	0.4	2.4					
	1年古米(元年産)	1.5	1.1					
	沖縄	出荷+販売段階	0.6	0.4				
		2年産米	0.6	0.4				
		1年古米(元年産)	0.0	0.0				
出荷段階		0.3	0.3					
2年産米		0.3	0.3					
1年古米(元年産)		0.0	0.0					
販売段階		0.2	0.1					
2年産米		0.2	0.1					
1年古米(元年産)		0.0	0.0					

※本表の注意点は「在庫5」の脚注を参照。

在庫8

# Ⅲ 米の契約・販売情報

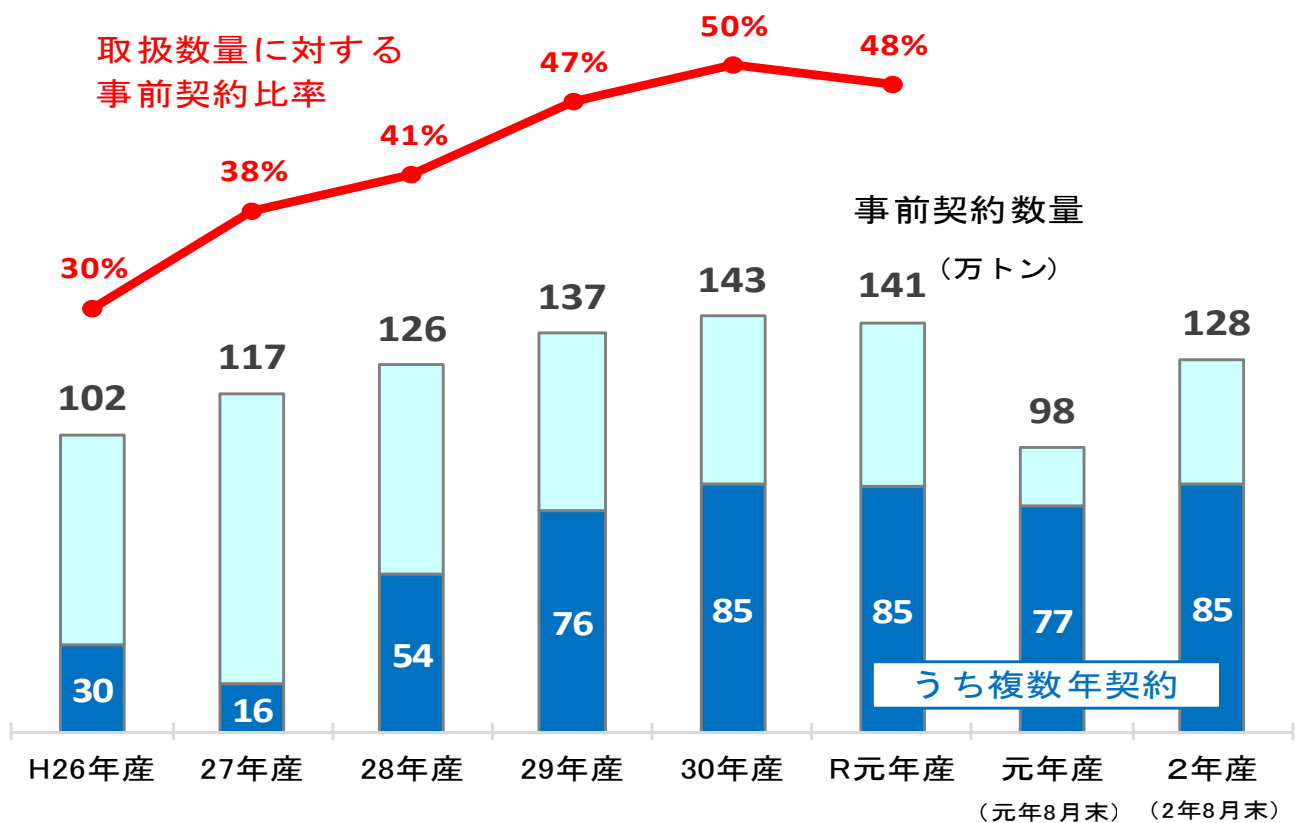
## 1 事前契約の取組状況

契約・販売状況の累年データについては、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」で御覧いただけます。  
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

### (1) 近年の事前契約数量の推移（平成26年産～令和2年産）

- 事前契約数量は、農水省が一定規模以上の集出荷業者を対象に、「収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量」について調査。
- 近年、主食用米の事前契約（複数年契約）の取組は、年々増加。

### 【近年の事前契約数量の推移】



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

5：30年産以前は確定値、元年産・2年産は2年8月末時点の速報値。

6：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。



## (2) 令和2年産米の産地別事前契約の取組状況（令和2年8月末現在）（速報）

- 令和2年産の8月末現在の事前契約数量は前年+29.9万トンの127.6万トンとなっている。

単位：千玄米トン

	元年度				2年度			
	事前契約数量 ①	うち、 複数年契約	元年8月末 現在 ②	うち、 複数年契約	2年8月末 現在 ③	うち、 複数年契約	前年 同月差 ③-②	元年契約数量 -2年契約数量 ③-①
北海道	208.5	183.0	200.2	175.0	191.6	183.4	▲ 8.6	▲ 16.9
青森	56.7	19.5	11.3	11.3	65.3	28.3	+ 54.0	+ 8.6
岩手	88.8	88.8	82.1	82.1	88.0	85.3	+ 5.9	▲ 0.7
宮城	126.9	113.7	126.9	113.7	129.1	117.3	+ 2.2	+ 2.2
秋田	190.4	101.3	95.3	86.4	191.8	142.0	+ 96.5	+ 1.4
山形	81.6	31.4	21.0	21.0	13.9	13.9	▲ 7.1	▲ 67.7
福島	46.7	45.6	43.2	43.2	49.6	43.1	+ 6.4	+ 2.9
茨城	16.3	1.0	15.0	-	26.9	-	+ 11.9	+ 10.6
栃木	74.0	69.6	69.6	69.6	65.1	65.1	▲ 4.5	▲ 8.9
群馬	0.2	-	-	-	-	-	-	▲ 0.2
埼玉	7.8	0.9	1.8	0.6	5.1	0.9	+ 3.3	▲ 2.7
千葉	12.0	12.0	8.1	8.1	0.1	0.1	▲ 8.0	▲ 11.9
東京	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨	-	-	-	-	-	-	-	-
長野	35.1	32.5	31.0	31.0	33.2	31.1	+ 2.2	▲ 1.9
静岡	1.7	-	1.7	-	1.6	-	▲ 0.0	▲ 0.0
新潟	167.7	105.5	122.8	102.5	147.9	102.4	+ 25.1	▲ 19.8
富山	39.7	8.2	0.7	0.7	47.2	7.5	+ 46.5	+ 7.5
石川	20.5	1.5	1.5	1.5	20.4	1.5	+ 18.9	▲ 0.0
福井	9.1	9.1	8.7	8.7	1.9	1.9	▲ 6.9	▲ 7.3
岐阜	15.0	2.6	15.0	2.6	8.5	2.4	▲ 6.5	▲ 6.5
愛知	13.0	1.7	1.5	1.5	13.1	1.7	+ 11.6	+ 0.1
三重	20.0	-	20.0	-	22.4	-	+ 2.4	+ 2.4
滋賀	35.4	16.6	7.7	7.7	35.4	20.2	+ 27.7	+ 0.0
京都	6.8	-	-	-	-	-	-	▲ 6.8
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	13.0	-	13.0	-	13.0	-	+ 0.0	+ 0.0
奈良	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取	4.1	-	4.1	-	-	-	▲ 4.1	▲ 4.1
島根	34.7	3.2	35.0	2.9	2.7	-	▲ 32.2	▲ 32.0
岡山	4.7	-	-	-	-	-	-	▲ 4.7
広島	24.7	-	24.7	-	26.3	-	+ 1.5	+ 1.5
山口	22.4	0.6	0.6	0.6	18.6	0.6	+ 17.9	▲ 3.8
徳島	2.2	-	2.2	-	2.2	-	+ 0.0	+ 0.0
香川	15.8	5.7	3.3	3.3	6.0	6.0	+ 2.7	▲ 9.8
愛媛	3.3	-	-	-	3.5	-	+ 3.5	+ 0.2
高知	2.1	-	3.8	-	1.8	-	▲ 1.9	▲ 0.2
福岡	26.1	0.8	0.6	0.6	33.3	0.2	+ 32.7	+ 7.3
佐賀	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	-	-	-	-	7.2	-	+ 7.2	+ 7.2
熊本	-	-	-	-	-	-	-	-
大分	3.3	-	4.0	-	3.9	-	▲ 0.1	+ 0.7
宮崎	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄	-	-	-	-	-	-	-	-
全 国	1,430	855	976	775	1,276	855	+ 299	▲ 155

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

## 2 令和元年産米の産地別契約・販売状況

(累計、うるち米、令和2年8月末現在) (速報)

集荷・契約・販売数量(北海道から静岡まで)

単位:(千玄米ト)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考:前年同月比 (30年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
北海道	104	345.4	343.1	99%	289.4	84%	111%	112%	109%
ななつぼし		164.9	164.1	99%	139.8	85%	117%	118%	114%
ゆめぴりか		80.2	80.0	100%	72.9	91%	108%	108%	114%
きらら397		38.1	37.6	99%	25.0	66%	114%	114%	105%
青森	106	157.4	145.4	92%	120.1	76%	105%	104%	98%
まっしぐら		112.0	102.2	91%	83.3	74%	109%	107%	97%
つがるロマン		35.7	33.6	94%	27.7	77%	99%	100%	102%
岩手	103	137.4	136.9	100%	102.7	75%	106%	107%	95%
ひとめぼれ		105.2	104.8	100%	78.5	75%	106%	107%	93%
あきたこまち		15.9	15.8	100%	11.6	73%	106%	106%	88%
銀河のしずく		6.7	6.7	100%	5.4	80%	...	...	...
宮城	102	173.5	170.2	98%	123.8	71%	102%	95%	97%
ひとめぼれ		135.5	132.5	98%	94.6	70%	100%	93%	92%
つや姫		12.0	11.9	99%	10.3	86%	101%	93%	109%
ササニシキ		8.4	8.3	99%	6.2	73%	104%	97%	105%
秋田	104	276.8	271.3	98%	237.1	86%	110%	108%	106%
あきたこまち		225.4	219.7	97%	200.6	89%	111%	109%	107%
めんこいな		13.5	13.6	101%	10.2	76%	90%	94%	99%
ひとめぼれ		21.4	21.4	100%	14.9	70%	112%	113%	100%
山形	105	219.9	219.9	100%	170.0	77%	118%	117%	106%
はえぬき		130.1	130.4	100%	94.9	73%	115%	116%	101%
つや姫		43.2	42.9	99%	39.0	90%	123%	118%	119%
ひとめぼれ		16.3	15.8	97%	14.3	88%	111%	108%	106%
福島	102	183.7	173.6	95%	118.4	64%	116%	113%	99%
コシヒカリ中通り		50.0	49.5	99%	32.5	65%	109%	111%	86%
コシヒカリ会津		48.1	47.6	99%	29.3	61%	116%	116%	122%
コシヒカリ浜通り		8.2	7.9	96%	4.0	49%	108%	111%	76%
ひとめぼれ		33.1	31.3	94%	22.6	68%	111%	109%	86%
天のつぶ		27.9	24.1	87%	19.1	68%	135%	122%	123%
茨城	96	71.3	74.1	104%	62.4	88%	99%	105%	96%
コシヒカリ		53.0	55.3	104%	44.8	84%	99%	105%	93%
あきたこまち		9.8	9.8	100%	9.8	100%	99%	99%	99%
あさひの夢		1.1	1.6	142%	0.9	79%	...	...	...
栃木	97	125.7	120.5	96%	93.1	74%	92%	90%	91%
コシヒカリ		94.0	90.7	96%	68.7	73%	88%	87%	87%
あさひの夢		8.9	8.7	98%	6.7	76%	93%	92%	87%
とちぎの星		12.9	12.2	94%	9.9	77%	...	...	...
群馬	98	22.1	22.0	100%	17.2	78%	88%	90%	88%
あさひの夢		16.3	16.2	100%	12.3	76%	93%	95%	94%
ゆめまつり		3.8	3.8	99%	3.4	89%	78%	81%	79%
埼玉	98	17.6	16.1	92%	13.8	78%	96%	91%	94%
彩のかがやき		7.7	6.8	88%	6.0	77%	87%	79%	80%
コシヒカリ		4.0	3.7	93%	2.8	71%	85%	81%	82%
彩のきずな		4.4	4.2	95%	3.5	80%	125%	122%	135%
千葉	95	77.1	78.7	102%	76.7	99%	97%	101%	104%
コシヒカリ		36.3	36.4	100%	36.0	99%	96%	99%	105%
ふさこがね		18.9	19.0	101%	18.8	100%	103%	105%	110%
ふさおとめ		17.1	17.1	100%	17.0	100%	95%	95%	99%
東京	97	0.0	0.0	100%	0.0	100%	50%	50%	50%
神奈川	95	1.8	1.3	74%	1.3	74%	78%	66%	66%
山梨	99	5.9	4.8	80%	4.8	80%	101%	100%	100%
コシヒカリ		5.1	4.1	80%	4.1	80%	103%	99%	99%
長野	100	69.9	69.9	100%	56.2	80%	104%	106%	102%
コシヒカリ		55.2	55.2	100%	44.1	80%	104%	105%	100%
あきたこまち		7.7	7.7	100%	6.4	82%	102%	109%	117%
静岡	99	6.2	6.2	100%	6.2	100%	103%	103%	103%
コシヒカリ		4.1	4.1	100%	4.1	100%	102%	102%	102%
きぬむすめ		0.8	0.8	100%	0.8	100%	111%	111%	111%
あいちのかおり		0.8	0.8	100%	0.8	100%	96%	96%	96%

注:本表の注意点は次々頁の脚注を参照

## 集荷・契約・販売数量（新潟から広島まで）

単位：（千玄米トン）

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考：前年同月比 (30年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
新潟	100	284.7	281.1	99%	250.7	88%	110%	107%	105%
コシヒカリ一般		134.6	132.7	99%	116.4	86%	108%	106%	98%
コシヒカリ魚沼		33.9	33.2	98%	31.9	94%	109%	107%	107%
コシヒカリ佐渡		14.5	14.5	100%	13.4	92%	122%	123%	120%
コシヒカリ岩船		12.8	12.8	99%	11.4	88%	123%	120%	111%
こしいぶき		48.3	47.8	99%	42.1	87%	105%	102%	108%
富山	102	90.9	90.8	100%	79.9	88%	99%	99%	95%
コシヒカリ		65.6	65.6	100%	60.5	92%	93%	93%	92%
てんたかく		9.4	9.4	100%	7.7	81%	113%	114%	100%
石川	102	25.7	25.7	100%	20.7	80%	94%	95%	101%
コシヒカリ		14.2	14.2	100%	11.4	81%	84%	85%	94%
ゆめみつぼ		4.3	4.3	100%	3.5	81%	80%	80%	85%
福井	100	70.5	68.0	96%	62.2	88%	101%	97%	100%
コシヒカリ		28.5	27.3	96%	25.7	90%	95%	91%	95%
ハナエチゼン		21.5	21.4	99%	20.8	97%	105%	105%	109%
あきさかり		7.7	7.1	91%	6.4	83%	...	...	...
岐阜	99	22.7	21.8	96%	18.8	83%	113%	112%	108%
ハツシモ		10.3	9.7	95%	8.2	80%	136%	135%	135%
コシヒカリ		6.6	6.3	95%	5.3	80%	101%	99%	87%
あきたこまち		0.8	0.8	100%	0.7	79%	...	...	...
愛知	98	31.1	30.0	97%	24.7	79%	98%	94%	91%
あいちのかおり		16.8	16.5	98%	11.9	71%	100%	95%	88%
コシヒカリ		9.6	9.2	96%	8.9	92%	99%	94%	99%
大地の風		1.3	1.3	100%	0.9	75%	99%	98%	85%
三重	95	25.8	25.8	100%	23.7	92%	90%	90%	91%
コシヒカリ一般		13.6	13.6	100%	12.7	93%	86%	85%	87%
コシヒカリ伊賀		5.7	5.7	100%	5.3	93%	96%	98%	97%
キヌヒカリ		1.8	1.8	100%	1.4	77%	86%	86%	85%
滋賀	98	52.7	53.8	102%	46.4	88%	93%	100%	94%
コシヒカリ		18.0	18.5	103%	16.3	90%	87%	95%	91%
キヌヒカリ		9.7	10.0	103%	8.6	88%	90%	101%	88%
みずかがみ		10.0	10.2	101%	9.4	93%	...	...	...
京都	99	8.5	9.9	117%	7.1	83%	90%	87%	86%
コシヒカリ		4.9	5.8	119%	4.5	92%	90%	84%	89%
キヌヒカリ		1.9	2.3	119%	1.3	69%	87%	87%	65%
ヒノヒカリ		1.0	1.0	100%	0.7	77%	104%	100%	112%
大阪	101	-	-	-	-	-	...	...	...
兵庫	99	41.4	41.4	100%	29.7	72%	103%	110%	83%
コシヒカリ		10.6	10.6	100%	10.3	98%	95%	96%	94%
ヒノヒカリ		4.1	4.1	100%	3.3	81%	112%	122%	108%
キヌヒカリ		3.2	3.2	100%	2.8	86%	96%	100%	94%
奈良	100	8.4	6.8	81%	6.8	81%	107%	97%	97%
ヒノヒカリ		6.7	5.4	82%	5.4	82%	110%	102%	102%
和歌山	99	0.9	0.9	100%	0.9	100%	94%	94%	94%
鳥取	100	22.3	21.7	97%	19.2	86%	100%	100%	95%
コシヒカリ		7.8	7.8	99%	6.7	86%	93%	96%	92%
きぬむすめ		7.2	6.9	96%	6.3	87%	95%	94%	90%
ひとめぼれ		5.2	5.3	102%	4.6	89%	88%	93%	86%
島根	99	34.7	34.7	100%	32.1	92%	91%	91%	95%
きぬむすめ		13.9	13.9	100%	13.1	94%	84%	84%	88%
コシヒカリ		13.9	13.9	100%	12.4	90%	96%	96%	100%
つや姫		4.3	4.3	100%	4.2	97%	95%	95%	101%
岡山	98	45.8	45.8	100%	35.3	77%	202%	202%	212%
アケボノ		8.6	8.6	100%	5.3	62%	129%	129%	126%
あきたこまち		6.2	6.2	100%	6.0	96%	341%	342%	360%
ヒノヒカリ		3.8	3.8	100%	2.9	77%	143%	143%	139%
広島	95	29.6	32.8	111%	24.8	84%	91%	81%	90%
コシヒカリ		12.2	13.7	112%	11.4	93%	88%	82%	90%
あきさかり		6.3	7.2	114%	4.9	78%	108%	109%	99%
あきろまん		2.6	3.2	122%	2.0	79%	83%	75%	84%

注：本表の注意点は次頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量（山口から沖縄まで、全国計）

単位：（千玄米トン）

	作況指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約比率 ②/①	販売数量 ③	販売比率 ③/①	参考：前年同月比 (30年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
山口	94	32.7	33.0	101%	26.4	81%	81%	83%	83%
コシヒカリ		9.7	10.2	106%	8.3	86%	81%	87%	81%
ひとめぼれ		7.8	8.2	105%	7.0	90%	79%	84%	86%
ヒノヒカリ		6.8	6.9	101%	5.3	78%	79%	80%	82%
徳島	98	5.6	5.6	100%	5.3	95%	115%	115%	121%
コシヒカリ		2.6	2.6	100%	2.6	100%	112%	112%	117%
キヌヒカリ		0.8	0.8	100%	0.8	100%	60%	60%	69%
香川	95	19.7	19.7	100%	15.7	80%	91%	101%	94%
コシヒカリ		6.7	6.7	100%	6.3	95%	87%	93%	97%
ヒノヒカリ		5.9	5.9	100%	4.1	69%	89%	91%	89%
おいでまい		4.1	4.1	100%	3.4	83%	91%	106%	98%
愛媛	94	8.3	7.9	96%	7.3	89%	83%	86%	82%
コシヒカリ		3.3	3.3	99%	3.2	97%	82%	84%	82%
ヒノヒカリ		1.4	1.2	88%	1.1	80%	79%	88%	80%
あきたこまち		0.9	0.9	96%	0.8	89%	64%	65%	61%
高知	91	9.6	9.6	100%	9.6	100%	114%	116%	116%
コシヒカリ		6.3	6.3	100%	6.3	100%	110%	110%	110%
ヒノヒカリ		1.3	1.3	98%	1.3	98%	142%	144%	144%
福岡	91	42.9	42.1	98%	38.2	89%	81%	81%	83%
夢つくし		13.9	13.8	99%	13.7	98%	82%	81%	84%
ヒノヒカリ		11.3	11.2	99%	9.8	87%	80%	81%	82%
元気つくし		14.5	14.0	96%	12.5	86%	78%	79%	78%
佐賀	58	28.2	28.2	100%	21.9	78%	67%	67%	64%
夢しずく		10.6	10.6	100%	9.1	86%	73%	73%	81%
さがびより		7.6	7.6	100%	5.1	68%	58%	58%	45%
ヒノヒカリ		6.2	6.2	100%	4.4	70%	67%	67%	57%
長崎	94	9.1	9.4	102%	7.7	84%	79%	82%	79%
にこまる		3.8	3.9	103%	3.0	79%	76%	80%	75%
ヒノヒカリ		2.4	2.4	100%	2.1	88%	70%	71%	69%
コシヒカリ		1.2	1.2	107%	1.1	95%	84%	89%	80%
熊本	94	32.3	27.7	86%	27.7	86%	85%	81%	93%
ヒノヒカリ		12.9	11.1	86%	11.1	86%	78%	81%	87%
森のくまさん		6.3	5.4	86%	5.4	86%	83%	78%	95%
コシヒカリ		5.8	5.7	97%	5.7	97%	103%	100%	119%
大分	85	9.1	9.1	100%	7.6	84%	76%	76%	87%
ヒノヒカリ		5.8	5.8	100%	4.7	82%	72%	72%	87%
ひとめぼれ		0.8	0.8	101%	0.7	87%	89%	89%	91%
つや姫		1.7	1.7	100%	1.6	94%	...	...	...
宮崎	94	12.0	12.0	100%	11.7	98%	81%	81%	82%
コシヒカリ		6.6	6.6	100%	6.6	100%	77%	77%	77%
ヒノヒカリ		4.7	4.7	100%	4.5	96%	86%	86%	91%
鹿児島	94	12.6	12.6	100%	11.8	94%	103%	103%	106%
ヒノヒカリ		4.9	4.9	100%	4.3	87%	100%	100%	106%
あきほなみ		2.1	2.1	100%	2.0	93%	126%	126%	133%
コシヒカリ		3.5	3.5	100%	3.5	100%	100%	100%	100%
沖縄	97	1.4	1.4	100%	1.4	99%	91%	91%	91%
全国①	99	2,964	2,916	98%	2,421	82%	104%	103%	100%
参考	前年同月(30年産)②	2,855	2,828	99%	2,428	85%			
	前年同月差(①-②)	109	+ 88	▲ 1%	▲ 7	▲ 3%			

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稻うるちのみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。

9 「参考：前年同月比」で、令和元年産又は平成30年産の同時期に数量がなかった場合は、「…」としている。

# IV 米の価格情報

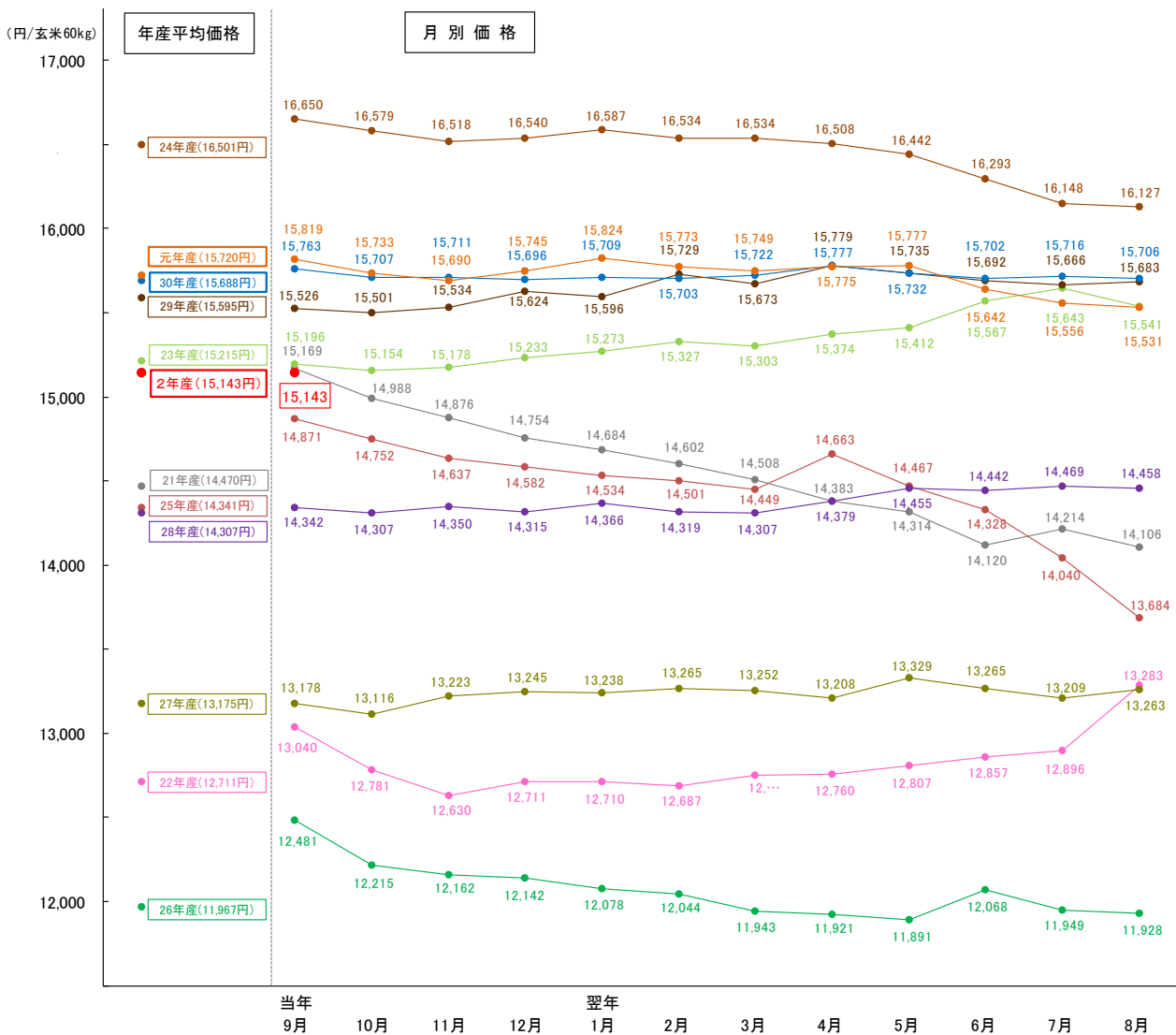
## 1 相対取引価格・数量

相対取引価格の累年データについては、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

### (1) 年産別の相対取引価格

・令和2産米の令和2年9月の相対取引価格は、全銘柄平均で15,143円/60kgとなり、前年同月より▲676円、出回りからの年産平均価格は前年産▲577円となったところ。  
 ※ 産地銘柄ごとの価格は、次頁以降を参照。

相対取引価格の推移 (税込)  
 (全銘柄平均価格)



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。  
 2 価格には、運賃、包装代、消費税が含まれている。なお、消費税は、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。  
 3 グラフの左側は年産別の平均価格（注4）、グラフの右側は月別の価格である。  
 4 平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月（元年産は翌年8月、2年産は9月）までの通年平均価格（30年産以前は確定値、元年産、2年産は速報値。確定値は月毎の速報値公表後の修正を反映させたものである）。





(2) 相対取引価格・数量（令和2年産米、産地品種銘柄別、令和2年9月分）（速報）

相対取引価格・数量（北海道から三重まで）

産地	品種銘柄	2年産米 令和2年9月		月別価格				取引数量			
		価格 ①	数量 ②	2年産米 (2年8月)	対前月比	対前年 同月比	元年産米 (元年9月)	2年産米 (2年8月)	対前月比	対前年 同月比	元年産米 (元年9月)
				③	①/③	①/④	④	⑤	②/⑤	②/⑥	⑥
北海道	ななつぼし	14,971	7,447	-	-	94%	15,948	-	-	134%	5,567
北海道	ゆめびりか	17,246	4,444	-	-	101%	17,115	-	-	133%	3,349
北海道	きらら397	14,674	240	-	-	99%	14,891	-	-	153%	157
青森	まっしぐら	13,691	308	-	-	94%	14,605	-	-	67%	461
青森	つがるロマン	14,195	520	-	-	94%	15,053	-	-	213%	244
岩手	ひとめぼれ	15,100	3,007	-	-	98%	15,459	-	-	116%	2,596
岩手	あきたこまち	-	-	-	-	-	15,185	-	-	-	150
岩手	銀河のしずく	15,733	570	-	-	97%	16,164	-	-	30%	1,905
宮城	ひとめぼれ	15,007	4,069	-	-	96%	15,653	-	-	225%	1,809
宮城	つや姫	15,171	1,468	-	-	97%	15,676	-	-	109%	1,344
宮城	ササニシキ	15,075	843	-	-	97%	15,576	-	-	115%	734
秋田	あきたこまち	15,132	5,083	-	-	96%	15,814	-	-	50%	10,073
秋田	めんこいな	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田	ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形	はえぬき	14,336	987	-	-	94%	15,304	-	-	66%	1,491
山形	つや姫	18,504	856	-	-	99%	18,674	-	-	40%	2,122
山形	ひとめぼれ	16,060	389	-	-	104%	15,419	-	-	225%	173
福島	コシヒカリ(中通り)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島	コシヒカリ(会津)	15,142	125	-	-	-	-	-	-	-	-
福島	コシヒカリ(浜通り)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島	ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島	天のつぶ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城	コシヒカリ	14,255	4,603	-	-	91%	15,703	-	-	95%	4,867
茨城	あきたこまち	13,682	2,743	-	-	88%	15,484	-	-	100%	2,734
茨城	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木	コシヒカリ	14,647	1,813	-	-	94%	15,563	-	-	60%	3,001
栃木	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木	とちぎの星	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬	ゆめまつり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉	彩のかがやき	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉	彩のきずな	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉	コシヒカリ	15,070	100	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉	コシヒカリ	14,512	3,158	-	-	92%	15,802	-	-	84%	3,755
千葉	ふさこがね	13,550	1,284	-	-	91%	14,829	-	-	58%	2,199
千葉	ふさおとめ	13,786	1,807	-	-	92%	14,948	-	-	56%	3,212
山梨	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野	コシヒカリ	15,678	3,809	-	-	98%	16,008	-	-	52%	7,326
長野	あきたこまち	14,975	886	-	-	98%	15,308	-	-	75%	1,176
静岡	コシヒカリ	15,430	232	-	-	96%	16,054	-	-	70%	330
静岡	きぬむすめ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡	あいちのかおり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟	コシヒカリ(一般)	16,871	10,018	-	-	97%	17,471	-	-	74%	13,585
新潟	コシヒカリ(魚沼)	20,595	2,494	-	-	98%	20,919	-	-	100%	2,485
新潟	コシヒカリ(佐渡)	17,264	1,440	-	-	97%	17,834	-	-	65%	2,224
新潟	コシヒカリ(岩船)	17,292	1,745	-	-	97%	17,811	-	-	76%	2,285
新潟	こしいぶき	14,513	4,067	-	-	96%	15,175	-	-	83%	4,904
富山	コシヒカリ	15,956	4,829	-	-	99%	16,147	-	-	39%	12,433
富山	てんたかく	14,592	1,004	-	-	98%	14,914	-	-	67%	1,490
石川	コシヒカリ	15,619	1,057	-	-	97%	16,053	-	-	56%	1,879
石川	ゆめみづほ	14,188	126	-	-	97%	14,574	-	-	62%	204
福井	コシヒカリ	15,615	2,768	-	-	96%	16,218	-	-	94%	2,946
福井	ハナエチゼン	14,242	606	-	-	94%	15,135	-	-	45%	1,354
福井	あきさかり	14,607	186	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜	ハツシモ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜	コシヒカリ	15,441	270	-	-	99%	15,552	-	-	38%	710
岐阜	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知	あいちのかおり	15,120	840	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知	コシヒカリ	15,660	162	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知	大地の風	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重	コシヒカリ(一般)	15,043	455	-	-	96%	15,606	-	-	44%	1,027
三重	コシヒカリ(伊賀)	15,239	389	-	-	96%	15,946	-	-	49%	786
三重	キヌヒカリ	14,051	100	-	-	95%	14,854	-	-	82%	122

注：本表の注意点は次頁の脚注を参照



相対取引価格・数量（滋賀から鹿児島まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	2年産米 令和2年9月		月別価格				取引数量			
		価格 ①	数量 ②	2年産米 (2年8月) ③	対前月比 ①/③	対前年 同月比 ①/④	元年産米 (元年9月) ④	2年産米 (2年8月) ⑤	対前月比 ②/⑤	対前年 同月比 ②/⑥	元年産米 (元年9月) ⑥
滋賀	コシヒカリ	15,306	3,644	-	-	96%	15,868	-	-	85%	4,309
滋賀	キヌヒカリ	14,341	1,009	-	-	97%	14,799	-	-	78%	1,286
滋賀	みずかがみ	15,265	1,266	-	-	97%	15,752	-	-	79%	1,595
京都	コシヒカリ	16,074	2,282	-	-	99%	16,204	-	-	80%	2,845
京都	キヌヒカリ	15,082	577	-	-	98%	15,340	-	-	68%	847
京都	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	コシヒカリ	15,753	1,406	-	-	97%	16,158	-	-	98%	1,434
兵庫	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取	きぬむすめ	14,308	252	-	-	98%	14,638	-	-	105%	240
鳥取	コシヒカリ	14,729	468	-	-	98%	15,054	-	-	105%	444
鳥取	ひとめぼれ	14,329	1,092	-	-	97%	14,726	-	-	105%	1,044
島根	コシヒカリ	14,863	2,980	-	-	97%	15,316	-	-	311%	959
島根	きぬむすめ	14,318	4,353	-	-	99%	14,467	-	-	4226%	103
島根	つや姫	15,124	1,801	-	-	99%	15,321	-	-	1085%	166
岡山	アケボノ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山	きぬむすめ	14,872	105	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山	あきたこまち	14,750	655	-	-	95%	15,511	-	-	144%	454
広島	コシヒカリ	15,063	1,262	-	-	94%	16,017	-	-	80%	1,581
広島	あきさかり	13,991	463	-	-	94%	14,922	-	-	116%	399
広島	あきろまん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口	コシヒカリ	15,173	925	-	-	98%	15,468	-	-	121%	767
山口	ひとめぼれ	14,462	421	-	-	100%	14,519	-	-	82%	513
山口	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	14,574	-	-	-	111
徳島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	15,754	-	-	-	156
徳島	あきさかり	14,580	240	-	-	-	-	-	-	-	-
香川	コシヒカリ	15,268	532	-	-	100%	15,263	-	-	106%	504
香川	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川	おいでまい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛	コシヒカリ	15,680	456	-	-	100%	15,736	-	-	120%	381
愛媛	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛	あきたこまち	15,054	107	-	-	100%	15,000	-	-	82%	131
高知	コシヒカリ	15,152	973	-	-	-	-	-	-	-	-
高知	ヒノヒカリ	14,142	390	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	夢つくし	16,584	1,494	-	-	101%	16,393	-	-	83%	1,797
福岡	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	元気つくし	16,482	199	-	-	100%	16,474	-	-	195%	102
佐賀	夢しずく	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀	さがびより	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	にこまる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	コシヒカリ	15,771	194	-	-	100%	15,784	-	-	128%	152
熊本	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本	森のくまさん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本	コシヒカリ	15,729	342	-	-	-	-	-	-	-	-
大分	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分	ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分	つや姫	15,035	420	-	-	96%	15,725	-	-	146%	288
宮崎	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	あきほなみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	16,902	-	-	-	168
全銘柄平均価格、合計数量		15,143	114,311	-	-	96%	15,819	-	-	86%	132,618

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。
- 3 価格に含む消費税は、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
- 4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。
- 5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在姿の取引分も対象としている。
- 6 全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定している。
- 7 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。
- 8 全銘柄平均価格、合計数量欄には公表していない産地品種銘柄分を含んでいるため、産地の合計と一致しない。



(単位：円/玄米60kg税込、玄米トン)

Table with columns for '産地品種銘柄', '月別価格', and '年産平均'. It lists prices for various rice varieties across different months and regions, including a summary row for '全銘柄平均'.

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。
3 価格に含む消費税は、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。
5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の取引状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在姿の取引分も対象としている。
6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウェイトで加重平均により算定している（元年度及び2年度は速報値）。
7 全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定している。
8 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。
9 全銘柄平均価格、合計数量欄には公表していない産地品種銘柄分を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

## 2 スポット価格の状況（日本コメ市場株式会社）

日本コメ市場株式会社の取引概要につきましては、以下のURLから御覧いただけます。  
 【 <https://www.nihonkomeshiijo.co.jp/> 】

〔 ○ スポット取引は、相当期間にわたり安定的に行う相対取引等と性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。 〕

### 【令和元年産】

（関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg）

産地銘柄		令和元年 8月	9月	10月	11月	12月	令和2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
青森まっしら	取引会				14,000									
青森つがるロマン	随時				14,243									
宮城ひとめぼれ	随時									14,050			12,955	
秋田あきたこまち	随時		15,010	14,832	14,632	14,900	14,987	14,834	14,350	14,259	13,895	12,143	13,405	
	取引会		15,019		14,879									
福島天のつぶ	取引会						14,183							
茨城コシヒカリ	随時			14,500										12,487
	取引会				14,550									
栃木コシヒカリ	随時					14,666	14,657			13,780				
栃木とちぎの星	取引会						13,950							
栃木あさひの夢	取引会				13,769									
千葉コシヒカリ	取引会	14,750					14,600							
千葉ふさおとめ	取引会	14,088	14,015											
千葉ふさこがね	取引会	14,024	13,950											
新潟コシヒカリ（一般）	随時		16,794				16,726						13,996	
	取引会		16,755		16,650		16,747							

### 【平成30年産】

（関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg）

産地銘柄		平成30年 8月	9月	10月	11月	12月	平成31年 1月	2月	3月	4月	令和元年 5月	6月	7月	8月
北海道なつぼし	取引会						15,750			15,500				
北海道ゆめびりか	取引会		16,113											
北海道きらら397	随時						14,975							
青森つがるロマン	随時			14,000										
宮城ひとめぼれ	随時								14,850			15,121		
	取引会										15,030			
秋田あきたこまち	随時		14,693	14,638	15,072	15,140		15,102	14,792	15,147		17,060	18,122	
	取引会		14,690		15,055		15,200		14,816		15,475		18,245	
福島コシヒカリ（中通）	随時					14,660					14,782			
	取引会										14,885			
福島ひとめぼれ	取引会						14,550						14,800	
茨城コシヒカリ	随時		14,571	14,581	14,613		14,770				14,613		15,016	
	取引会	14,220	14,470						14,495		14,600		14,981	14,895
茨城あきたこまち	取引会		13,862											
栃木コシヒカリ	随時			14,260	14,619	14,800							15,083	
栃木あさひの夢	取引会				13,671									
群馬あさひの夢	取引会								13,920					
千葉コシヒカリ	取引会	14,226			14,985		14,914							
千葉ふさおとめ	取引会	13,700												
千葉ふさこがね	取引会				14,014								14,200	
新潟コシヒカリ（一般）	随時		16,493		17,649	17,893	18,234		18,930		20,047		19,237	
	取引会		16,500		17,607		18,620		18,950		20,350		19,500	17,268

出典：日本コメ市場株式会社HP

注1：日本コメ市場（随時）の価格は、随時取引（取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引）の下期（16日～月末分）。ただし、下期が公表されていない場合は上期の価格で、関東到着基準、1等、包装代込の価格。

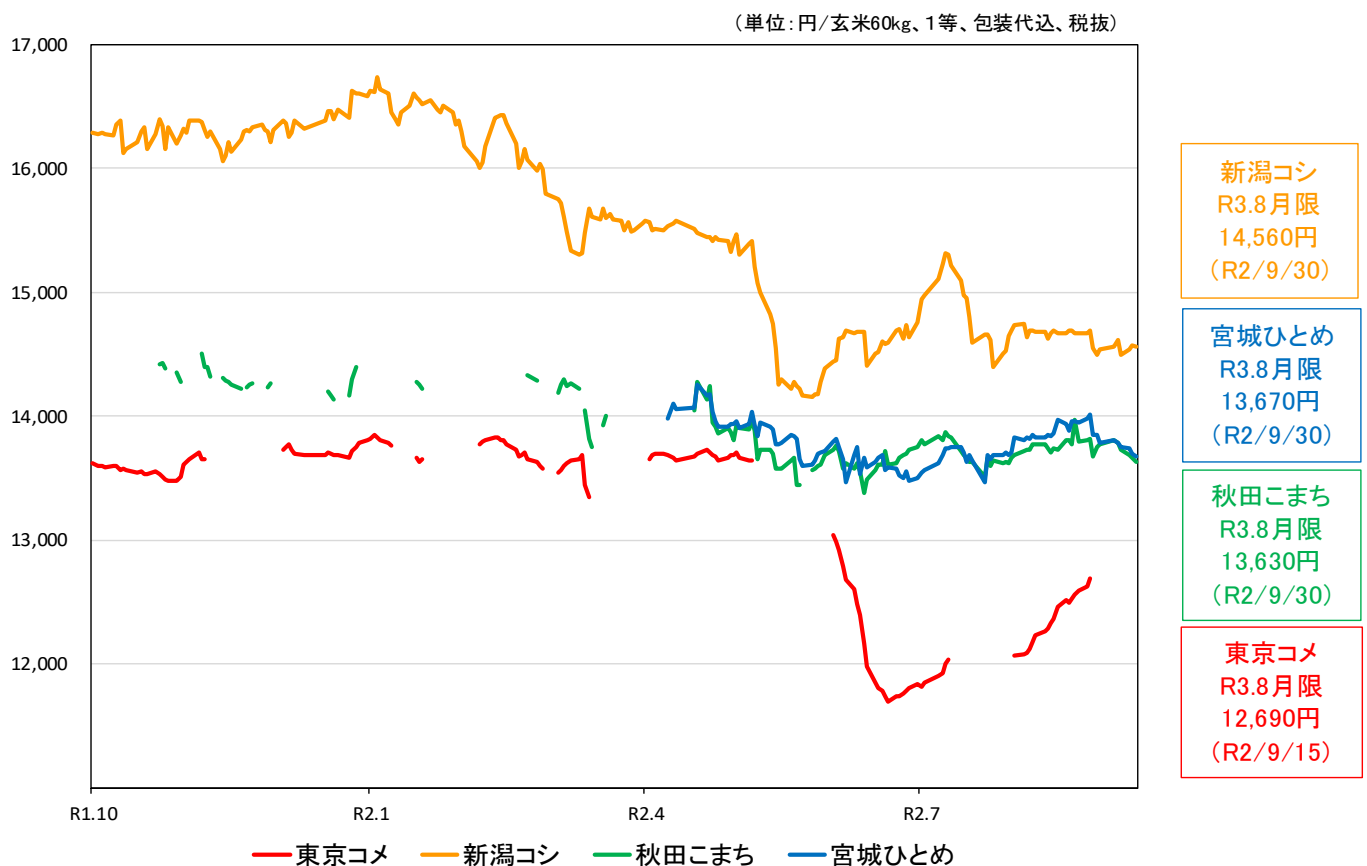
注2：日本コメ市場（取引会）の価格は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において日本コメ市場、クリスタルライスの共同で開催される取引会での成約価格（取引数量により加重平均）であり、関東到着基準、1等、包装代込みの価格。

### 3 米の先物取引価格の推移

米の先物取引の情報については、農林水産省ホームページの「食料産業局」の分野別分類「商品先物取引」から御覧いただけます。【 <https://www.maff.go.jp/j/shokusan/syoutori/index.html> 】

- 期先限月の終値（1日の最終約定値段）は、  
東京コメが令和3年8月限12,690円（令和2年9月15日）、  
新潟コシが令和3年8月限14,560円（令和2年9月30日）、  
秋田こまちが令和3年8月限13,630円（令和2年9月30日）、  
宮城ひとめが令和3年8月限13,670円（令和2年9月30日） となっている。

#### 価格の推移（期先限月の終値）



出典: 大阪堂島商品取引所

注1: 商品先物取引とは、将来の一定期日に一定の商品を売買することを約束して、その価格を現時点で決める取引。

注2: 令和元年10月21日から令和2年9月30日までの価格の推移である。

注3: 東京コメは栃木・群馬あさひの夢、埼玉彩のかがやき、千葉ふさおとめ・ふさこがね、新潟コシは新潟県産コシヒカリ、秋田こまちは秋田県産あきたこまち、宮城ひとめは宮城県産ひとめぼれを標準品とした取引価格。いずれも1等、消費税抜き、運賃及び包装代を含む。

注4: 期先限月とは、現物受渡や売買取引の期限が、その時点から最も先となる月。

注5: 令和2年4月21日から、「秋田こまち17(既存の秋田こまちは小口化)」と「宮城ひとめ18」が新商品として追加。「秋田こまち17」を秋田こまち、「宮城ひとめ18」を宮城ひとめとして記載。

注6: 秋田こまちは、令和2年4月20日までが「秋田こまち(既存の秋田こまち)」、令和2年4月21日以降が「秋田こまち17」の価格の推移。

## 4 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和2年9月分)

調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。

【 <https://www.komenet.jp/> 】

- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和2年9月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は対前回調査比▲6ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は▲5ポイント。
- 米価水準の現状判断は対前回調査比 ▲8ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は±0ポイント。

### 1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

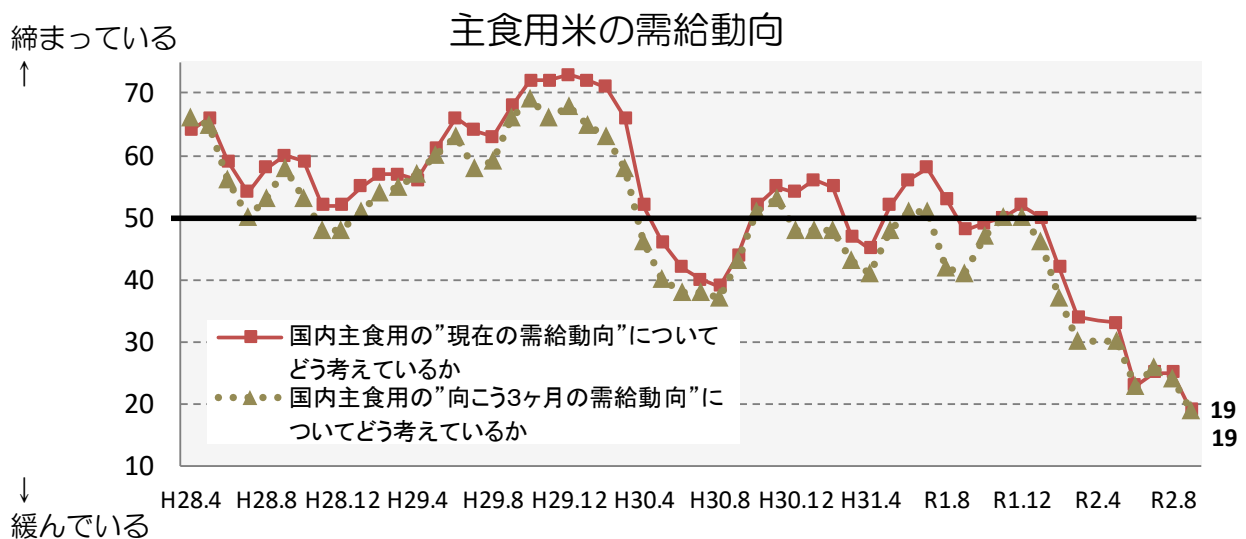
#### ① 主食用米の需給動向

(ア) 現状判断D I

前回からの増減 ▲6 (今月の数値 19)

(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)

前回からの増減 ▲5 (今月の数値 19)



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### ② 主食用米の米価水準

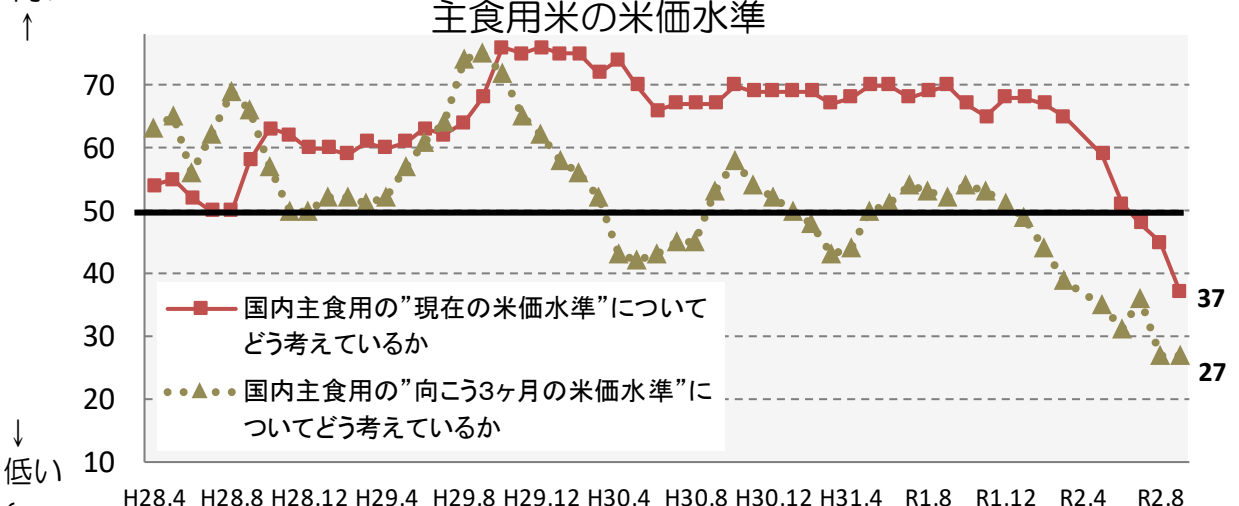
(ア) 現状判断D I

前回からの増減 ▲8 (今月の数値 37)

(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)

前回からの増減 ±0 (今月の数値 27)

高い ↑



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

## 2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

### ①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### (ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

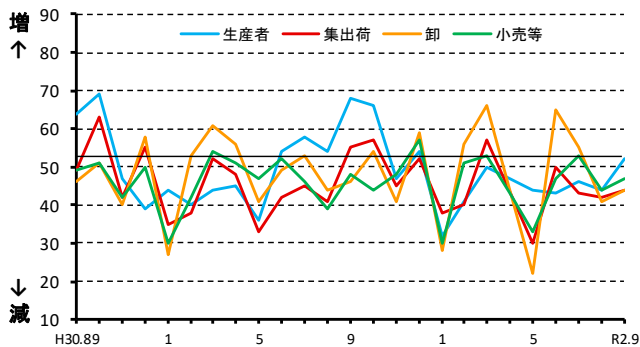
##### a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	+8	(今月の数値	52)
集出荷：前回からの増減	+2	(今月の数値	44)
卸：前回からの増減	+3	(今月の数値	44)
小売等：前回からの増減	+3	(今月の数値	47)

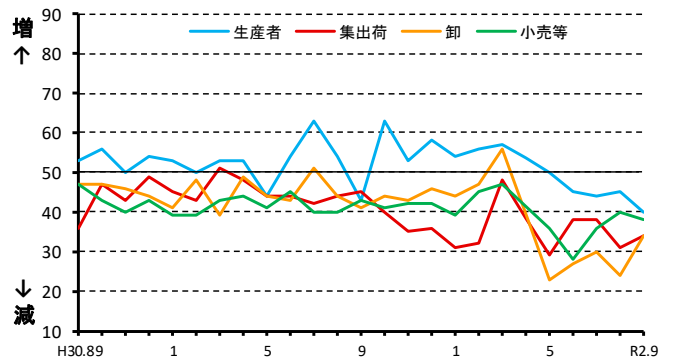
##### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲5	(今月の数値	40)
集出荷：前回からの増減	+3	(今月の数値	34)
卸：前回からの増減	+10	(今月の数値	34)
小売等：前回からの増減	▲2	(今月の数値	38)

#### ①-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、"先月と比較"するといかがですか。



#### ①-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



#### (イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

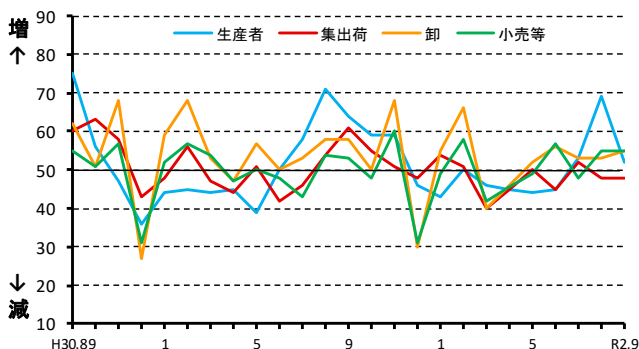
##### a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	▲17	(今月の数値	52)
集出荷：前回からの増減	±0	(今月の数値	48)
卸：前回からの増減	+2	(今月の数値	55)
小売等：前回からの増減	±0	(今月の数値	55)

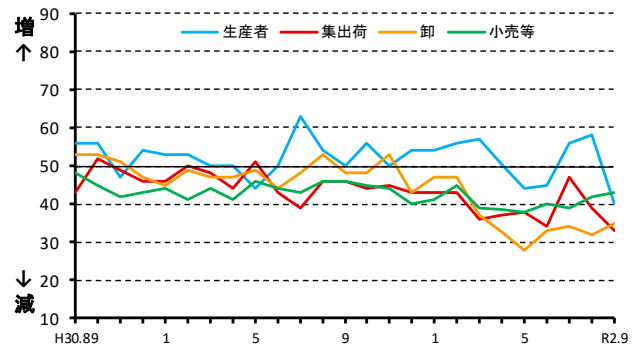
##### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲18	(今月の数値	40)
集出荷：前回からの増減	▲6	(今月の数値	33)
卸：前回からの増減	+3	(今月の数値	35)
小売等：前回からの増減	+1	(今月の数値	43)

#### ①-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



#### ①-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



## ②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

### (ア) 今月の価格に関する現状判断D I

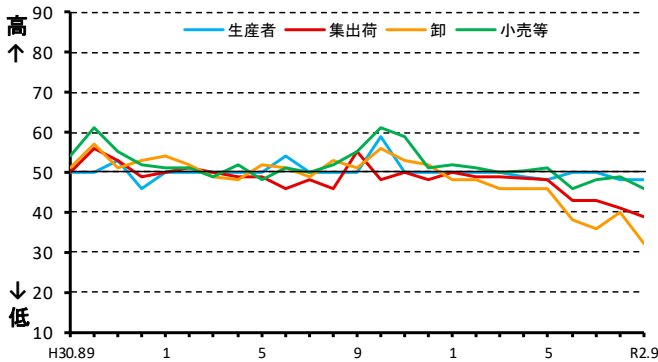
#### a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	±0	(今月の数値	48)
集出荷：前回からの増減	▲2	(今月の数値	39)
卸：前回からの増減	▲8	(今月の数値	32)
小売等：前回からの増減	▲3	(今月の数値	46)

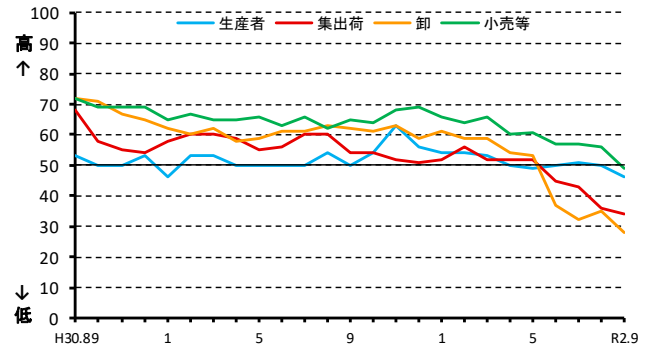
#### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲4	(今月の数値	46)
集出荷：前回からの増減	▲2	(今月の数値	34)
卸：前回からの増減	▲7	(今月の数値	28)
小売等：前回からの増減	▲7	(今月の数値	49)

#### ②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"先月と比較"するといかがですか。



#### ②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



### (イ) 来月の価格に関する見通しD I

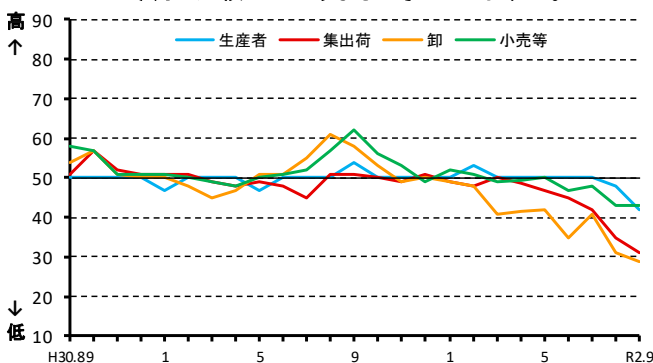
#### a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	▲6	(今月の数値	42)
集出荷：前回からの増減	▲4	(今月の数値	31)
卸：前回からの増減	▲2	(今月の数値	29)
小売等：前回からの増減	±0	(今月の数値	43)

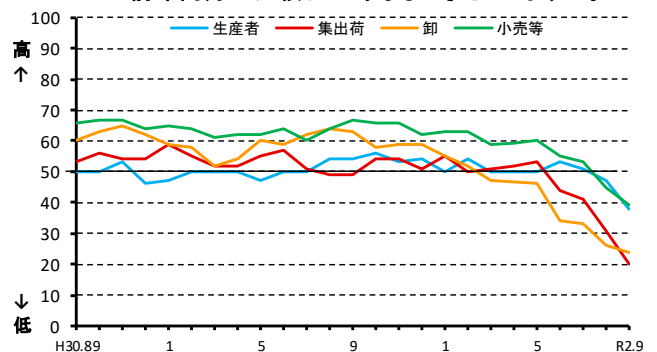
#### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲9	(今月の数値	38)
集出荷：前回からの増減	▲11	(今月の数値	20)
卸：前回からの増減	▲2	(今月の数値	24)
小売等：前回からの増減	▲6	(今月の数値	39)

#### ②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



#### ②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。





### ③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来) 多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来) 少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### (ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

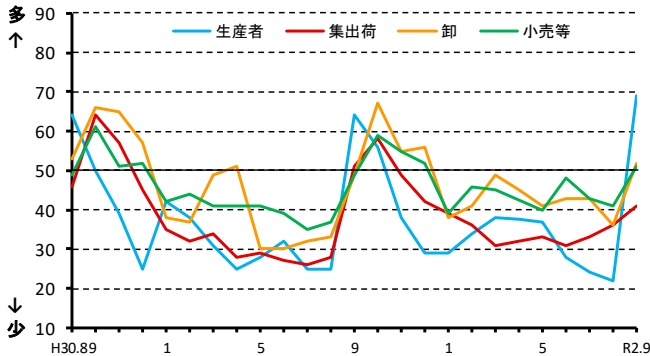
##### a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	+47	(今月の数値	69)
集出荷：前回からの増減	+5	(今月の数値	41)
卸：前回からの増減	+16	(今月の数値	52)
小売等：前回からの増減	+10	(今月の数値	51)

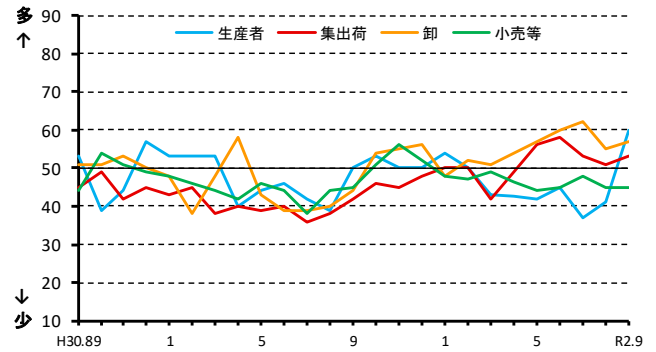
##### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+19	(今月の数値	60)
集出荷：前回からの増減	+2	(今月の数値	53)
卸：前回からの増減	+2	(今月の数値	57)
小売等：前回からの増減	±0	(今月の数値	45)

③-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”について、“先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”は、“前年同月と比較”するといかがですか。



#### (イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

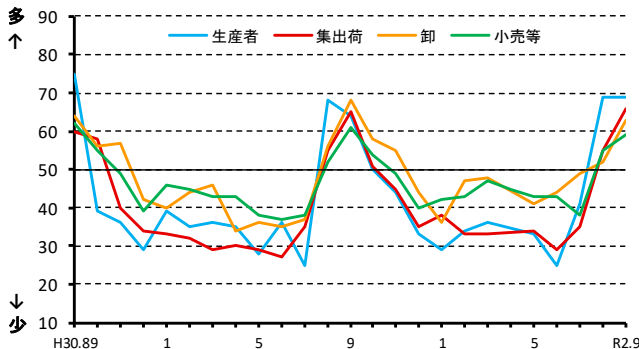
##### a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	±0	(今月の数値	69)
集出荷：前回からの増減	+11	(今月の数値	66)
卸：前回からの増減	+11	(今月の数値	63)
小売等：前回からの増減	+4	(今月の数値	59)

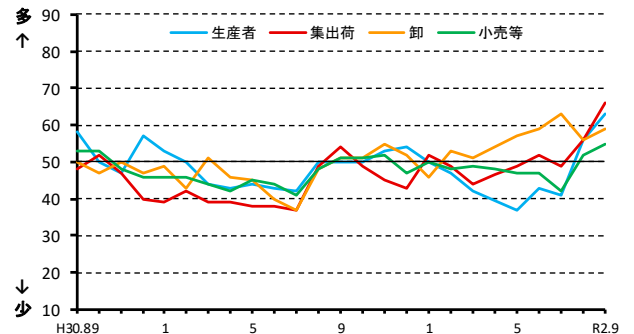
##### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+7	(今月の数値	63)
集出荷：前回からの増減	+10	(今月の数値	66)
卸：前回からの増減	+3	(今月の数値	59)
小売等：前回からの増減	+3	(今月の数値	55)

③-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



取引関係者が1の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他		作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H30.9	11%	15%	4%	54%	10%	5%	0%	R1.9	24%	13%	4%	49%	6%	2%	2%
H30.10	20%	9%	2%	51%	12%	5%	0%	R1.10	22%	13%	3%	49%	8%	2%	2%
H30.11	19%	11%	3%	50%	11%	5%	1%	R1.11	19%	11%	3%	52%	13%	1%	1%
H30.12	11%	13%	3%	57%	11%	4%	1%	R1.12	14%	12%	3%	58%	9%	3%	1%
H31.1	12%	14%	4%	55%	12%	4%	0%	R2.1	7%	11%	2%	57%	18%	5%	0%
H31.2	7%	19%	2%	56%	10%	5%	1%	R2.2	3%	16%	4%	51%	19%	4%	2%
H31.3	5%	15%	4%	56%	17%	4%	0%	R2.3	2%	21%	2%	39%	28%	3%	5%
H31.4	5%	14%	4%	56%	17%	4%	0%	R2.4	-	-	-	-	-	-	-
R1.5	4%	21%	4%	55%	13%	3%	0%	R2.5	3%	18%	1%	38%	33%	3%	5%
R1.6	4%	21%	5%	59%	7%	3%	1%	R2.6	3%	27%	2%	35%	26%	6%	2%
R1.7	15%	12%	4%	55%	7%	5%	1%	R2.7	4%	32%	2%	34%	18%	5%	5%
R1.8	18%	14%	8%	48%	8%	4%	1%	R2.8	5%	39%	1%	34%	9%	7%	4%
								R2.9	4%	40%	1%	38%	9%	7%	1%

《アンケート方法等》

○調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答

○調査方法：電子メールを利用したアンケート調査

○調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の165客体

※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、5月からアンケート対象事業者の拡充及び入替を行っております。

○有効回答数：136客体

- 生産者・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
- 集出荷業者／団体・・・・・・・・・・29
- 卸売業者（主に主食用米）・・・・32
- 小売業者／中食・外食業者・・・・45
- その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

※「その他」は以下の業者です。

- ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
- ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

○結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

（DIの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

# V 消費の動向

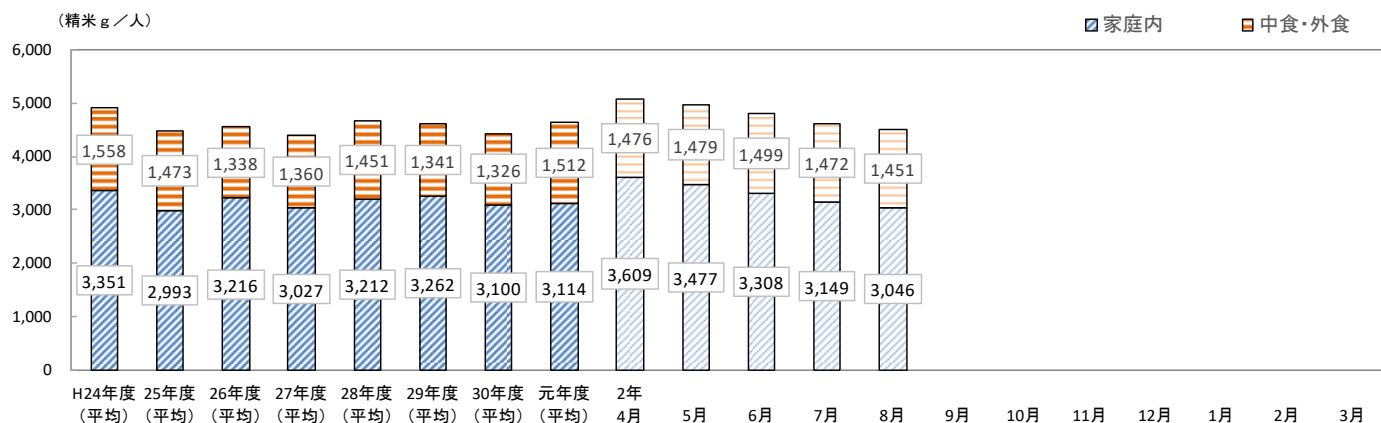
## 1 米の消費動向（米穀機構による調査）

調査結果の概要につきましては、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。  
【 <https://www.komenet.jp/> 】

○ 本調査は、調査実施機関（株）マクロミルのモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

- 米穀機構が公表している「米の消費動向調査」（令和2年8月分）によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、前年同月比+6.5%。
- このうち、家庭内での消費量は前年同月比+9.5%、中食・外食では+0.7%。

### （1）1人1ヵ月当たり精米消費量



	精米消費量(g)					内訳比率(%)					前年同月比(%)				
	合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食	
		中食	外食	中食	外食		中食	外食	中食	外食					
平成24年度	4,909	3,351	1,558	900	658	100.0	68.3	31.7	18.3	13.4	1.4	4.4	▲4.4	▲3.1	▲6.1
25年度	4,466	2,993	1,473	846	627	100.0	67.0	33.0	18.9	14.0	▲9.0	▲10.7	▲5.5	▲6.0	▲4.7
26年度	4,554	3,216	1,338	758	580	100.0	70.6	29.4	16.6	12.7	2.0	7.5	▲9.2	▲10.4	▲7.5
27年度	4,386	3,027	1,360	793	567	100.0	69.0	31.0	18.1	12.9	▲3.7	▲5.9	1.6	4.6	▲2.2
28年度	4,663	3,212	1,451	852	599	100.0	68.9	31.1	18.3	12.8	6.3	6.1	6.7	7.4	5.6
29年度	4,603	3,262	1,341	777	564	100.0	70.9	29.1	16.9	12.3	▲1.3	1.6	▲7.6	▲8.8	▲5.8
30年度	4,426	3,100	1,326	782	544	100.0	70.0	30.0	17.7	12.3	▲3.8	▲5.0	▲1.1	0.6	▲3.5
令和元年度	4,626	3,114	1,512	885	627	100.0	67.3	32.7	19.1	13.6	4.5	0.5	14.0	13.1	15.3
令和2年 4月	5,085	3,609	1,476	1,095	382	100.0	71.0	29.0	21.5	7.5	3.3	11.6	▲12.7	11.8	▲46.2
5月	4,956	3,477	1,479	1,032	447	100.0	70.2	29.8	20.8	9.0	2.2	8.3	▲9.8	6.6	▲33.5
6月	4,807	3,308	1,499	969	531	100.0	68.8	31.2	20.2	11.0	4.2	5.9	0.5	11.9	▲14.9
7月	4,620	3,149	1,472	950	521	100.0	68.2	31.9	20.6	11.3	2.7	2.9	2.4	13.8	▲13.6
8月	4,496	3,046	1,451	935	515	100.0	67.7	32.3	20.8	11.5	6.5	9.5	0.7	13.7	▲16.8

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注1：令和2年8月分の有効調査世帯数は1,885世帯。

注2：平成24～令和元年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

注3：調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。

注4：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

注5：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

注6：四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

- 精米購入時の動向について、入手経路は「スーパーマーケット」が最も多く、次いで「家族・知人などから無償で入手」、「インターネットショップ」の順となっている。
- 精米購入経路別の購入単価は、「デパート」が最も高く、次いで、「米穀専門店」、「インターネットショップ」の順となっている※。  
※購入割合が有効調査世帯数の1%に満たない精米購入経路を除いた順である。
- 令和2年8月の家庭内の月末在庫数量は、6.0kgとなっている。

## ② 精米購入時の動向

### (ア) 入手経路(複数回答)

(%)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他	
平成25年度	0.7	47.4	3.8	2.8	0.3	7.1	1.6	3.8	1.8	6.8	10.0	20.8	1.6	
平成26年度	1.2	48.7	4.1	2.4	0.2	8.2	1.5	3.5	2.0	6.7	8.7	19.5	2.6	
平成27年度	1.8	48.1	3.7	2.5	0.2	7.8	1.0	3.7	1.5	5.2	9.7	20.3	2.6	
平成28年度	1.5	49.7	3.7	2.8	0.5	8.1	1.5	2.7	1.8	6.2	9.6	17.2	3.2	
平成29年度	1.4	49.4	4.3	3.1	0.3	6.9	1.6	2.8	2.0	7.1	10.0	16.2	2.5	
平成30年度	1.4	52.7	4.8	2.8	0.2	6.5	1.2	2.7	2.2	6.0	9.8	14.8	2.3	
令和元年度	1.0	50.1	5.9	3.2	0.2	5.9	1.3	2.4	1.0	5.9	8.1	17.8	3.4	
令和2年	4月	0.5	52.5	5.2	4.1	0.1	6.3	1.5	2.4	0.9	4.3	10.0	13.3	5.2
	5月	1.3	51.0	5.5	4.4	0.3	6.8	1.0	2.7	1.0	4.4	10.3	13.5	4.4
	6月	0.9	48.8	6.6	5.3	0.0	5.9	1.2	2.3	1.4	5.0	9.5	14.0	3.8
	7月	1.3	54.6	4.7	4.1	0.3	6.6	1.3	2.0	0.9	5.2	8.2	12.3	4.1
	8月	1.8	50.2	5.9	4.3	0.1	7.9	1.4	2.0	1.0	4.9	8.4	15.1	3.2

注：1 平成25～令和元年度は各年4月から翌年3月までの平均値。

2 令和2年8月分の有効調査世帯数は1,192世帯。

### (イ) 精米購入経路別の購入単価(複数回答)

(円/kg)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウストア	コンビニエンスストア	(生協・共同購入含む)	(農協・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	有効調査世帯数	
令和元年度	618	399	355	323	※545	424	477	473	434	373	494	-	
令和2年	4月	※422	383	409	387	※506	445	385	456	※427	387	514	2,321
	5月	521	413	360	341	※489	448	370	431	376	346	485	2,164
	6月	※473	398	353	364	※1,500	475	420	447	401	353	486	2,049
	7月	430	408	356	313	※312	419	435	552	※453	390	498	1,953
	8月	501	396	380	386	※430	437	404	499	375	414	498	1,885

注：1 デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。

2 購入単価は消費税を除く本体価格である。

3 表中の※付きの単価は、当該経路での購入割合が有効調査世帯数の1%に満たないため参考値とする。

4 令和元年度は4月から翌年3月までの平均値である。

(ウ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
平成 26年度	月末在庫数量	6.8	6.8	6.5	6.3	6.5	6.8	7.3	7.5	7.8	7.1	6.8	6.6	6.9	3.0
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	-
27年度	月末在庫数量	6.0	6.2	6.2	6.3	6.4	6.6	6.9	7.1	7.3	7.1	6.8	6.6	6.6	▲4.3
	平均世帯人員	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.41	2.41	2.40	2.41	2.41	2.41	2.40	-
28年度	月末在庫数量	6.5	6.4	6.2	6.2	6.2	6.2	6.7	7.0	7.7	7.5	6.7	6.6	6.7	1.5
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	-
29年度	月末在庫数量	6.1	6.2	5.9	6.0	6.0	6.1	6.7	6.8	7.0	6.9	6.4	6.4	6.4	▲4.5
	平均世帯人員	2.33	2.32	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
30年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.0	5.8	6.1	6.5	6.6	6.9	7.2	6.6	6.4	6.4	6.4	0.0
	平均世帯人員	2.32	2.32	2.32	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
令和 元年度	月末在庫数量	6.0	6.2	5.9	5.7	6.0	6.2	6.2	6.5	6.6	6.3	6.3	6.5	6.2	▲3.1
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
2年度	月末在庫数量	7.1	6.5	6.6	6.2	6.0								6.5	4.8
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33								2.33	-

注：1 地域ごとの世帯人員構成比が平成26～28年度はH22国勢調査、平成29～令和元年度はH27国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。

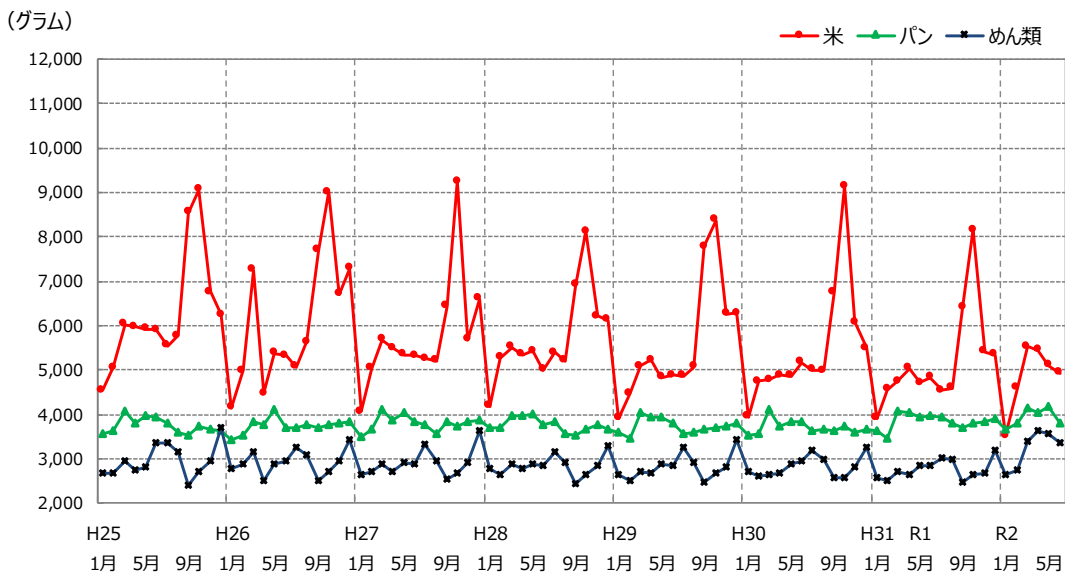
注：2 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

## 2 購入数量・支出金額の推移（家計調査）

家計調査、消費者物価指数、小売物価統計の累年データについては、総務省統計局HPから御覧いただけます。【 <https://www.stat.go.jp/data/index.html> 】

- 総務省が公表している家計調査によると、令和2年7月の米の購入数量は、対前年同月比+7.9%の4.9kg、パンは▲4.8%の3.8kg、めん類は+13.7%の3.4kg。

### 1 世帯当たり 1 か月間の購入数量の推移



(グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	前年(同月)比	購入数量	前年(同月)比	購入数量	前年(同月)比
平成25年	75,170	95.4%	44,927	100.3%	35,560	99.3%
26年	73,050	97.2%	44,926	100.0%	35,176	98.9%
27年	69,510	95.2%	45,676	101.7%	34,753	98.8%
28年	68,740	98.9%	45,099	98.7%	34,192	98.4%
29年	67,270	97.9%	44,840	99.4%	33,934	99.2%
30年	65,750	97.7%	44,526	99.3%	33,867	99.8%
令和元年	62,200	94.6%	46,011	103.3%	33,169	97.9%
8月	4,590	92.2%	3,792	103.5%	2,981	99.5%
9月	6,420	95.3%	3,693	101.3%	2,475	96.2%
10月	8,160	89.3%	3,806	102.3%	2,642	102.2%
11月	5,420	89.3%	3,830	106.3%	2,662	95.1%
12月	5,350	97.4%	3,892	106.5%	3,201	98.5%
令和2年 1月	3,520	90.0%	3,652	100.7%	2,629	102.0%
2月	4,600	100.9%	3,789	109.7%	2,751	109.5%
3月	5,540	116.9%	4,157	102.2%	3,382	124.3%
4月	5,440	108.2%	4,037	100.2%	3,637	138.0%
5月	5,110	108.5%	4,177	105.7%	3,578	124.9%
6月	4,940	102.1%	3,812	96.0%	3,351	117.7%
7月	4,900	107.9%	3,760	95.2%	3,416	113.7%

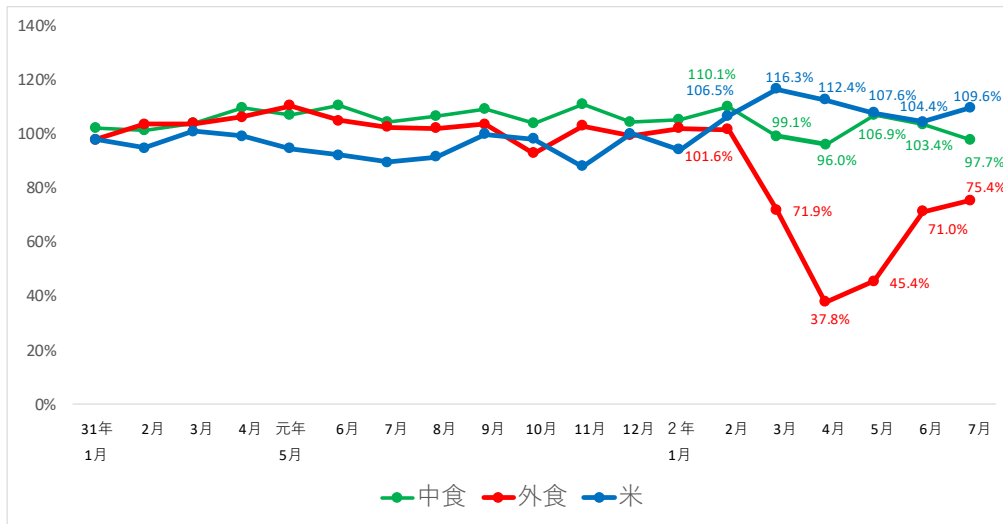
資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

注1：平成25～令和元年は年間の購入数量・対前年比、令和2年は月間の購入数量・対前年同月比である。

注2：米は精米ベースである。

- 総務省が公表している家計調査によると、1世帯当たり1か月間の令和2年7月の中食の支出金額は、対前年同月比▲2.3%、外食は▲24.6%。

## 1世帯当たり1か月間の支出金額の推移（前年同月比）



	穀類	中食				弁当	すし(弁当)	おにぎり・その他	調理パン	他の主食的調理食品	
		米	パン	麺類	他の穀類						
31年1月	99.8%	97.7%	102.7%	97.4%	97.9%	101.8%	100.2%	103.6%	99.4%	97.9%	103.8%
2月	101.2%	94.6%	106.9%	99.8%	99.7%	101.1%	101.0%	97.9%	108.8%	97.8%	104.4%
3月	104.4%	100.9%	105.7%	106.2%	105.6%	103.8%	102.2%	103.3%	106.9%	102.1%	105.9%
4月	104.0%	99.2%	109.1%	101.1%	105.0%	109.4%	112.6%	107.1%	109.7%	101.5%	111.4%
元年5月	101.5%	94.3%	106.3%	103.0%	99.4%	106.8%	109.2%	102.1%	111.1%	103.4%	108.9%
6月	99.8%	92.0%	105.8%	98.5%	106.5%	110.3%	111.9%	106.8%	109.7%	105.0%	114.5%
7月	100.4%	89.4%	111.1%	97.3%	101.2%	104.4%	106.2%	102.6%	107.3%	105.6%	102.6%
8月	101.0%	91.5%	108.1%	102.5%	96.2%	106.5%	104.1%	108.4%	107.0%	104.7%	107.8%
9月	99.7%	99.7%	101.1%	98.0%	97.6%	108.8%	109.9%	109.5%	111.3%	106.0%	107.5%
10月	102.5%	98.0%	102.2%	111.6%	109.0%	103.8%	97.4%	105.4%	105.7%	108.8%	107.1%
11月	98.5%	87.8%	103.8%	105.0%	102.3%	110.6%	104.4%	111.8%	113.6%	113.1%	114.6%
12月	101.3%	99.9%	101.0%	104.7%	100.0%	104.1%	103.8%	102.8%	109.5%	105.3%	104.0%
2年1月	98.8%	94.1%	99.3%	102.9%	100.2%	104.9%	102.0%	105.9%	116.7%	102.6%	104.2%
2月	107.0%	106.5%	102.9%	114.1%	113.8%	110.1%	113.0%	106.8%	112.4%	107.3%	111.7%
3月	110.6%	116.3%	96.5%	127.6%	124.8%	99.1%	90.1%	100.8%	87.7%	94.4%	113.9%
4月	111.5%	112.4%	93.7%	138.0%	143.4%	96.0%	94.2%	93.7%	76.3%	83.7%	112.5%
5月	110.4%	107.6%	98.9%	127.9%	140.8%	106.9%	116.5%	106.4%	82.0%	94.3%	111.2%
6月	104.2%	104.4%	96.1%	116.3%	110.4%	103.4%	104.1%	106.6%	90.4%	96.7%	107.1%
7月	103.9%	109.6%	96.4%	110.0%	104.1%	97.7%	97.6%	101.4%	86.6%	93.7%	100.4%

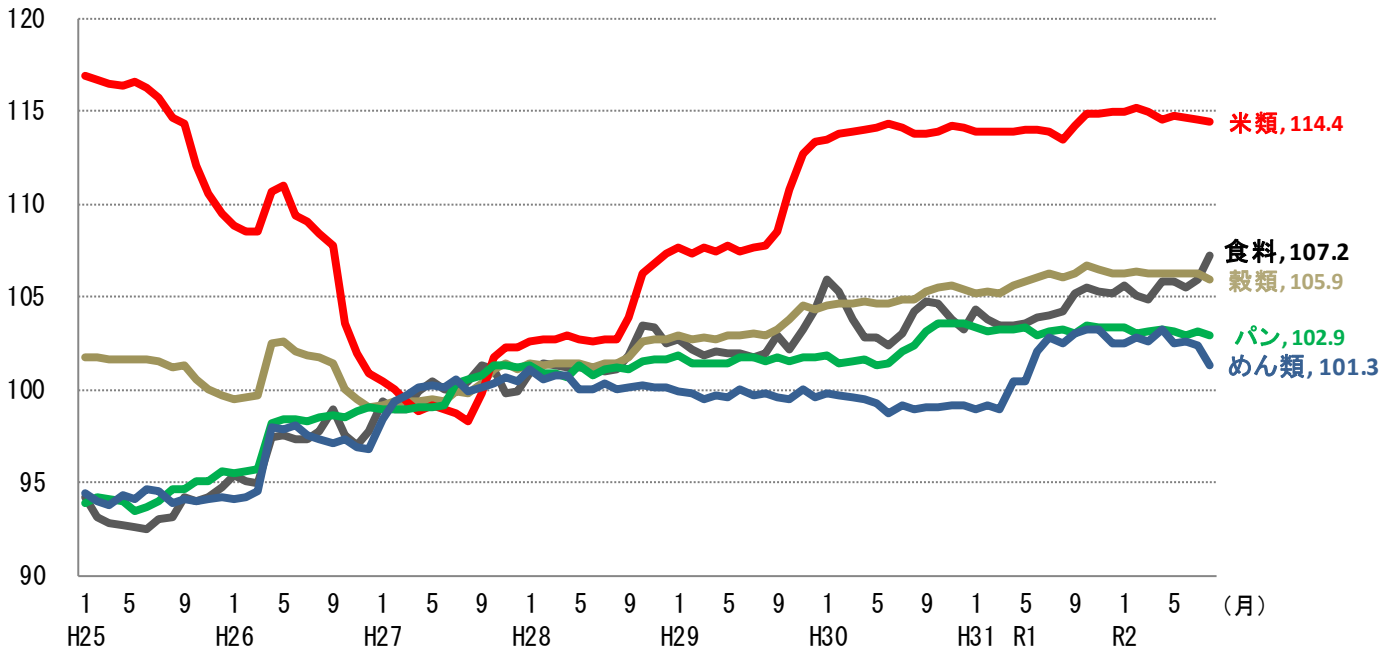
	外食	外食の種類									
		日本そば・うどん	中華そば	他の麺類外食	すし(外食)	和食	中華食	洋食	焼肉	ハンバーガー	他の主食的外食
31年1月	97.8%	99.4%	114.3%	114.7%	97.6%	96.2%	100.4%	89.6%	89.2%	106.0%	98.2%
2月	103.4%	109.6%	109.1%	116.7%	87.1%	98.2%	98.5%	83.1%	100.8%	112.1%	114.8%
3月	103.6%	110.0%	113.3%	104.9%	88.1%	99.5%	105.9%	88.9%	96.5%	130.8%	110.7%
4月	106.1%	103.5%	108.6%	122.0%	103.4%	101.5%	93.0%	99.9%	109.3%	123.0%	109.3%
元年5月	110.2%	118.4%	110.4%	128.4%	100.2%	113.9%	90.0%	98.3%	123.0%	112.9%	113.1%
6月	104.8%	112.0%	110.9%	112.9%	101.7%	105.1%	106.6%	95.9%	93.4%	121.6%	105.9%
7月	102.4%	103.3%	112.4%	125.8%	96.9%	106.7%	106.9%	93.6%	84.8%	106.2%	103.7%
8月	101.8%	108.0%	110.1%	123.5%	101.6%	96.8%	92.0%	93.3%	95.9%	102.3%	105.3%
9月	103.3%	119.0%	109.8%	121.6%	117.9%	96.8%	85.0%	92.4%	101.3%	115.0%	103.2%
10月	92.8%	91.4%	103.7%	94.3%	96.1%	95.6%	98.0%	80.5%	65.2%	114.3%	94.1%
11月	102.7%	102.3%	120.0%	120.8%	98.6%	100.2%	101.4%	95.0%	106.8%	109.8%	103.3%
12月	99.2%	101.4%	93.9%	105.6%	97.2%	96.1%	119.2%	87.9%	112.5%	96.2%	101.3%
2年1月	101.9%	112.3%	99.5%	88.1%	96.7%	100.6%	99.8%	93.2%	111.4%	102.3%	105.5%
2月	101.6%	107.3%	103.3%	104.6%	103.0%	102.1%	103.1%	104.1%	121.1%	110.8%	96.2%
3月	71.9%	74.6%	77.0%	68.7%	79.3%	75.0%	66.5%	62.1%	77.3%	97.5%	67.8%
4月	37.8%	29.4%	38.5%	26.3%	41.4%	37.3%	43.0%	26.3%	24.0%	121.0%	35.9%
5月	45.4%	34.0%	48.8%	36.2%	60.6%	45.8%	60.2%	37.3%	35.8%	141.4%	38.2%
6月	71.0%	68.9%	75.2%	60.7%	85.5%	72.8%	85.9%	67.7%	89.4%	97.5%	62.1%
7月	75.4%	79.0%	80.6%	59.4%	79.8%	83.7%	69.8%	65.0%	85.4%	101.3%	70.0%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

注1：米は精米ベースである。

### 3 消費者物価指数の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数によると、令和2年8月の米類の指数は対前年同月比 +0.8%の114.4ポイント。



(平成27年=100、指数)

	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	
平成25年(平均)	93.4	▲0.1%	101.2	▲0.5%	114.6	2.0%	115.7	2.1%	94.4	▲1.9%	94.2	▲1.7%
26年(平均)	97.0	3.8%	100.8	▲0.4%	107.4	▲6.3%	107.9	▲6.8%	97.8	3.6%	96.6	2.6%
27年(平均)	100.0	3.1%	100.0	▲0.8%	100.0	▲6.9%	100.0	▲7.3%	100.0	2.2%	100.0	3.5%
28年(平均)	101.7	1.7%	101.7	1.7%	103.8	3.8%	104.0	4.0%	101.2	1.2%	100.3	0.3%
29年(平均)	102.4	0.7%	103.2	1.5%	108.8	4.8%	109.2	5.1%	101.6	0.4%	99.7	▲0.6%
30年(平均)	103.9	1.4%	104.9	1.7%	114.0	4.7%	114.6	5.0%	102.3	0.7%	99.3	▲0.5%
令和元年(平均)	104.3	0.5%	105.9	0.9%	114.2	0.2%	114.9	0.2%	103.2	0.9%	101.4	2.2%
令和2年 1月	105.6	1.2%	106.2	1.0%	114.9	0.8%	115.6	0.8%	103.3	0.0%	102.5	3.6%
2月	105.1	1.2%	106.4	1.1%	115.2	1.1%	115.8	1.0%	103.0	▲0.1%	102.8	3.6%
3月	104.9	1.4%	106.3	1.0%	114.9	0.9%	115.6	0.9%	103.1	▲0.1%	102.6	3.7%
4月	105.8	2.1%	106.3	0.7%	114.5	0.5%	115.0	0.4%	103.2	0.0%	103.2	2.8%
5月	105.8	2.1%	106.3	0.5%	114.7	0.6%	115.3	0.5%	103.1	▲0.1%	102.5	2.0%
6月	105.5	1.5%	106.2	0.2%	114.6	0.5%	115.2	0.4%	102.9	▲0.1%	102.6	0.5%
7月	105.9	1.8%	106.3	0.1%	114.5	0.5%	115.0	0.4%	103.1	0.0%	102.4	▲0.4%
8月	107.2	2.9%	105.9	▲0.1%	114.4	0.8%	115.0	0.6%	102.9	▲0.3%	101.3	▲1.2%

注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。

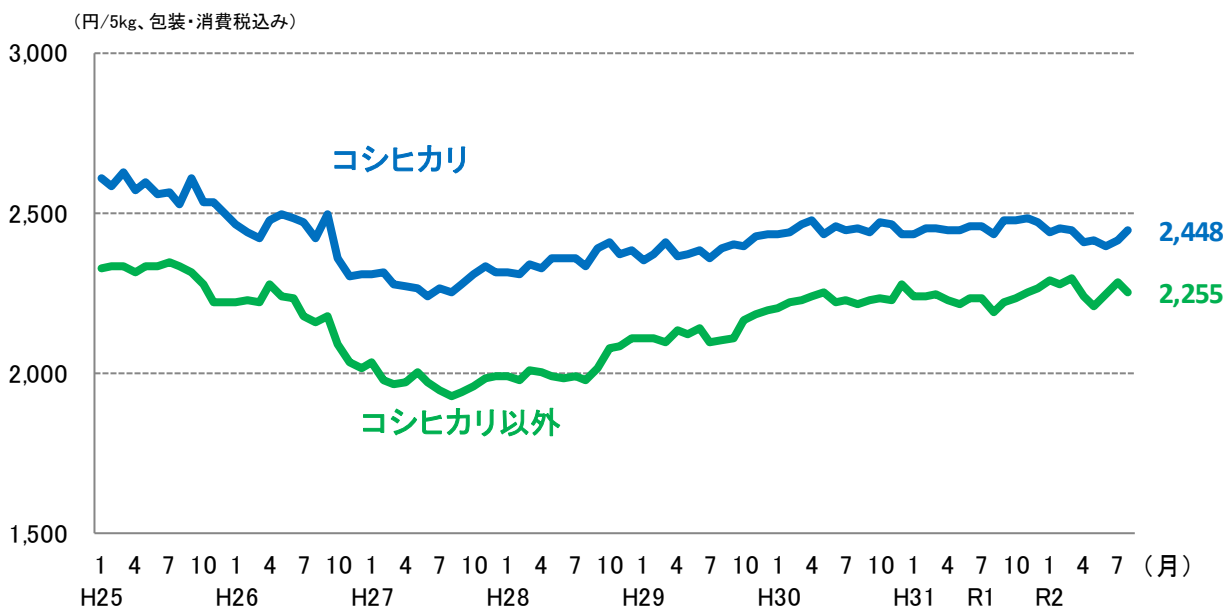
2：穀類は、米類(うるち米、もち米)、パン、めん類、他の穀類からなる。

3：平成25年～令和元年のデータは年平均、令和2年は月次データである。



## 4 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、令和2年8月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、コシヒカリで対前年同月比+0.7%の2,448円。
- コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比+2.9%の2,255円。



(円/5kg、包装・消費税込み)

年平均	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
コシヒカリ	2,567	2,428	2,285	2,355	2,388	2,451	2,457
前年比	▲0.4%	▲5.4%	▲5.9%	3.1%	1.4%	2.6%	0.2%
コシヒカリ以外	2,307	2,173	1,973	2,019	2,132	2,232	2,234
前年比	3.8%	▲5.8%	▲9.2%	2.3%	5.6%	4.7%	0.1%

月次(令和2年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,439	2,455	2,443	2,407	2,416	2,395	2,417	2,448				
前年同月比	0.2%	0.1%	▲0.3%	▲1.5%	▲1.1%	▲2.6%	▲1.7%	0.7%				
コシヒカリ以外	2,288	2,279	2,295	2,241	2,210	2,249	2,284	2,255				
前年同月比	2.1%	1.7%	2.3%	0.5%	▲0.3%	0.7%	2.3%	2.9%				

月次(令和元年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,434	2,453	2,451	2,443	2,444	2,460	2,458	2,431	2,475	2,474	2,483	2,472
前年同月比	0.0%	0.6%	▲0.6%	▲1.3%	0.5%	0.0%	0.6%	▲0.9%	1.6%	0.0%	0.7%	1.6%
コシヒカリ以外	2,241	2,242	2,244	2,229	2,216	2,233	2,233	2,191	2,223	2,233	2,252	2,267
前年同月比	1.7%	0.9%	0.7%	▲0.5%	▲1.7%	0.5%	0.2%	▲1.2%	▲0.3%	▲0.1%	1.0%	▲0.4%

資料：総務省「小売物価統計」動向編

注：東京都区部における精米価格である（特売分を除く）。

## 5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向

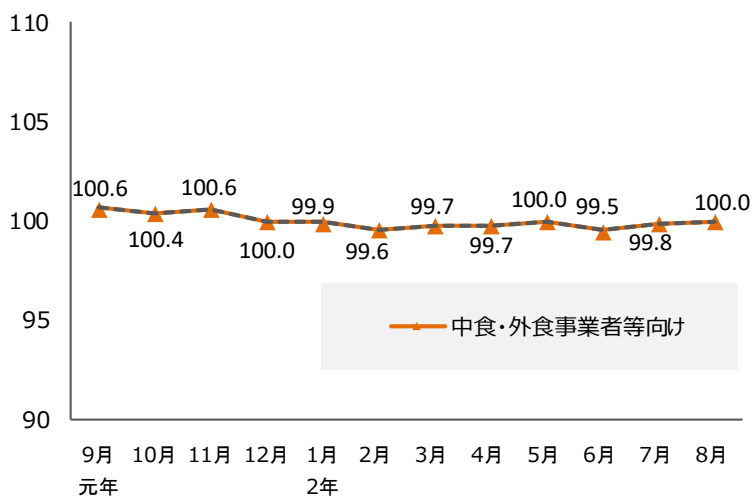
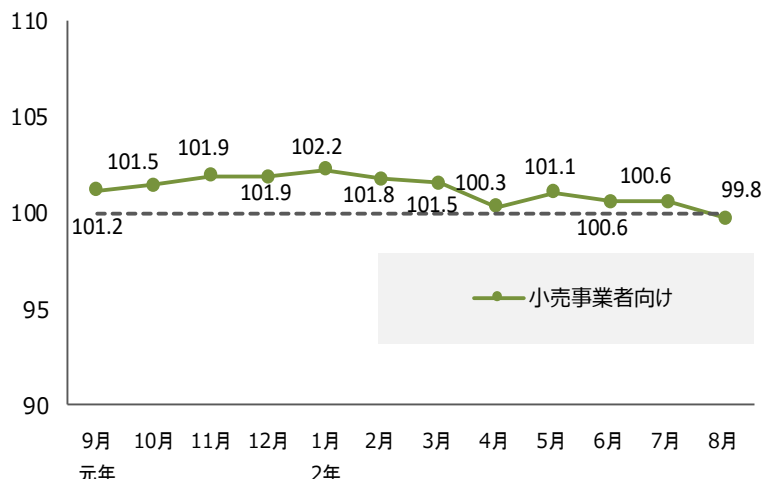
- 令和2年8月の販売数量(前年同月比)は、小売事業者向け105%、中食・外食事業者等向け85%で販売数量は95%となり、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛要請等により家庭用の需要が一時的に高まったが、全体として見れば、昨年から米の需要は停滞している。特に直近の4、5月では、外食向けを中心に業務用の需要の減少が大きい。
- 前年同月を基準にした令和2年8月の販売価格の値動きは、小売事業者向け99.8、中食・外食事業者等向け100.0。

### 1 販売数量の動向（前年同月比）

	元年 9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
小売事業者向け	101%	97%	99%	99%	101%	110%	124%	110%	95%	104%	103%	105%
中食・外食事業者等向け	97%	98%	95%	97%	98%	99%	89%	75%	76%	89%	86%	85%
販売数量計	99%	97%	97%	98%	100%	105%	108%	94%	86%	97%	95%	95%

注：前月公表分までは、報告者からの対前年比の比率の割合により、整理していたが、元年6月公表から、販売数量（実数）と対前年の販売数量（実数）との比率としており、実数比較が可能となった元年6月分から数値を精査の上、遡及して整理。

### 2 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

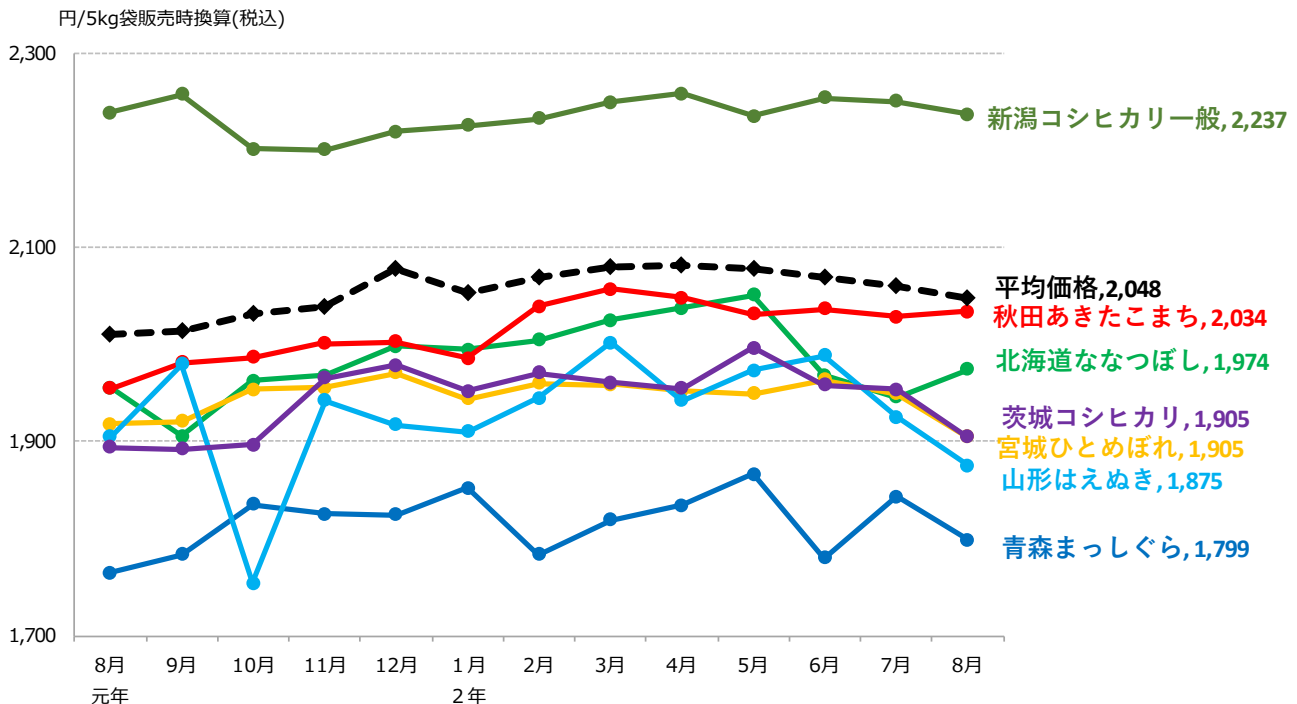
注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000ト以上の販売事業者である。

注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

注3：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。



- 令和2年8月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月比▲13円(▲0.4%)、対前年同月比+38円(+1.9%)の2,048円。



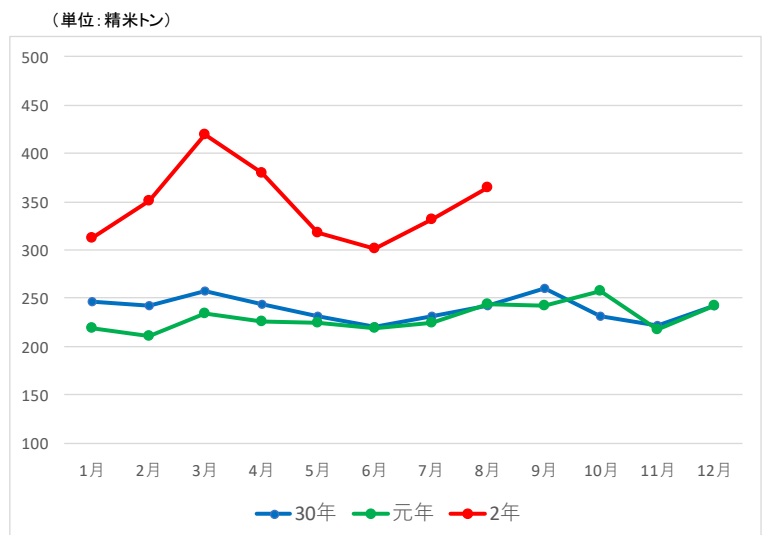
資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

- 注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,030店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
- 注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
- 注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。
- 注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。
- 注5：価格に含む消費税は8%である。

## 【パックご飯の販売数量(精米換算)】

(単位: 精米トン、%)

	30年	元年 ①	2年 ②	対前年 同月比 ②/①
1月	246	219	313	143%
2月	243	211	351	166%
3月	257	234	420	179%
4月	244	226	380	168%
5月	232	225	318	141%
6月	221	219	302	138%
7月	231	225	331	147%
8月	243	244	365	150%
9月	260	242		
10月	232	257		
11月	222	217		
12月	242	243		



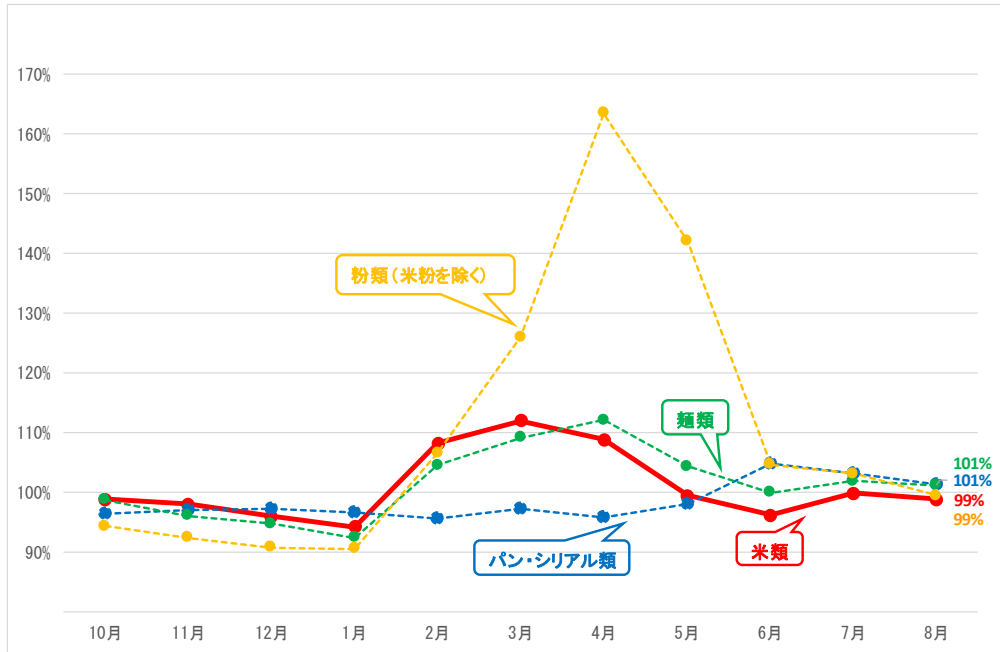
資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

- 注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,030店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
- 注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
- 注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

## 【 POSデータ 分類別販売個数 対前年同期比 】

新型コロナウイルスによる休校要請や外出自粛の要請を受け、米類の商品販売個数については、2月から4月の売上が大きく伸びた。

その後、4月下旬以降の販売個数は前年と同程度で推移している。



分類コード	分類名	主な分類基準	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
米類	米	精米、玄米、もち米	103%	100%	96%	94%	108%	112%	109%	99%	96%	100%	99%
	包装餅	切り餅、板餅	99%	99%	95%	89%	106%	136%	165%	143%	113%	127%	113%
	米飯加工品	無菌パックの白飯、レトルトタイプ、おかゆ、赤飯	108%	100%	100%	94%	113%	118%	115%	96%	94%	100%	102%
	冷凍米飯加工品	チャーハン、ピラフ、焼きおにぎり	105%	100%	94%	95%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	94%
	パン・シリアル類		96%	97%	97%	97%	96%	97%	96%	98%	105%	103%	101%
パン・シリアル類	食パン	食パン、クロワッサン、フランスパン	97%	98%	97%	97%	97%	99%	93%	94%	103%	103%	100%
	菓子パン	果物、チョコレート、クリーム・ジャムを使用したパン	97%	97%	97%	97%	94%	95%	97%	99%	105%	103%	102%
	調理パン	サンドウィッチ、カレーパン、ホットドック	95%	96%	99%	92%	100%	103%	104%	106%	111%	105%	101%
	シリアル類	グラノーラ、コンフレーク	94%	93%	103%	107%	83%	77%	73%	76%	88%	91%	122%
	種類		99%	96%	95%	92%	105%	109%	112%	104%	100%	102%	101%
種類	インスタント袋麺	袋入りのインスタントラーメン、そば、うどん	100%	92%	94%	90%	100%	122%	128%	110%	97%	112%	104%
	カップ麺	ラーメン、そば、うどん等の即席麺	101%	94%	93%	90%	105%	105%	102%	93%	98%	103%	95%
	生麺・ゆで麺	生麺、ゆでうどん、中華そば、焼きそば	96%	99%	96%	94%	105%	109%	120%	115%	103%	100%	106%
	スパゲッティ	乾スパゲッティ、ゆでスパゲッティ	100%	95%	95%	98%	121%	145%	161%	120%	96%	95%	102%
	冷凍麺	冷凍パスタ、そば、うどんなどの種類	98%	99%	98%	98%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	105%
粉類(米粉を除く)			94%	92%	91%	90%	107%	126%	163%	142%	105%	103%	99%
	小麦粉	強力粉、薄力粉、中力粉	92%	92%	89%	89%	108%	122%	169%	146%	96%	92%	93%
	パン粉	パン粉、生パン粉	90%	92%	92%	90%	102%	109%	120%	114%	97%	99%	99%
	ブレミックス	加糖ミックス(ホットケーキなどの素)、お好み焼き粉、たこ焼き粉	100%	93%	91%	92%	109%	141%	195%	164%	119%	116%	104%
(参考)	味噌	ルータイプの味噌、出し入り味噌	93%	97%	94%	94%	97%	101%	107%	103%	100%	100%	100%
	米粉	白玉粉、上新粉、だんご粉	93%	95%	96%	92%	105%	108%	176%	212%	116%	115%	106%
	米菓	煎餅、あられ、おかき	93%	97%	94%	94%	97%	101%	107%	103%	100%	100%	99%
	清酒		84%	93%	93%	91%	99%	95%	97%	102%	97%	101%	99%
	焼酎乙類		82%	92%	92%	93%	100%	98%	102%	106%	99%	99%	99%

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,030店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：POSデータの販売個数は、商品容量にかかわらず販売された商品の個数を単純にカウントしたものであることに留意が必要である。

## VI 輸出入の動向

輸入米の入札情報については、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「輸入米麦入札関連資料」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html> 】

### 1 MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：千玄米トン）

	米 国	タ イ	中 国	オーストラリア	その他	合 計	うち	
							一般輸入	SBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	-	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	-	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	-	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度	359	316	69	14	8	767	701	59
令和元年度	360	306	83	0	17	767	681	77
令和2年度 (9月末現在)	32	11	0	-	1	44	40	4

資料：農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は千実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。

(参考) MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

## 2 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果（令和2年度）

（単位：実トン）

販売期間	うるち	販売期間	もち
令和2年4～6月分 （長期契約）	19,913	平成2年4～7月分	1,934
4月分 （月別契約）	340	令和2年8～11月分	
5月分 （月別契約）	606	令和2年12～令和3年3月分	
6月分 （月別契約）	738		
7～9月分 （長期契約）			
7月分 （月別契約）			
8月分 （月別契約）			
9月分 （月別契約）			
10～12月分 （長期契約）			
10月分 （月別契約）			
11月分 （月別契約）			
12月分 （月別契約）			
令和3年1～3月分 （長期契約）			
1月分 （月別契約）			
2月分 （月別契約）			
3月分 （月別契約）			
小計	21,597	小計	1,934
合計		23,531	

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

### 3 SBS輸入米の見積合わせ結果（令和2年度）

（単位：実トン）

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (令和2年9月25日)	一般米	878		80		80				402		1,440
	砕精米	1,780		320		200				200		2,500
	計	2,658		400		280				602		3,940
令和2年度計	一般米	878	0	80	0	80	0	0	0	402	0	1,440
	砕精米	1,780	0	320	0	200	0	0	0	200	0	2,500
	計	2,658	0	400	0	280	0	0	0	602	0	3,940
令和元年度計 (参考)	一般米	32,937	2,596	4,435	126	1,540	0	260	0	10,359	0	52,253
	砕精米	19,210	600	2,360	600	520	0	0	0	1,000	0	24,290
	計	52,147	3,196	6,795	726	2,060	0	260	0	11,359	0	76,543
平成30年度計 (参考)	一般米	16,364	2,392	4,624	90	594	0	13,203	0	2,477	0	39,744
	砕精米	14,240	940	1,700	1,200	620	0	0	0	100	0	18,800
	計	30,604	3,332	6,324	1,290	1,214	0	13,203	0	2,577	0	58,544
平成29年度計 (参考)	一般米	45,841	2,976	3,506	90	1,580	0	27,863	0	2,007	0	83,863
	砕精米	8,966	1,000	2,012	360	660	0	2,839	0	300	0	16,137
	計	54,807	3,976	5,518	450	2,240	0	30,702	0	2,307	0	100,000
平成28年度計 (参考)	一般米	27,318	3,600	3,487	108	2,156	0	6,861	0	1,236	0	44,766
	砕精米	24,820	700	2,300	388	240	0	0	0	100	0	28,548
	計	52,138	4,300	5,787	496	2,396	0	6,861	0	1,336	0	73,314
平成27年度計 (参考)	一般米	4,251	3,458	2,762	72	76	0	1,285	0	959	0	12,863
	砕精米	10,940	1,260	2,420	1,022	660	0	0	0	150	0	16,452
	計	15,191	4,718	5,182	1,094	736	0	1,285	0	1,109	0	29,315

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」



#### 4 CPTPP・国別枠の見積合わせ結果（令和2年度）

（単位：実トン）

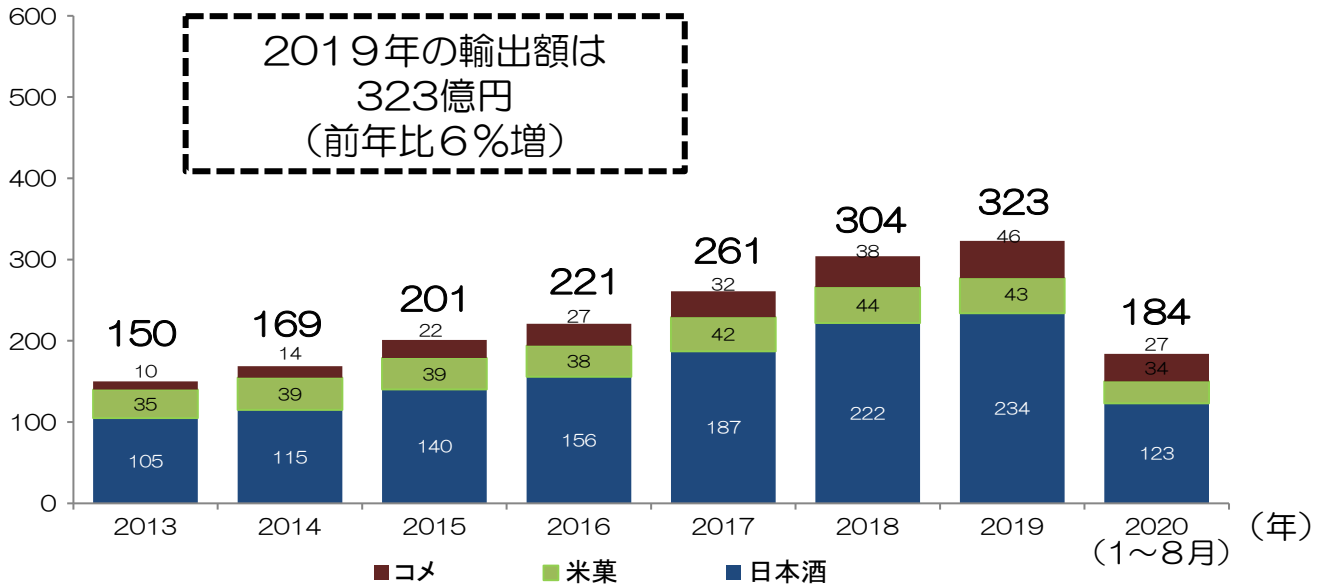
		オーストラリア	
		うるち	もち
第1回 （令和2年5月26日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
第2回 （令和2年7月28・29日）	一般米	40	
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計	40	
第3回 （令和2年9月29日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
令和2年度計	一般米	40	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	40	0
令和元年度計 （参考）	一般米	3,319	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	140	0
	計	3,459	0
平成30年度計 （参考）	一般米	1,000	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	120	0
	計	1,120	0

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

## 5 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について

- 2019年のコメ・コメ加工品の輸出額は323億円（前年比6%増）。
- うちコメの輸出は前年比23%増の46億円（数量では17,381トン、前年比26%増）。特に香港・シンガポール・米国・中国向けの輸出が大幅に増加。
- 2020年3月31日に閣議決定された新たな食料・農業・農村基本計画において、2030年の農林水産物・食品の輸出額目標を5兆円と設定。うちコメの輸出額は261億円が見込まれている。

(億円) コメ・コメ加工品の輸出状況



### コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額

品目名		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年1~8月		(参考) 主な輸出先国
						数量	対前年同期比	
コメ・コメ加工品	数量(※)	24,135トン	28,340トン	31,741トン	34,851トン	21,399トン	-4%	米国 香港 中国 台湾 韓国 シンガポール
	金額	221億円	261億円	304億円	323億円	184億円	-12%	
コメ (援助米を除く)	数量	9,986トン	11,841トン	13,794トン	17,381トン	12,574トン	+20%	香港 シンガポール 米国 台湾 中国
	金額	27億円	32億円	38億円	46億円	34億円	+23%	
米菓 (あられ・せんべい)	数量	3,567トン	3,849トン	4,053トン	4,033トン	2,539トン	-2%	米国 台湾 香港 シンガポール サウジアラビア
	原料米換算	3,032トン	3,272トン	3,445トン	3,428トン	2,158トン	-2%	
	金額	38億円	42億円	44億円	43億円	27億円	-2%	
日本酒 (清酒)	数量	19,737 キロリットル	23,482 キロリットル	25,747 キロリットル	24,928 キロリットル	11,837 キロリットル	-31%	米国 中国 香港 韓国 台湾 シンガポール
	原料米換算	11,117トン	13,227トン	14,502トン	14,041トン	6,667トン	-31%	
	金額	156億円	187億円	222億円	234億円	123億円	-21%	

資料:財務省「貿易統計」(政府による食料援助を除く。)  
注:数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

## (1) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

2019年の商業用の米の輸出は、輸出数量が17,381トン（対前年比+26%）、輸出金額が約46億円（対前年比+23%）と、数量及び金額共に過去最高を記録。  
2020年1～8月の商業用の米の輸出は輸出数量が12,574トン（対前年同期比+20%）、輸出金額が約34億円（対前年同期比+23%）。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年 (1～8月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	7,640 (+69%)	2,234 (+56%)	9,986 (+31%)	2,709 (+21%)	11,841 (+19%)	3,198 (+18%)	13,794 (+16%)	3,756 (+17%)	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	12,574 (+20%)	3,388 (+23%)
香港	2,519	659	3,342	842	4,128	1,016	4,690	1,160	5,436	1,372	4,684 (+35%)	1,236 (+43%)
シンガポール	1,850	463	2,350	539	2,861	642	3,161	694	3,879	802	2,316 (-2%)	496 (+1%)
アメリカ	322	103	812	236	986	320	1,282	404	1,980	543	1,320 (+3%)	380 (+10%)
台湾	753	268	910	321	943	350	1,173	394	1,262	411	1,121 (+63%)	330 (+39%)
中国	568	291	375	163	298	97	524	211	1,007	363	658 (+50%)	205 (+24%)
オーストラリア	273	84	357	109	476	145	635	197	770	233	667 (+43%)	203 (+45%)
タイ	208	37	395	71	192	51	320	81	578	145	346 (-10%)	91 (-4%)
イギリス	189	60	326	98	695	191	422	121	450	131	282 (-7%)	80 (-8%)
ベトナム	142	15	74	16	101	33	118	37	213	65	77 (-29%)	22 (-31%)
ロシア	30	10	74	25	78	31	120	43	174	64	131 (+64%)	47 (+59%)
マレーシア	124	41	167	45	259	62	221	51	234	59	116 (-9%)	30 (-5%)
モンゴル	134	24	198	33	203	32	336	56	315	53	227 (+15%)	37 (+10%)
ドイツ	91	29	90	32	62	26	92	36	140	52	93 (+33%)	38 (+42%)
カナダ	85	23	96	29	92	28	138	43	158	51	124 (+36%)	38 (+19%)
フランス	33	14	39	16	61	27	78	32	93	40	66 (+18%)	28 (+11%)
フィンランド	1	0	1	1	2	1	47	11	183	40	137 (+80%)	31 (+88%)
オランダ	53	14	96	23	105	24	112	30	102	30	37 (-44%)	14 (-20%)
マカオ	30	12	39	17	38	18	65	27	62	26	28 (-26%)	13 (-19%)
インドネシア	80	17	97	30	72	26	1	2	90	25	—	—
アラブ首長国連邦	18	7	22	9	18	9	37	17	55	23	26 (-13%)	12 (-7%)
その他	137	62	126	54	171	70	222	110	200	91	118	58

(参考)EU ※	397	135	574	180	943	283	800	253	1,050	326	399 (-38%)	135 (-31%)
----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	---------------	---------------

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：（ ）内は対前年同期増減率である。

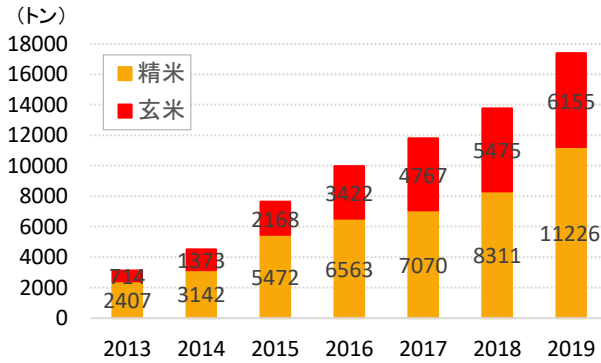
注2：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

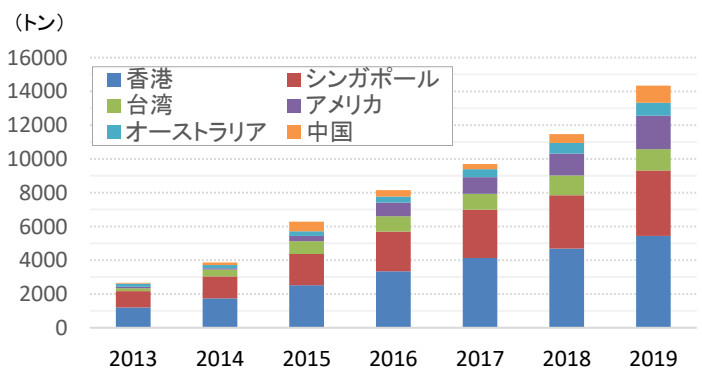
## (2) 2019年の主な増加要因

- 全体として、日本食レストラン、寿司屋、おにぎり屋といった、日本産米を取り扱う  
 外食・中食店向けの需要が好調。
- 香港、シンガポール、米国等においては、日本産米を玄米で輸出し、現地で精米して  
 販売するビジネスが引き続き好調。
- 中国においては、日本食レストラン・現地系小売店の需要及びECサイト、中秋節・  
 春節ギフト用の伸びにより、前年より著しく増加。

① 商業用の米の玄米・精米別輸出量の推移



② 商業用の米の主な国別輸出量の推移



**香港** 📈 5,436トン（前年比+16%） 1,372百万円（前年比+18%）

1人当たりGDPが高く、高所得層を中心に安定した需要がある。また現地系も含めて日本食レストランチェーン向け等に安定的に輸出が増加している。更に、現地系スーパー等での販売や日本産米を用いたおにぎり屋の店舗数拡大等により、ミドルレンジ層の需要が広がっている。

**シンガポール** 📈 3,879トン（前年比+23%） 802百万円（前年比+15%）

1人当たりGDPが高く、高所得層を中心に安定した需要がある。高級店だけでなく、チェーン店の日本食レストラン等向け需要が増加している。玄米で輸出し現地で精米して販売するビジネスの伸びが顕著で、2015年に玄米輸出が精米輸出を上回り、2019年は玄米輸出の割合が6割以上を占める。

**アメリカ** 📈 1,980トン（前年比+54%） 543百万円（前年比+34%）

米国産米の価格が上昇、日本産米との価格差が縮まったことにより、日系スーパー及び高級日本食レストランを中心に取り扱い店舗が増加。日本産米の輸出は西海岸が中心であったが、近年は健康志向の高所得者層向けに東海岸への輸出も増加。

**中国** 📈 1,007トン（前年比+92%） 363百万円（前年比+72%）

日本食レストランでの取扱増加に加え、小売では日本産米アンテナショップの出店や現地系小売店での取扱が増加。また、主要販売経路であるECサイトでの販売が好調なことや、高級品として中秋節・春節向けギフト用の伸びが著しいこと等が寄与。展示会にて日本産米をPRしたことや、SNSを使用した情報発信も輸出増加に寄与。

**ロシア** 📈 174トン（前年比+45%） 64百万円（前年比+50%）

大手スーパーだけでなく、モスクワ市内の日本食レストランにも日本産米を導入される動きがある。

**フィンランド** 📈 183トン（前年比+289%） 40百万円（前年比+263%）

大手スーパーの持ち帰り寿司に日本産米が導入。

### (3) 米菓の輸出数量及び金額の推移

2019年の米菓の輸出は、輸出数量が4,033トン（対前年比±0%）、輸出金額が約43億円（対前年比-3%）と、数量及び金額共に前年から減少。  
2020年1～8月の米菓の輸出は、輸出数量が2,539トン（対前年同期比-2%）、輸出金額が約27億円（対前年同期比-2%）。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年 (1～8月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	3,679 (-8%)	3,869 (-2%)	3,567 (-3%)	3,808 (-2%)	3,849 (+8%)	4,186 (+10%)	4,053 (+5%)	4,425 (+6%)	4,033 (-0%)	4,306 (-3%)	2,539 (-2%)	2,702 (-2%)
アメリカ	797	794	897	878	1,067	1,062	1,112	1,134	1,100	1,122	678 (-6%)	675 (-7%)
台湾	895	921	868	909	731	758	830	878	854	894	611 (+19%)	654 (+20%)
香港	664	826	578	725	520	660	629	744	603	724	390 (+2%)	454 (+2%)
シンガポール	239	264	202	250	200	269	208	268	209	243	124 (+1%)	140 (-4%)
サウジアラビア	242	146	122	69	170	98	279	176	258	161	180 (-7%)	114 (-5%)
中国	78	86	52	55	62	84	61	123	87	160	57 (+24%)	98 (+7%)
韓国	98	146	161	230	326	489	229	338	119	156	34 (-69%)	39 (-73%)
ベトナム	25	33	50	51	42	76	55	112	75	155	50 (+17%)	109 (+23%)
オーストラリア	159	143	160	139	173	144	121	106	127	111	74 (-19%)	62 (-21%)
タイ	45	68	37	53	40	57	44	60	62	83	50 (+19%)	65 (+16%)
オランダ	126	111	113	106	127	111	81	87	58	61	30 (-30%)	36 (-24%)
カナダ	27	32	25	28	31	37	31	37	35	42	22 (+6%)	26 (+9%)
マレーシア	14	17	26	29	25	31	25	29	39	41	31 (+59%)	34 (+70%)
ブラジル	40	36	40	35	43	41	37	38	40	41	16 (-33%)	17 (-33%)
ブルガリア	49	14	38	9	98	27	103	31	149	40	65 (-11%)	17 (-12%)
イギリス	24	28	23	29	21	26	18	22	21	32	11 (-23%)	19 (-15%)
フィリピン	9	11	21	24	19	19	23	22	27	27	15 (-10%)	14 (-16%)
北マリアナ諸島	19	27	17	22	22	28	20	25	19	25	12 (+12%)	17 (+9%)
グアム	19	23	22	24	16	21	19	23	19	24	13 (-1%)	16 (-1%)
アラブ首長国連邦	21	33	21	32	20	30	19	28	16	23	7 (-41%)	10 (-40%)
その他	90	110	96	109	95	119	112	144	117	142	68	87

(参考)EU ※	235	200	223	193	277	206	240	189	267	183	120 (-55%)	86 (-53%)
----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---------------	--------------

資料：財務省「貿易統計」

注：( )内は対前年同期増減率である。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

#### (4) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移

2019年の日本酒の輸出は輸出数量が24,928キロリットル(対前年比-3%)、輸出金額が約23億円(対前年比+5%)と、数量は減少したものの、金額は過去最高を記録。2020年1~8月の日本酒の輸出は、輸出数量が11,837キロリットル(対前年同期比-31%)、輸出金額が約12.3億円(対前年同期比-21%)。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年 (1~8月)	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円
輸出合計	18,180 (+11%)	14,011 (+22%)	19,737 (+9%)	15,581 (+11%)	23,482 (+19%)	18,679 (+20%)	25,747 (+10%)	22,232 (+19%)	24,928 (-3%)	23,412 (+5%)	11,837 (-31%)	12,296 (-21%)
アメリカ	4,780	4,997	5,108	5,196	5,780	6,039	5,952	6,313	6,452	6,757	3,008 (-32%)	2,919 (-37%)
中国	1,576	1,172	1,910	1,449	3,341	2,660	4,146	3,587	5,145	5,001	2,330 (-31%)	2,573 (-18%)
香港	1,745	2,282	1,877	2,630	1,807	2,799	2,097	3,774	1,926	3,943	1,596 (+21%)	3,313 (+27%)
韓国	3,367	1,364	3,695	1,562	4,798	1,864	5,351	2,212	2,912	1,360	788 (-72%)	504 (-60%)
台湾	2,112	890	2,096	931	1,985	948	2,238	1,351	2,246	1,359	1,259 (-0%)	749 (-2%)
シンガポール	437	526	509	601	530	691	610	837	609	857	312 (-18%)	455 (-13%)
カナダ	553	345	576	381	711	486	684	529	715	548	364 (-14%)	267 (-17%)
オーストラリア	358	310	409	362	444	396	502	446	483	439	267 (-11%)	244 (-9%)
ベトナム	339	248	390	287	376	267	462	440	437	376	113 (-43%)	86 (-51%)
イギリス	252	260	317	323	388	348	298	324	352	373	129 (-44%)	122 (-50%)
フランス	151	140	169	196	266	267	274	276	270	285	120 (-31%)	114 (-38%)
タイ	503	230	461	240	472	252	604	300	627	276	301 (-29%)	130 (-31%)
ドイツ	401	162	388	179	368	167	367	203	477	242	250 (-20%)	124 (-20%)
マレーシア	213	181	223	201	289	265	283	244	253	242	135 (+2%)	102 (-26%)
マカオ	21	61	25	79	34	150	52	207	39	156	27 (-10%)	57 (-52%)
オランダ	205	130	183	108	276	144	223	161	247	142	151 (-18%)	86 (-10%)
イタリア	249	111	322	114	386	139	312	130	339	129	149 (-28%)	54 (-35%)
ブラジル	184	88	184	93	219	109	207	93	248	119	81 (-54%)	41 (-49%)
スペイン	70	43	82	57	154	110	153	98	130	75	46 (-49%)	31 (-42%)
メキシコ	35	31	49	52	50	48	67	63	67	74	18 (-58%)	14 (-69%)
その他	629	441	767	540	808	529	864	642	951	661	393	309

(参考)EU ※	1,475	961	1,605	1,085	2,009	1,311	1,809	1,334	2,023	1,421	857 (-35%)	526 (-43%)
----------	-------	-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---------------	---------------

資料: 財務省「貿易統計」

注1: ( )内は対前年同期増減率である。

注2: 数量1キロリットル未満、金額20万円未満は計上されていない。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

## (5) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移

2019年の包装米飯等の輸出は輸出数量が1,018トン(対前年比+10%)、輸出金額が約5億円(対前年比+8%)と、数量及び金額共に過去最高を記録。  
2020年1~8月の包装米飯等の輸出は輸出数量が760トン(対前年同期比+13%)、輸出金額が約4億円(対前年同期比+23%)。

	2017年		2018年		2019年		2020年 (1~8月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	658	344	923 (+40%)	473 (+38%)	1,018 (+10%)	513 (+8%)	760 (+13%)	413 (+23%)
アメリカ	338	132	407	159	442	167	282 (-0%)	107 (+0%)
ベトナム	69	54	92	73	82	79	40 (-41%)	43 (-28%)
香港	35	25	79	51	130	77	145 (+63%)	98 (+101%)
台湾	33	28	58	36	105	56	97 (+72%)	55 (+88%)
中国	8	6	20	14	96	42	49 (-36%)	31 (+0%)
タイ	29	14	40	17	63	27	62 (+79%)	28 (+92%)
シンガポール	21	19	31	24	21	17	33 (+179%)	17 (+54%)
韓国	67	33	149	72	31	17	4 (-85%)	3 (-80%)
イギリス	8	4	10	4	9	4	8 (+131%)	4 (+168%)
フィリピン	1	0	1	0	4	4	3 (+113%)	3 (+48%)
インドネシア	6	4	4	3	5	4	8 (+91%)	5 (+75%)
カナダ	1	0	5	4	6	3	4 (-27%)	2 (-48%)
オランダ	2	1	5	3	4	3	2 (-38%)	2 (-15%)
マカオ	0	0	0	0	3	3	2 (+10%)	2 (+31%)
メキシコ	6	3	5	3	5	3	5 (+99%)	3 (+113%)
オーストラリア	19	12	1	1	3	2	4 (+107%)	3 (+104%)
フランス	1	1	3	2	3	2	1 (-46%)	1 (-48%)
ドイツ	0	1	—	—	0	1	0 (+0%)	1 (+0%)
カンボジア	4	3	1	1	2	1	—	—
マレーシア	—	—	—	—	1	1	8	4
その他	12	4	12	5	2	2	4	2
(参考)EU ※	11	7	18	9	17	11	8 (-14%)	5 (-23%)

資料:財務省「貿易統計」

注1:( )内は対前年同期増減率である。

注2:包装米飯、その他加工米飯のほか、加熱またはその他の調製をした調製食料品のうち米のものを集計。

(2017年1月から単独のコードとして独立。)

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

## 6 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

### 輸出拡大に向けた対応方向

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、精米だけでなく、包装米飯・日本酒・米菓も含めたコメ加工品の輸出に力を入れることとしている。

#### 【コメ（包装米飯含む）】

現地での精米の取組や炊飯ロボットと合わせた外食への販売など、日本米のプレゼンスを高める取組を推進。

##### ★重点国

新興市場：台湾、豪州、EU、ロシア、中国、米国等

安定市場：香港、シンガポール

〈主な取組（令和元年度）〉

○米国のホテルレストランや飲食店オーナー、ディストリビューター等を招聘し、産地視察や輸出業者とのビジネスマッチングを実施。

#### 【米菓】

相手国のニーズに合った商品の開発、手軽なスナックとしてのプロモーション強化。

##### ★重点国

新興市場：中東、中国、EU

安定市場：台湾、香港、シンガポール、米国

〈主な取組（令和元年度）〉

○北米で開催される展示会への出展及び現地小売店と連携したプロモーション・テスト販売を実施。

#### 【日本酒】

発信力の高い都市や重点市場でのイベント・事業を実施するほか、セミナー等を通じて、日本酒の良さについて普及。日本酒の生産増に対応した酒造好適米の増産が可能となるよう措置。

##### ★重点国

新興市場：EU、台湾、中国、ブラジル、ロシア、韓国

安定市場：米国、香港

〈主な取組（令和元年度）〉

○中国・北京において、一般消費者による日本酒の品評会（Sake-China）を開催。

### 輸出拡大に向けた取組

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、他の品目に先がけて、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体（全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会）を平成26年11月27日に立ち上げ、統一ロゴマークの開発・発表、海外でのPRイベント等を開催。

〈日本産米輸出の統一ロゴマーク〉



THIS IS  
JAPAN QUALITY  
日本のおいしい米。





# VII 主食用米以外の情報

## 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

### (1) 加工用米の生産量

(単位:トン)

			合計	(参考)	
	うるち米	もち米		全国流通	地域流通
平成17年産	123,996	4,738	128,734	127,160	1,574
18年産	140,596	7,996	148,592	146,529	2,064
19年産	152,145	10,659	162,804	160,670	2,134
20年産	138,895	10,154	149,048	142,803	6,246
21年産	134,389	6,779	141,168	122,771	18,397
22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	205,448	47,739	253,186	95,747	160,771
28年産	219,454	58,943	278,397	99,972	178,367
29年産	215,531	63,532	279,063	100,249	183,755
30年産	221,580	52,611	274,191	117,617	165,185
令和元年産	206,393	50,146	256,540	100,798	155,741

資料: 農林水産省「加工用米生産量」

注:1 「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。ただし、元年産は計画数量。

注:2 参考の全国流通は、取組主体が全国生産出荷団体であるもの。地域流通は、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計。

注:3 参考の27年産以降は、認定計画ベースの値。このため、合計(実績値)と一致しない。

注:4 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

### (2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

(単位:トン、ha)

	新規需要米		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)	新市場開拓用米 (輸出用米等)		酒造用米		バイオエタノール用米		その他 (わら専用稲・青刈り用稲)	
	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量
20年産	12,314	12,386	108	566	1,410	8,020	9,089	74	391	—	—	303	2,426	1,330	982
21年産	18,142	40,654	2,401	13,041	4,123	23,264	10,203	164	926	—	—	295	2,314	956	1,108
22年産	37,072	114,851	4,957	27,796	14,883	81,237	15,939	388	2,184	—	—	397	2,940	508	694
23年産	65,569	228,820	7,324	40,311	33,955	183,033	23,086	287	1,626	—	—	415	2,998	501	852
24年産	68,091	224,127	6,437	34,521	34,525	183,431	25,672	454	2,524	—	—	450	2,793	553	857
25年産	53,744	142,499	3,965	21,071	21,802	115,350	26,600	507	2,825	—	—	414	2,594	457	659
26年産	71,073	210,540	3,401	18,161	33,881	178,486	30,929	1,092	6,092	859	4,354	384	2,373	527	1,074
27年産	125,454	459,596	4,245	22,925	79,766	421,077	38,226	1,547	8,482	1,387	7,096	—	—	283	15
28年産	139,028	515,200	3,428	18,454	91,169	481,468	41,366	1,437	7,950	1,420	7,309	—	—	207	19
29年産	142,738	526,461	5,307	28,331	91,510	483,325	42,893	1,328	7,349	1,448	7,424	—	—	252	31
30年産	131,048	468,593	5,295	28,065	79,535	420,667	42,545	3,578	19,862	—	—	—	—	96	—
元年産	124,477	433,907	5,306	27,975	72,509	383,443	42,450	4,097	22,488	—	—	—	—	114	—

資料: 農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移(平成20年産～令和元年産)」

注1: 平成20・21年産の生産量は取組計画認定ベース。

注2: 令和元年産は令和元年10月15日現在の値。

注3: 「WCS用稲」及び「その他」のうち、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため生産量を取りまとめていない。

注4: 「酒造用米」は、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」(以下「要領」)に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。

注5: 平成30年産以降の「バイオエタノール用米」は、要領の改正により「新市場開拓用米」に含まれている。

注6: 「-」は、事実がない又は認定及び取りまとめを行っていないことを表す。また、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

## (3) 令和元年産 都道府県別の生産状況

(単位:トン)

産地	加工用米		新規需要米				政府備蓄米	合計	
	うるち米	もち米	飼料用米	新市場開拓用米	米粉用米				
全国	256,540	206,393	50,146	433,907	383,443	22,488	27,975	185,314	875,760
北海道	27,434	19,128	8,306	14,631	11,069	3,296	267	2,162	44,227
青森	7,176	6,710	466	28,578	27,777	767	33	26,544	62,297
岩手	7,103	5,529	1,574	21,077	19,789	962	327	3,478	31,659
宮城	4,506	3,826	679	28,705	25,878	2,443	383	11,600	44,811
秋田	48,861	31,010	17,851	12,552	8,931	1,433	2,188	21,572	82,985
山形	22,264	20,900	1,364	22,426	20,654	1,015	757	21,291	65,981
福島	2,478	2,444	34	24,197	23,819	367	11	26,601	53,276
茨城	6,809	6,670	140	42,630	40,417	2,124	89	700	50,139
栃木	11,397	11,383	14	48,815	45,021	289	3,506	7,487	67,700
群馬	7,367	7,367		6,665	4,936	68	1,661	30	14,062
埼玉	1,222	1,217	5	9,905	6,043	145	3,718	220	11,347
千葉	8,480	4,830	3,650	21,847	21,595	75	177	1,580	31,907
東京				0			0		0
神奈川				55	52		3		55
新潟	31,188	21,556	9,632	24,069	12,016	4,274	7,779	25,089	80,346
富山	6,757	5,584	1,173	9,040	7,057	1,510	473	12,197	27,994
石川	2,907	2,502	405	3,859	2,915	285	660	7,325	14,092
福井	2,850	2,555	295	7,273	6,020	835	418	4,050	14,173
山梨	366	366		124	84		40		491
長野	4,594	4,273	322	2,060	1,488	425	146	1,426	8,081
岐阜	4,394	4,393	1	11,510	11,015	365	130	435	16,340
静岡	666	666		5,906	5,830	7	69	20	6,592
愛知	3,416	3,292	124	6,846	6,385	104	358	822	11,084
三重	1,056	1,001	54	8,843	8,034	333	477	248	10,147
滋賀	5,064	4,679	385	5,955	4,934	874	147	1,318	12,337
京都	2,612	2,604	8	623	495	93	35		3,236
大阪	2	2		56	31		25		58
兵庫	3,563	3,358	205	1,696	1,559	16	121		5,259
奈良	102	102		288	157		131		390
和歌山				14	12		2		14
鳥取	99	99		3,574	3,572		2	400	4,073
島根	1,571	1,468	103	4,187	4,122	13	52	130	5,888
岡山	2,008	1,921	87	6,132	5,679	18	435	977	9,117
広島	1,873	1,833	41	2,352	1,761		591		4,225
山口	4,714	4,637	77	4,555	4,477	3	74		9,269
徳島	81	81		2,395	2,218	112	65	1,116	3,593
香川	221	221		663	603	11	49		884
愛媛	206	206		1,437	1,417		20		1,643
高知	316	316		3,958	3,893		65	10	4,284
福岡	1,115	927	188	10,645	9,565	33	1,046	264	12,024
佐賀	2,018	248	1,770	2,951	2,850	28	74	220	5,189
長崎	47	47		650	620		30	10	707
熊本	3,763	2,637	1,125	7,349	6,111	82	1,156	247	11,359
大分	672	672		6,995	6,946		49	94	7,760
宮崎	7,390	7,390		2,281	2,102	84	95		9,671
鹿児島	5,792	5,724	68	3,536	3,497		40		9,328
沖縄	19	19							19

資料： 農林水産省「令和元年産加工用米の都道府県別の取組計画認定状況」（確定値）、「令和元年産新規需要米の都道府県別の取組計画認定状況」（確定値）、「国内産政府備蓄米の買入入札の結果」（令和元年産）

注：1 政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分5,651トンを含んでいる。

注：2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

## 2 米加工品の状況

### (1) 主な米加工品の生産状況

(トン)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	
						(1~7月)	対前年同期比
加工米飯	349,424	346,708	373,142	390,170	398,750	240,408	107%
レトルト米飯	30,685	27,856	27,807	28,163	27,474	15,890	112%
無菌包装米飯	136,886	145,326	161,068	170,218	182,797	116,421	115%
冷凍米飯	171,501	163,017	174,025	181,559	178,068	102,922	100%
チルド米飯	4,765	4,916	4,832	4,845	4,520	2,213	87%
缶詰米飯	1,094	543	526	553	526	228	68%
乾燥米飯	4,493	5,050	4,884	4,832	5,365	2,734	92%
米菓	220,350	217,687	222,868	221,481	221,796	129,266	101%
あられ	94,995	92,310	92,200	93,504	92,259	54,402	103%
せんべい	125,355	125,377	130,668	127,977	129,537	74,864	99%
味噌	461,652	476,057	482,045	478,068	481,574	268,574	99%
米みそ	393,554	408,695	413,492	408,093	412,038	228,614	99%
麦みそ	18,060	18,574	17,399	16,166	15,555	9,374	110%
豆みそ	23,730	23,113	24,869	25,326	26,031	13,581	95%
調合みそ	26,308	25,675	26,285	28,483	27,950	17,005	105%
米穀粉	94,651	92,693	94,860	93,956	91,179	54,903	103%
上新粉	46,260	46,377	47,257	45,643	43,345	24,985	98%
もち粉	11,583	10,755	9,592	9,663	9,406	4,682	90%
白玉粉	4,974	4,992	5,246	4,821	4,742	2,717	104%
寒梅粉	1,468	1,606	1,535	1,534	1,560	884	98%
らくがん粉・みじん粉	1,007	971	945	984	1,120	617	91%
だんご粉	962	1,543	1,166	1,310	1,159	671	97%
菓子種	2,448	1,756	2,419	2,506	2,508	1,568	114%
新規米粉	25,949	24,693	26,700	27,495	27,339	18,779	116%
包装もち	58,950	63,096	58,653	59,536	60,894	28,922	111%
日本酒	555,063	539,676	532,862	495,052	466,872	211,931	88%
特定名称酒	173,327	177,735	179,491	170,642	164,641	69,711	82%
吟醸酒	25,213	24,499	24,395	23,126	22,240	8,930	82%
純米吟醸酒	37,124	41,960	45,300	45,377	45,491	19,945	83%
純米酒	61,793	65,379	67,060	63,998	61,799	27,760	85%
本醸造酒	49,198	45,897	42,736	38,141	35,111	13,076	75%
一般酒	381,736	361,941	353,371	324,410	302,231	142,221	92%
単式蒸留焼酎	483,216	479,866	471,512	441,824	424,569	227,120	96%
いも焼酎	206,904	208,262	205,336	189,979	182,169	99,157	97%
麦焼酎	188,896	186,998	183,903	176,608	171,222	93,737	99%
米焼酎	41,804	40,560	38,549	36,362	34,531	17,278	90%

資料：加工米飯、米菓、味噌、米穀粉及び包装もちは、食品産業動態調査（農林水産省）。日本酒及び単式蒸留焼酎は、日本酒造組合中央会調べ。

注1：日本酒及び単式蒸留焼酎は、課税移出数量。

注2：日本酒の一般酒は、日本酒全体から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

## (2) 30米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 清酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の平成30米穀年度における使用量は、焼酎、包装もちの出荷量の減少等により、前年から微減の約96万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約77万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約7割。残りの約3割はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 米菓を中心に特定米穀及び輸入米粉調製品の使用量が増加。

### <うるち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
清酒用	11 (9)	9		4			24 (9)
米菓用	1	1		5	5	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	5	6					11
味噌用		1		2	7		10
焼酎用 (泡盛含む)		2		3	2		7
米穀粉用		1	3	1	2	1	8
その他用	1	2		1	1		4
合計	18	21	3	16	16	3	77

### <もち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	2	3				1	7
米菓用	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	6	6		1	1	5	19

- 注1： 清酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。  
 2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約9万トンを含んでいない。  
 3： 焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。  
 4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。  
 5： 特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。  
 6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

#### 【推計根拠】

- 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。  
 清酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）  
 焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）  
 米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等
- 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。  
 主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計  
 加工用米・・・「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告  
 新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）による利用量  
 MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）  
 輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）  
 特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

### (3) 加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

＜うるち米＞ (単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
清酒用	26	11 (8)	9		4			24 (8)
	27	12 (9)	10		3			25 (9)
	28	13 (10)	9		3			25 (10)
	29	12 (10)	9		3			24 (10)
	30	11 (9)	9		4			24 (9)
米菓用	26	1	1		5	3	2	12
	27	1	2		7	2	1	13
	28	1	2		6	3	1	12
	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	26	5	5					10
	27	5	5					10
	28	5	5					10
	29	5	5					11
	30	5	6					11
味噌用	26		1		3	6		10
	27		1		7	1		9
	28		1		6	2		9
	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
焼酎用 (泡盛含む)	26				6	3		9
	27		1		5	2		8
	28		2		4	2		8
	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
米穀粉用	26		1	3	1	2	1	8
	27		1	2	2	2	1	8
	28		1	2	1	3	1	8
	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
その他用	26	1			2	1		4
	27	1			2	1		4
	28	1	1		2	1		4
	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
合計	26	18	18	3	21	14	3	77
	27	18	22	2	24	9	2	77
	28	20	21	2	21	11	1	77
	29	19	22	2	15	18	2	78
	30	18	21	3	16	16	3	77

＜もち米＞ (単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	26	3	1			1	2	7
	27	3	2				2	7
	28	3	2				2	8
	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
米菓用	26	2	1			1	2	6
	27	2	1		1	1	2	6
	28	1	2		1	1	1	6
	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	26	1						3
	27	1					1	3
	28	1	1				1	3
	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	26							1
	27	1						1
	28	1						1
	29	1						1
	30	1						1
その他用	26						2	2
	27						1	2
	28						1	2
	29						1	2
	30						1	2
合計	26	7	3		1	2	7	19
	27	7	4		1	1	6	19
	28	6	5		1	2	5	19
	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19

注1: 清酒用の( )書きは、酒造好適米で内数。

2: 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。

3: 焼酎は単式蒸留しょうちゅう(穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの(酒税法第3条第10号))であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4: その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5: 特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75~1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米(一般的に「くず米」と呼ばれているもの)の総称。

6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

### 3 酒造好適米の需給状況

#### (1) 日本酒の出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は50万klを下回る水準まで減少。
- 消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移。
- また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。
- 令和2年については、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により国内外の日本酒出荷量が大幅に減少。

#### 日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	
											(1~8月)	対前年同期比
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	566	555	540	533	495	467	236	87%
特定名称酒	291	221	174	164	167	173	178	179	171	165	78	82%
吟醸酒	34	30	20	21	24	25	24	24	23	22	10	82%
純米吟醸酒	25	26	24	29	32	37	42	45	45	45	23	83%
純米酒	62	54	57	58	59	62	65	67	64	62	31	85%
本醸造酒	169	111	73	56	52	49	46	43	38	35	15	74%
一般酒	842	650	485	416	399	382	362	353	324	302	158	90%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。

注1：清酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒等8種類に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

#### 日本酒の輸出量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	
											(1~8月)	対前年同期比
日本酒輸出量	8	8	12	16	16	18	20	23	26	25	12	69%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	4	5	5	6	6	6	3	68%
中華人民共和国	0	0	0	1	1	2	2	3	4	5	2	69%
大韓民国	0	0	2	4	3	3	4	5	5	3	1	28%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	100%
香港	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	121%
その他	2	2	3	4	4	5	5	6	6	6	3	73%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

#### (2) 日本酒原料米の使用状況

- 日本酒の原料米は、一般的に流通している米のほか、酒造りのために作られた特別な米である山田錦、五百万石などの「酒造好適米」が使用されている。
- 日本酒原料米の使用量は、近年、製品当たりの米の使用量が多い特定名称酒が増加していたため、24~25万トン程度で推移していたが、平成30年産は、特定名称酒も減少に転じたこと等から約23万トン（対前年比▲5%）に減少しており、今後の動向に注視が必要。

#### 日本酒原料米の使用状況

(千トン)

	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	対前年比 30/29年
日本酒原料米	405	315	261	243	248	251	241	240	227	95%
酒造好適米	99	75	77	76	90	99	97	94	88	94%
加工用米	86	89	74	95	105	94	93	88	90	102%
その他	220	151	110	72	53	58	51	58	49	85%

資料：農林水産省による推計値。

### (3) 酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、平成26年産主食用米（うるち米）の取引価格の大幅下落等により、酒造好適米の生産へシフトしたこと等から、平成27年産において、需要を上回る生産量となった。
- 平成28年産以降は減少傾向にあるが、日本酒出荷量の急減に伴い、酒造好適米の需要量も減少傾向にあり、供給過剰が続いている状況。
- さらに、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、国内外の日本酒出荷量が急減しており、大幅な供給過剰が見込まれる状況。

### 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移

(トン)

	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産	
											対30年産比
酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	90,185	108,797	106,618	102,400	95,856	96,722	100.9%
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	29,812	39,528	37,257	38,431	33,916	34,631	102.1%
五百万石	33,282	23,169	24,186	20,602	22,596	27,078	26,030	20,564	21,203	19,588	92.4%
美山錦	11,304	7,487	7,016	6,426	7,786	7,838	7,513	7,018	6,408	6,475	101.1%
雄町	2,502	1,827	1,780	1,700	2,312	2,886	2,481	2,873	2,723	2,932	107.7%
その他	27,721	19,518	22,407	24,004	27,679	31,467	33,337	33,514	31,607	33,096	104.7%

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）

注：元年産は、令和2年3月31日現在の速報値を直近3カ年の3月31日現在の農産物検査の進捗率により確定値見合いに推計したもの。

### (4) 酒造好適米の需要量

- 令和2年7月に実施した需要量調査によると、酒造好適米の需要量は、令和2年産が73～74千トン程度、令和3年産が70～72千トン程度と大幅な減少が見込まれる。

（参考）令和2年度 酒造好適米等の需要量調査の概要

- 日本酒の酒造メーカー（1,421社）を対象として、令和2年7月に酒造好適米等の購入実績及び将来の購入見込数量を調査。730社から回答があり、回答率は数量ベースの回答率は約79～80%と推計される。

### 酒造好適米等の需要量調査結果

(トン)

	30年産	元年産		2年産		3年産	
			対30年産比		対30年産比		対30年産比
酒造好適米の需要量調査結果(実数)	70,032	65,690	93.8%	58,255	83.2%	56,393	80.5%
山田錦	27,778	24,888	89.6%	23,354	84.1%	22,394	80.6%
五百万石	15,937	14,610	91.7%	11,202	70.3%	11,178	70.1%
美山錦	4,318	3,922	90.8%	3,373	78.1%	3,267	75.7%
雄町	1,467	1,444	98.4%	1,240	84.5%	1,234	84.1%
その他	20,532	20,826	101.4%	19,086	93.0%	18,320	89.2%
酒造好適米の全体需要量(推計)	87～89千トン	82～84千トン		73～74千トン		70～72千トン	

資料：「令和2年度 酒造好適米等の需要量調査結果」（農林水産省）

注1：「酒造好適米の需要量調査結果(実数)」は、令和元年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量の積み上げの実数。

注2：「酒造好適米の全体需要量(推計)」は、令和2年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量が全体需要量の約79～80%と推計されるため、今回調査した各年産の需要量を当該割合で除することにより推計。

産地銘柄毎の需要量等の酒造好適米に関する詳細な情報は、以下URLの「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米等の需要量調査結果等」を参照ください。

URL：[http://www.maff.go.jp/j/seisaku\\_tokatu/kikaku/sake.html](http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html)

別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧ください。

－ 別冊「資料編」の目次 －

I 米の需給

- 1 主食用米等の需給見通し(米の基本指針(令和2年7月30日))

需給 1

II 米の在庫情報

- 1 平成30・令和元年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)(速報)

在庫 1

Excel

III 米の契約・販売情報

- 1 産地別事前契約数量(累計、うるち米、平成26～29年産)  
2 平成29・30年産米の産地別契約・販売状況(累計、うるち米)(速報)  
3 備蓄米の買入入札の結果(落札実績)(平成23年産～令和2年産)

契約 1

Excel

契約 3

Excel

契約 15

IV 米の価格情報

- 1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格)  
2 米の現物市場の状況

価格 1

Excel

価格 4

V 支援事業等

- (1) 水田活用の直接支払交付金  
(2) 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)  
(3) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)  
(4) 収入保険  
(5) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業  
(6) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト

支援 1

支援 5

支援 7

支援 9

支援 11

支援 13

VI その他

- (1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果  
(2) 飼料用米の需要量  
(3) 麦・大豆の需要情報  
① 令和2年産麦の産地別銘柄別入札結果  
② 令和元年産大豆の産地別銘柄別入札結果  
(4) 野菜等の需給情報  
(5) 令和元年産水稻の収穫量  
(6) 水稻作付面積及び収穫量等の年次別推移(全国)  
(7) 水稻玄米のふり目幅別重量分布状況、  
10a 当たり収量及び収穫量(子実用)の年次別推移(全国)  
(8) 年産・都道府県別主食用米の作付面積及び収穫量等の推移

検査 1

飼料 1

麦 1

大豆 1

野菜 1

統計 1

統計 6

統計 6

統計 8

農業者と農林水産省をつなぐ  
新たなコミュニケーションツール

# MAFFアプリ

農業に役立つ情報が直接届く。  
現場の情報を直接届ける。



MAFF  
Ministry of Agriculture,  
Forestry and Fisheries  
農林水産省



Android



iOS

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中です。登録方法は下記URLを参照ください。  
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>